

図 III-5-2 (13) 操船例図 (中央ふ頭-12.0m Ch3号岸壁：入船つなぎ)

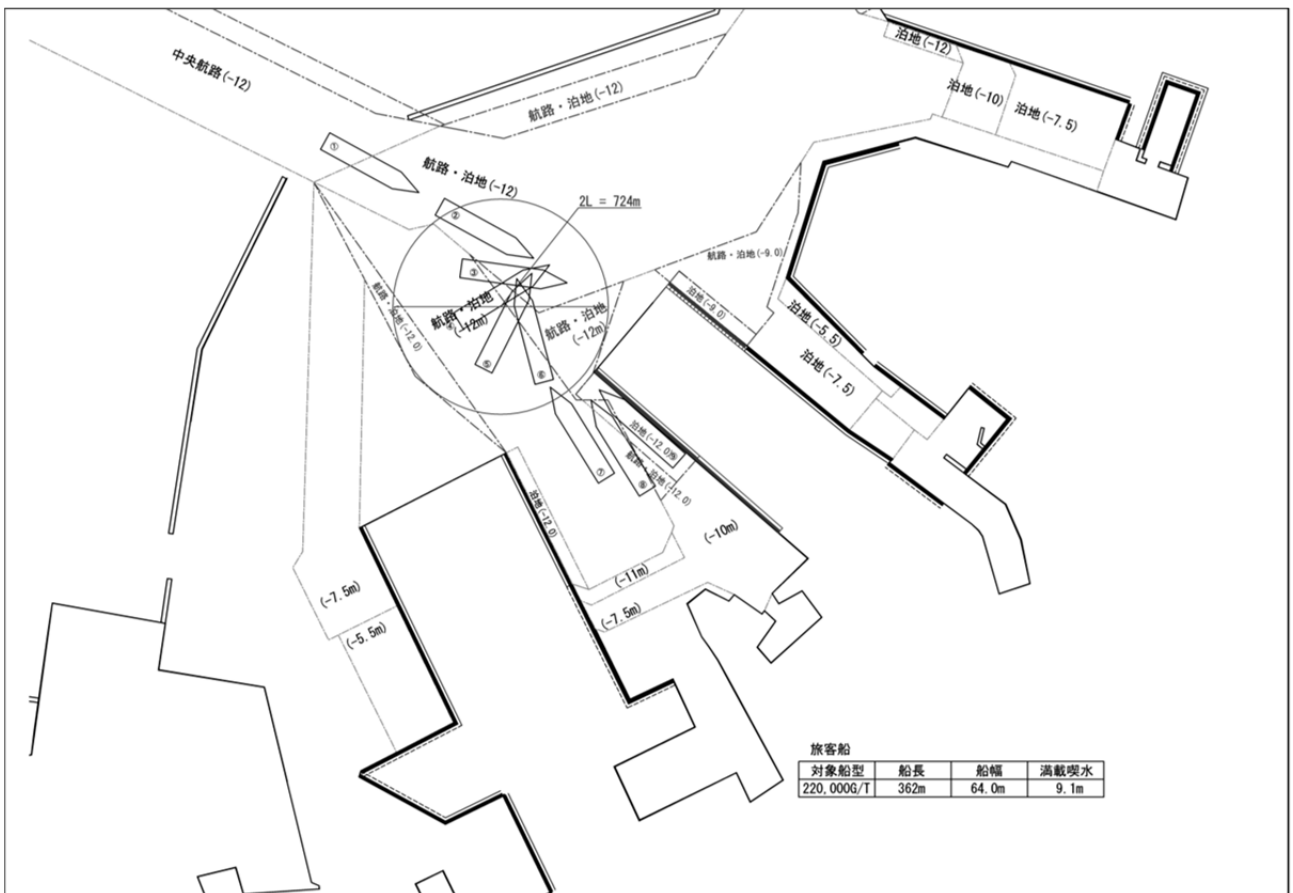


図 III-5-2 (14) 操船例図 (中央ふ頭-12.0m Ch3号岸壁：出船つなぎ)

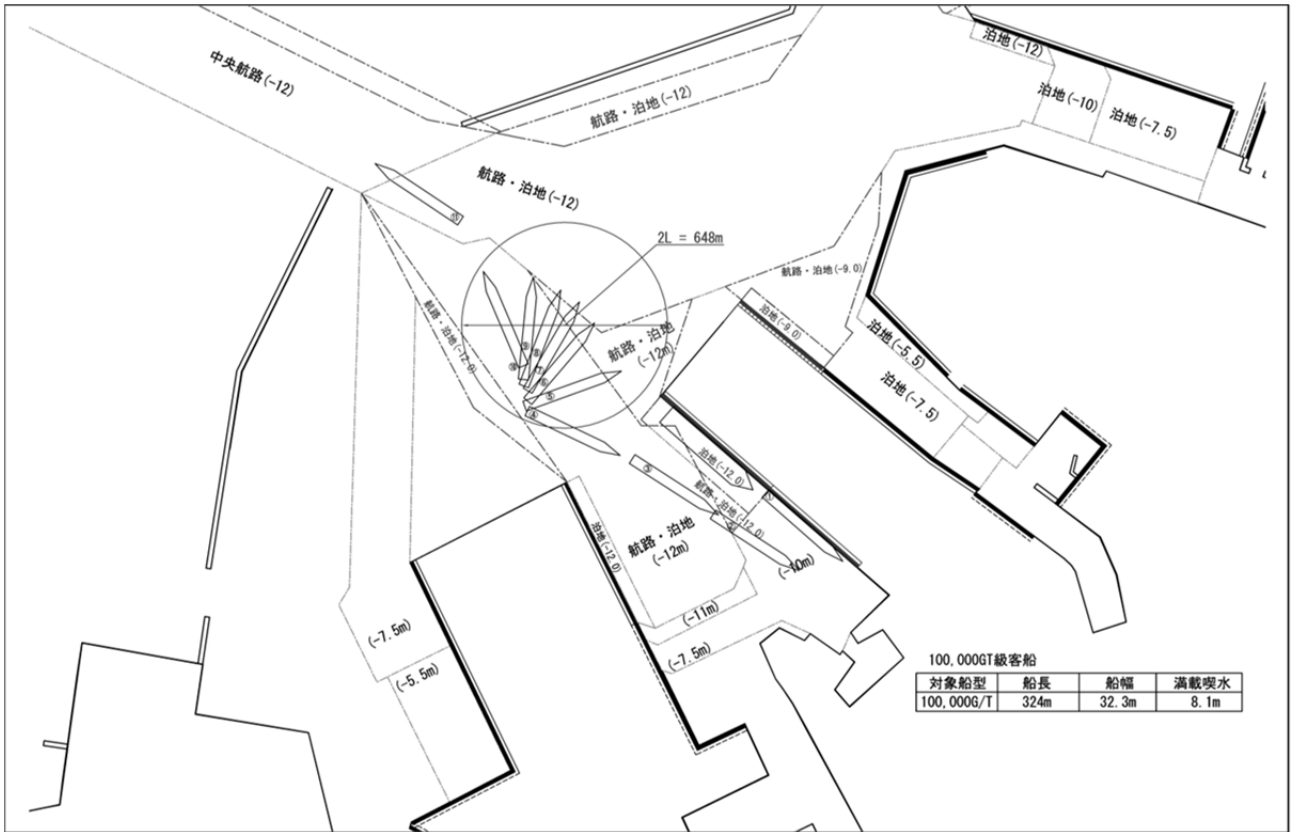


図 III-5-2 (15) 操船例図 (中央ふ頭-10.0m Ch2 号岸壁 : 入船つなぎ)

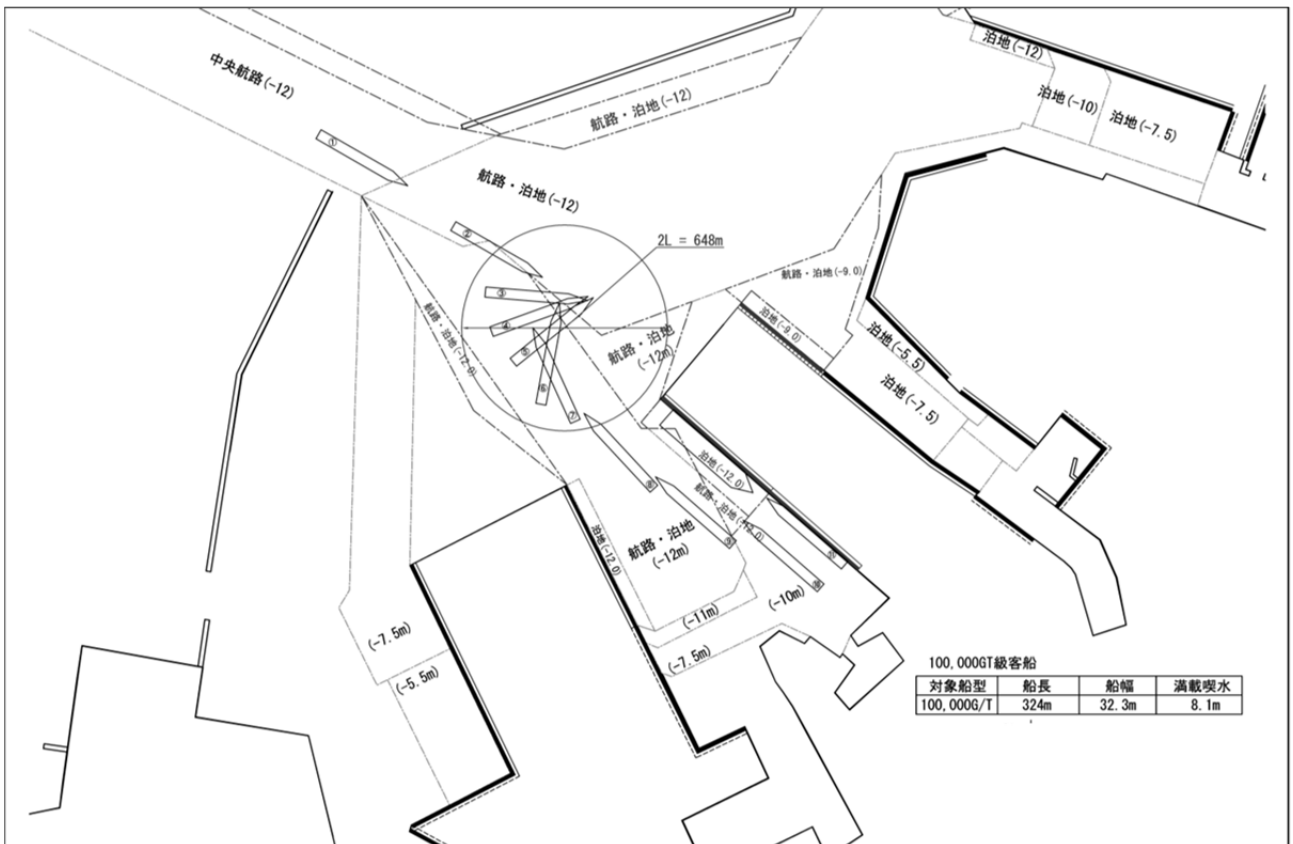


図 III-5-2 (16) 操船例図 (中央ふ頭-10.0m Ch2 号岸壁 : 出船つなぎ)

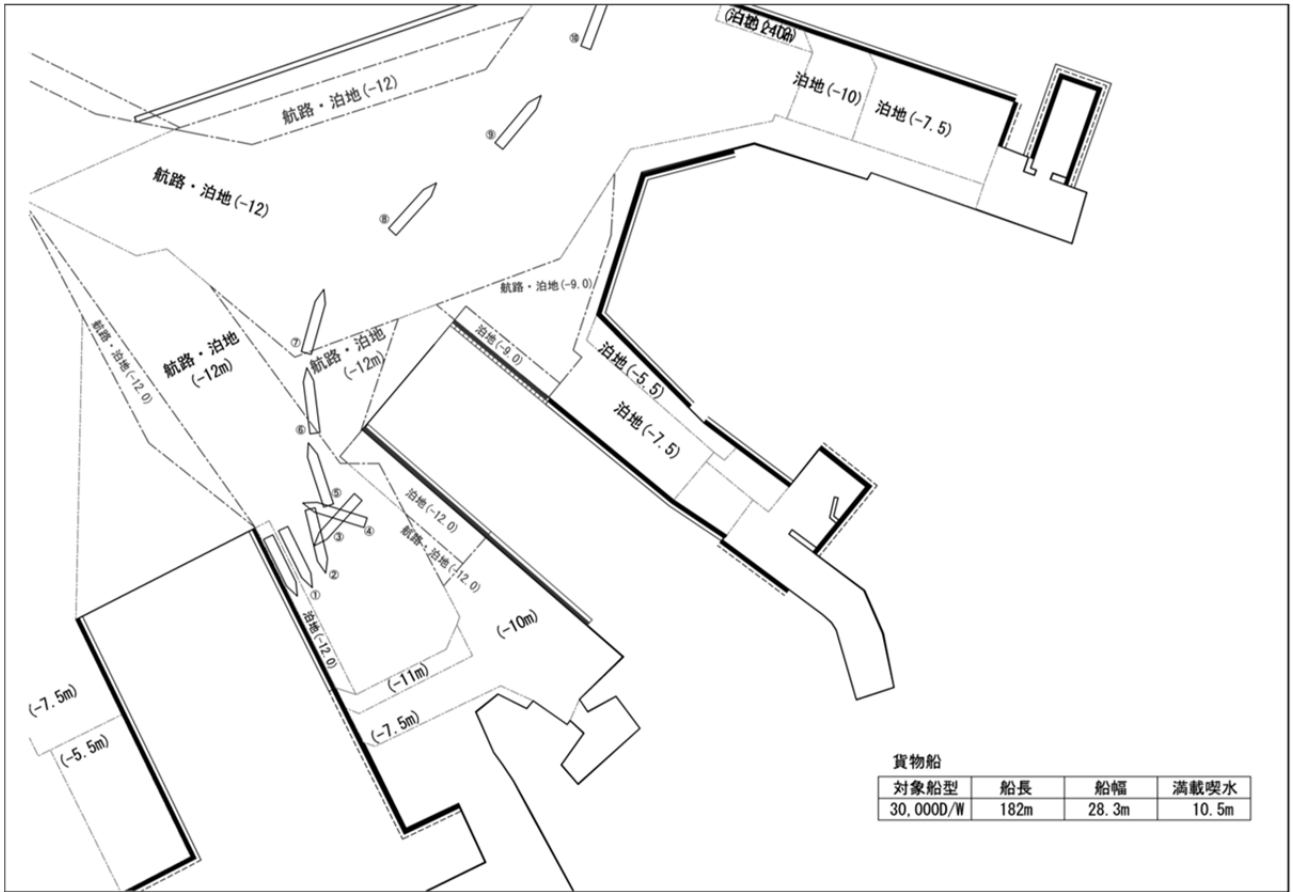


図 III-5-2 (17) 操船例図 (須崎ふ頭-12.0m Su2 号岸壁 : 入船つなぎ)

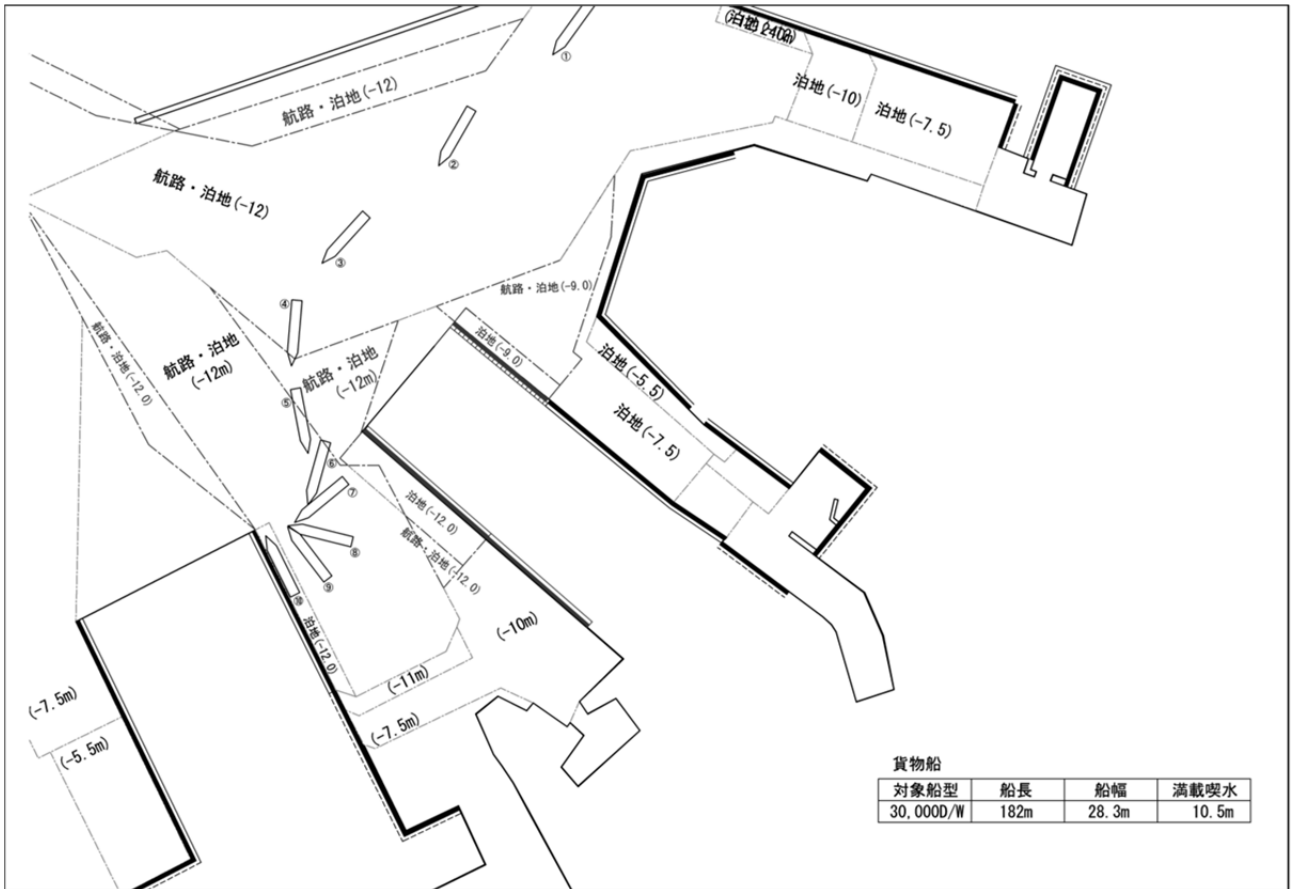


図 III-5-2 (18) 操船例図 (須崎ふ頭-12.0m Su2 号岸壁 : 出船つなぎ)

## 6. 外郭施設計画

### 6-1 防波堤

#### ① 主要な防波堤の現況

主要な防波堤の現況については、以下のとおりである。

表 III-6-1 主要な防波堤の現況

施設名	延長(m)
西防波堤	1,274
東防波堤	2,505
北防波堤	800

#### ② 防波堤計画の必要性

箱崎ふ頭地区における海面処分用地の計画、中央航路の拡幅計画に伴い、防波堤の配置を見直す必要がある。

#### ③ 今回計画する防波堤の規模及び配置

今回計画において廃止する防波堤については、次のとおりである。

表 III-6-2 今回計画する防波堤の規模及び配置

施設名	延長(m)	種別	規模及び配置の考え方
北防波堤	800	廃止	箱崎ふ頭地区における海面処分用地の計画に伴い、左記の防波堤を廃止・撤去する。
東防波堤	181	撤去	
箱崎防波堤	275	廃止	
防波堤	501	廃止	中央航路の拡幅計画に伴い、左記の防波堤を一部撤去する。
東防波堤	82	撤去	

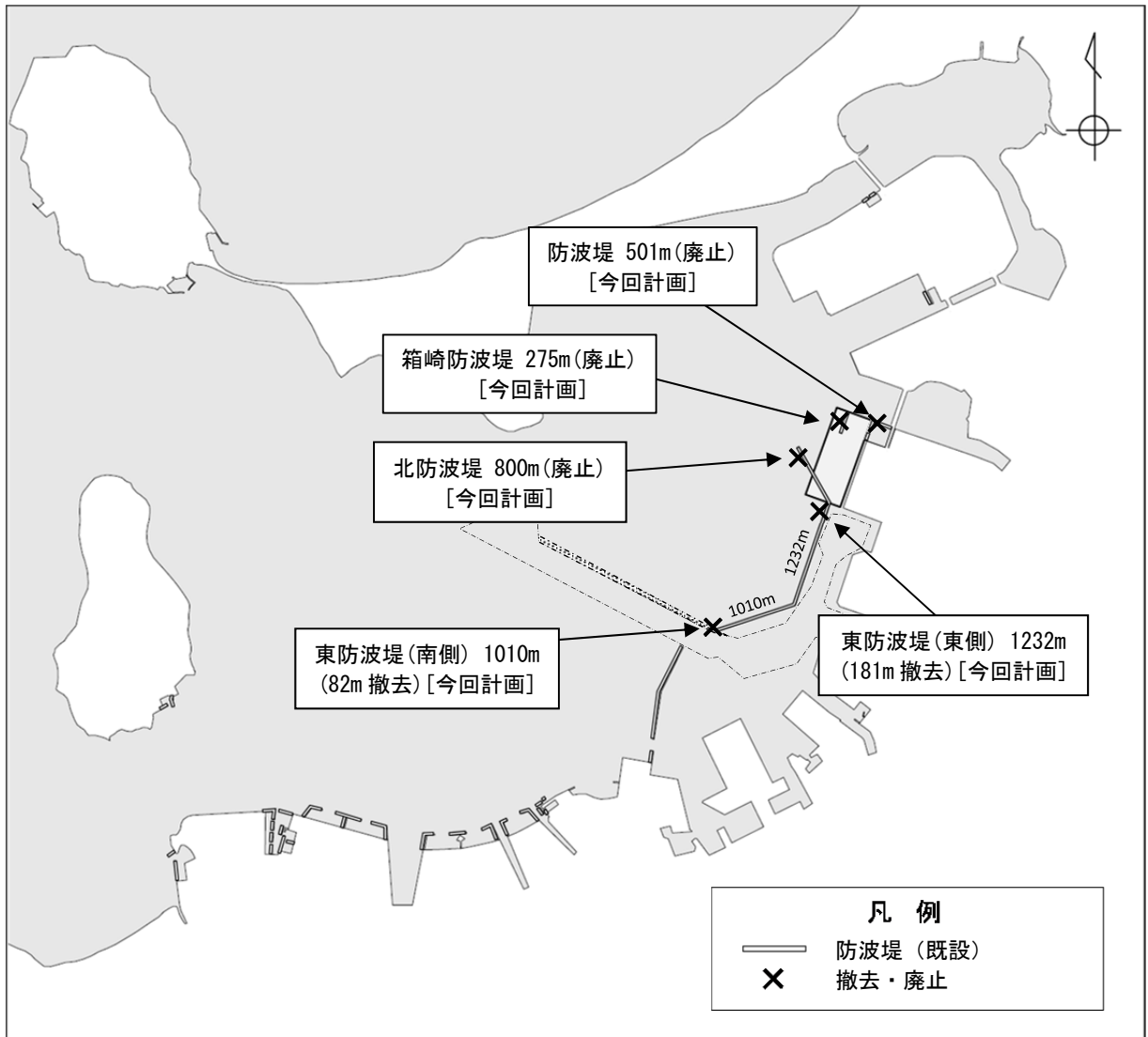


図 III-6-1 外郭施設計画図

## 6-2 静穏度の検討

### ① 計算方法

静穏度については、回折解を重ね合わせて港内の回折、反射による波高変化を求める高山法により計算する。

### ② 計算条件

波浪、潮位、港形、反射率、計算ケース、稼働率等計算位置などの条件は、以下の通りである。

#### 1) 波浪諸元

博多港に來襲する波浪は、**図 III-6-2**に示す東航路側港口部側位置の「地点1」と中央航路港口部側位置の「地点2」の2ヶ所で16方位について推算する。これらの波浪の内、博多港内の静穏度に影響を持つ波向は、およそ方位SSWから時計回りに方位Nまでの8方位になる。これより静穏度計算は、通常時、異常時波浪ともにSSWからNまでの8波向を対象とする。

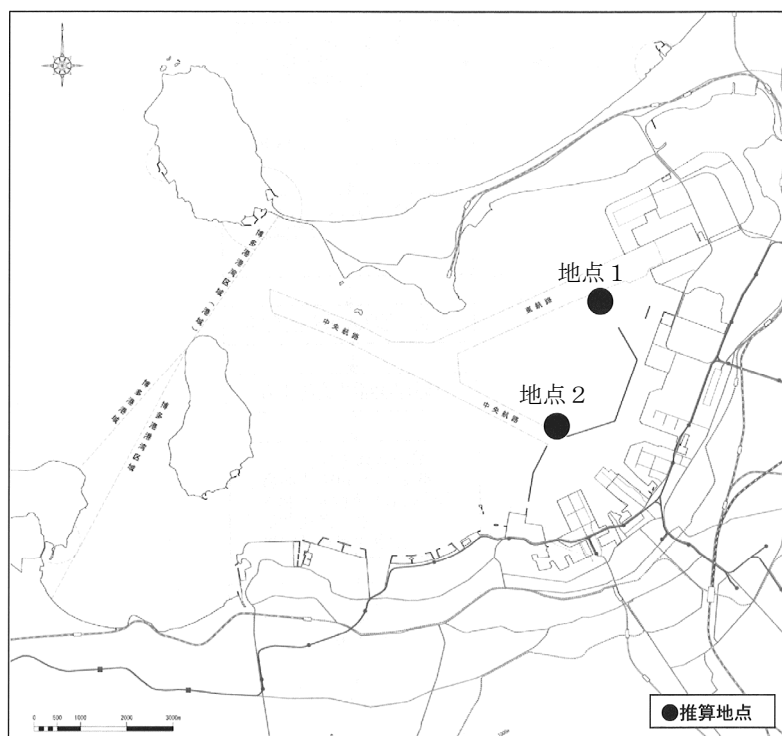


図 III-6-2 波浪推算位置図

(7) 通常時波浪

稼働率を算出する際の港口部の波浪出現頻度は、地点1と地点2の頻度数を合算した値を用いる。

表 III-6-3 に波高周期出現頻度を、表 III-6-4 に計算に用いる代表周期を示す。

図 III-6-3 に波向別波高頻度分布図を、表 III-6-5 に波向別累積頻度表を示す。

表 III-6-3 波向別 波高 周期 出現頻度(地点1+地点2 ; 1999年~2012年)

(9) 計

波高(m) \ 周期(s)											合計	(%)	累計	(%)
	~0.5	0.6 ~1.0	1.1 ~1.5	1.6 ~2.0	2.1 ~2.5	2.6 ~3.0	3.1 ~3.5	3.6 ~4.0	4.1 ~4.5	4.6 ~				
~0.10	1,752	29,645	9,983								41,380	30.5	135,883	100.0
0.11 ~0.20	1	55	33,143	3,071							36,270	26.7	94,503	69.5
0.21 ~0.30		3	3,255	25,418							28,676	21.1	58,233	42.9
0.31 ~0.40				11,408	4,438						15,846	11.7	29,557	21.8
0.41 ~0.50				388	8,550						8,938	6.6	13,711	10.1
0.51 ~0.60					3,044	6					3,050	2.2	4,773	3.5
0.61 ~0.70					280	889					1,169	0.9	1,723	1.3
0.71 ~0.80					5	392					397	0.3	554	0.4
0.81 ~0.90					1	91	6				98	0.1	157	0.1
0.91 ~1.00						27	6				33	0.0	59	0.0
1.01 ~1.10						1	9				10	0.0	26	0.0
1.11 ~1.20							12				12	0.0	16	0.0
1.21 ~1.30							1				1	0.0	4	0.0
1.31 ~1.40							1				1	0.0	3	0.0
1.41 ~1.50													2	0.0
1.51 ~1.60									2		2	0.0	2	0.0
1.61 ~1.70														
1.71 ~1.80														
1.81 ~														
合計	1,753	29,703	46,381	40,285	16,318	1,406	35	2			135,883	100		
(%)	1.3	21.9	34.1	29.6	12.0	1.0	0.0	0.0			100			

表 III-6-4 通常時波浪の静穏度計算代表周期

波向	超過出現率97.5%以上の波の平均周期(sec)
SSW	2.1
SW	1.9
WSW	2.4
W	2.5
WNW	2.8
NW	2.8
NNW	2.5
N	2.4
SSW~N	2.5

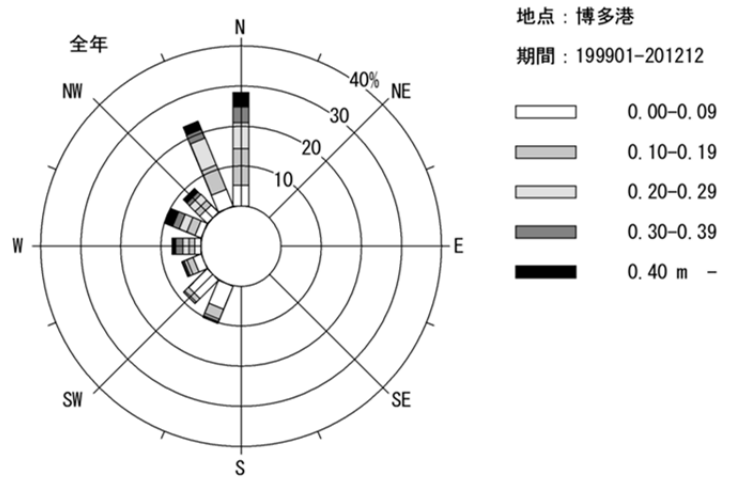


図 III-6-3 波向別波高頻度分布図

表 III-6-5 波向別累積頻度表

波高(m)	周期(s)	SSW		SW		WSW		W		WNW	
		累積	(%)	累積	(%)	累積	(%)	累積	(%)	累積	(%)
	~0.10	13,554	9.967	11,358	8.359	7,116	5.237	9,796	7.209	13,212	9.723
0.11	~0.20	5,021	3.695	2,526	1.859	4,060	2.988	7,751	5.604	11,058	8.138
0.21	~0.30	1,420	1.045	821	0.604	1,823	1.342	5,692	4.189	7,941	5.844
0.31	~0.40	606	0.446	210	0.155	878	0.646	3,468	2.552	5,290	3.893
0.41	~0.50	205	0.151	21	0.015	360	0.265	1,157	0.851	2,889	2.126
0.51	~0.60	20	0.015	7	0.005	122	0.090	412	0.303	1,307	0.962
0.61	~0.70	5	0.004	2	0.001	34	0.025	117	0.086	408	0.300
0.71	~0.80	4	0.003	1	0.001	10	0.007	28	0.021	126	0.093
0.81	~0.90	1	0.001	1	0.001	3	0.002	7	0.005	34	0.025
0.91	~1.00	1	0.001					1	0.001	6	0.004
1.01	~1.10									3	0.002
1.11	~1.20										
1.21	~1.30										
1.31	~1.40										
1.41	~1.50										
1.51	~1.60										
1.61	~1.70										
1.71	~1.80										
1.81											
波高(m)	周期(s)	NW		NNW		N		合計			
		累積	(%)	累積	(%)	累積	(%)	累積	(%)	累積	(%)
	~0.10	11,350	8.353	31,142	22.918	38,365	28.234			135,893	100.000
0.11	~0.20	7,795	5.737	25,024	18.416	31,268	23.011			94,503	69.547
0.21	~0.30	5,591	4.115	16,032	11.798	18,913	13.919			58,233	42.855
0.31	~0.40	2,894	2.130	6,123	4.506	10,088	7.424			29,557	21.752
0.41	~0.50	1,571	1.156	2,796	2.058	4,712	3.468			13,711	10.090
0.51	~0.60	700	0.515	1,048	0.771	1,157	0.851			4,773	3.513
0.61	~0.70	317	0.233	387	0.285	453	0.333			1,723	1.268
0.71	~0.80	54	0.040	139	0.102	192	0.141			554	0.408
0.81	~0.90	11	0.008	58	0.043	42	0.031			157	0.116
0.91	~1.00	4	0.003	29	0.021	18	0.013			59	0.043
1.01	~1.10	2	0.001	13	0.010	8	0.006			26	0.019
1.11	~1.20	1	0.001	8	0.006	7	0.005			16	0.012
1.21	~1.30			2	0.001	2	0.001			4	0.003
1.31	~1.40			1	0.001	2	0.001			3	0.002
1.41	~1.50			1	0.001	1	0.001			2	0.001
1.51	~1.60			1	0.001	1	0.001			2	0.001
1.61	~1.70										
1.71	~1.80										
1.81											



#### (イ) 異常時波浪

異常時波浪の静穏度計算は、表 III-6-6 に示す波高・周期をそれぞれの港口部入射波とする。波の集中度パラメーター( $S_{max}$ )は、 $S_{max}=10$  とする。地点1の入射波は、図 III-6-6 に示す「開口部-1」に適用し、地点2の入射波は、同図の「開口部-2」「開口部-3」「開口部-4」に適用する。

表 III-6-6 異常時波浪条件

波向	「地点-1」入射波 (東航路側港口部)		「地点-2」入射波 (中央航路側港口部)	
	波高 $H_o$ (m)	周期 $T$ (s)	波高 $H_o$ (m)	周期 $T$ (s)
SSW	0.85	2.8	0.48	2.0
SW	1.12	3.3	0.74	2.5
WSW	1.49	3.7	1.23	3.3
W	1.49	3.7	1.57	3.8
WNW	1.18	3.2	1.50	3.8
NW	0.96	2.8	1.44	3.7
NNW	1.10	2.9	1.82	3.9
N	1.14	2.8	1.86	3.8
NNE	0.66	2.2	1.10	3.0

#### 2) 潮位諸元

計算潮位は、通常時波浪に対しては平均潮位(M. S. L.)、異常時波浪に対しては朔望平均満潮位(H. W. L.)とする。各潮位の値は、次の通りである。

- M. S. L. ; D. L. +1.10 m
- H. W. L. ; D. L. +2.16 m

#### 3) 港形

静穏度計算の港形は、図 III-6-4 の形状とする。港外からの波の進入は、図 III-6-6 の「開口部-2」「開口部-3」「開口部-4」の4箇所である。

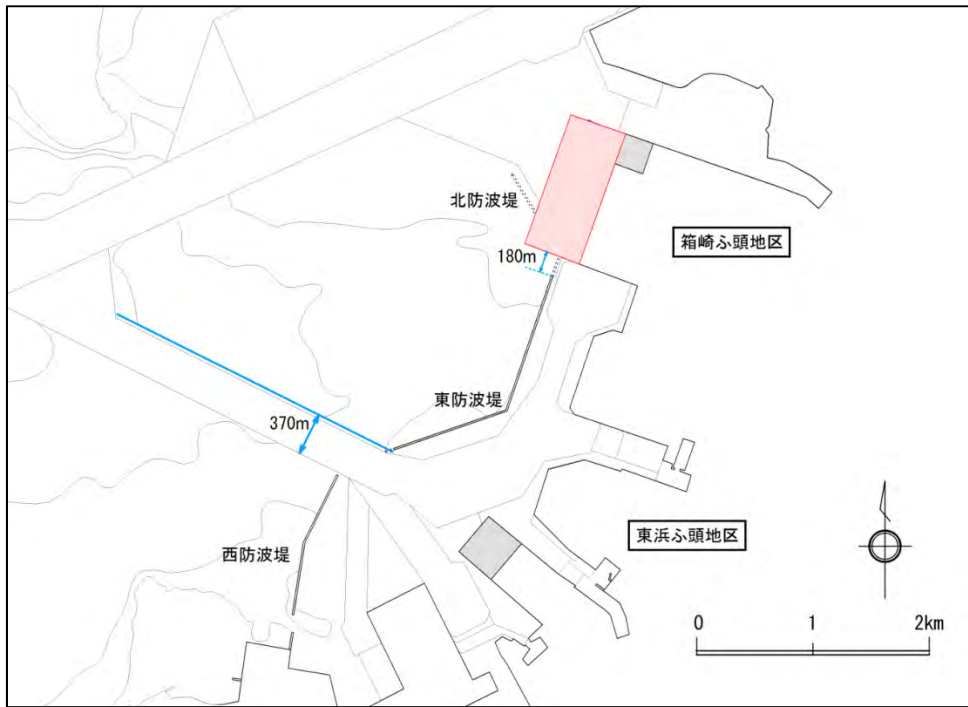


図 III-6-4 静穏度計算の港形

#### 4) 反射率

港内の各施設の反射率は、図 III-6-5 のとおり設定する。

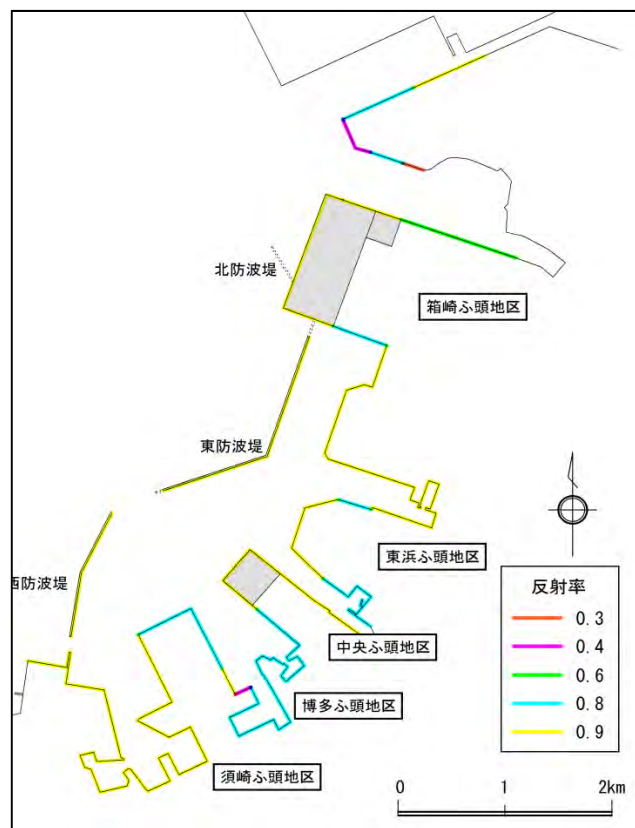


図 III-6-5 反射率設定図

### 5) 稼働率等算定位置

通常時波浪に対する年間稼働率の算定位置、並びに異常時波浪に対する波高抽出位置は、図 III-6-6 に示す 19 地点とする。

### 6) 荷役限界波高

稼働率算定位置の荷役限界波高は、表 III-6-7 に示すとおり、中・大型船では 0.5m とし、図 III-6-6 に示す「No. 15」は、小型船舶を対象とした係留施設であることを考慮して 0.3m とする。

表 III-6-7 荷役限界波高の設定

番号	地区	岸壁水深(m)	荷役限界波高(m)	備考
1	箱崎ふ頭	-10	0.5	
2		-12	0.5	
3		-7.5	0.5	
4		-10	0.5	
5		-12	0.5	
6		-10	0.5	
7	東浜ふ頭	-7.5	0.5	
8		-7.5	0.5	
9		-5.5	0.5	
10	中央ふ頭	-7.5	0.5	
11		-10	0.5	
12		-	0.5	中央ふ頭先端
13		-10	0.5	
14		-10	0.5	
15		-7.5	0.3	
16	博多ふ頭	-5.5	0.5	
17	須崎ふ頭	-12	0.5	
18		-7.5	0.5	
19		-7.5	0.5	

通常時波浪と異常時波浪の高山法による計算条件を表 III-6-8、表 III-6-9 に示す。

表 III-6-8 高山法計算条件(通常時波浪)

通常時 波浪	波向	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N
	周期 T(s)	2.1	1.9	2.4	2.5	2.8	2.8	2.5	2.4
	Smax	10	10	10	10	10	10	10	10
水位		D.L. -15.00m							
潮位		D.L.+1.10m (M.S.L.)							
周波数分割数		5							
波向分割数		36							
波向範囲		-90~+90							
反射率		図 III-6-5 に記載							
反射次数		1							

表 III-6-9 高山法計算条件(異常時波浪)

異常時 波浪	波向		SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	
	地点 1 開口部 1	波高 H(m)	0.85	1.12	1.49	1.49	1.18	0.96	1.1	1.14	
		周期 T(s)	2.8	3.3	3.7	3.7	3.2	2.8	2.9	2.8	
		Smax	10	10	10	10	10	10	10	10	
	地点 2 開口部 2,3,4	波高 H(m)	0.48	0.74	1.23	1.57	1.50	1.44	1.82	1.86	
		周期 T(s)	2.0	2.5	3.3	3.8	3.8	3.7	3.9	3.8	
		Smax	10	10	10	10	10	10	10	10	
	水位		D.L. -15.00m								
	潮位		D.L. +2.16m (H.W.L.)								
周波数分割数		5									
波向分割数		36									
波向範囲		-90~+90									
反射率		図 III-6-5 に記載									
反射次数		1									

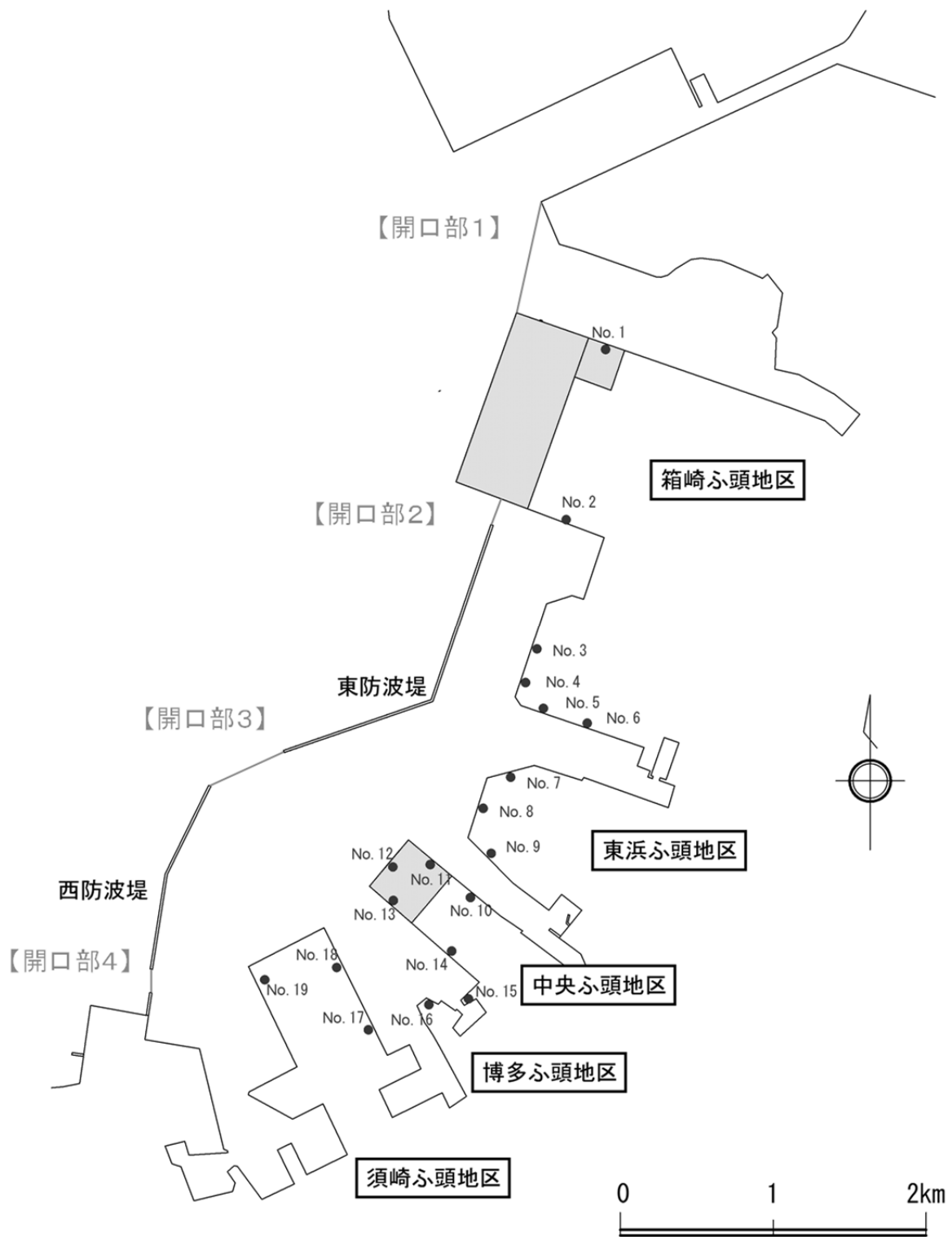


図 III-6-6 稼働率等算定位置

### ③ 計算結果

年間稼働率、異常時波高の結果は、表 III-6-10 に示すとおり、すべての地点で稼働率 97.5%以上、異常時波高 1.5m 以下を満足している。

表 III-6-10 静穏度検討結果と評価

施設No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
荷役限界波高[m]	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	
稼働率[%]	99.49	99.23	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
異常時波高 [m]	SSW	0.17	0.62	0.52	0.51	0.14	0.12	0.42	0.38	0.30	0.21
	SW	0.35	0.91	0.64	0.67	0.25	0.20	0.55	0.43	0.30	0.17
	WSW	0.70	1.37	0.77	0.80	0.39	0.39	0.63	0.71	0.54	0.38
	W	0.97	1.42	0.66	0.63	0.45	0.53	0.66	0.91	0.82	0.65
	WNW	0.94	1.00	0.45	0.39	0.32	0.38	0.50	0.80	0.84	0.69
	NW	0.77	0.63	0.22	0.22	0.22	0.29	0.31	0.60	0.58	0.58
	NNW	0.73	0.50	0.18	0.19	0.19	0.24	0.25	0.50	0.64	0.54
	N	0.52	0.30	0.14	0.11	0.06	0.08	0.13	0.35	0.46	0.37
評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
総合評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
施設No.	11	12	13	14	15	16	17	18	19		
荷役限界波高[m]	0.5	0.5	0.5	0.5	0.3	0.5	0.5	0.5	0.5		
稼働率[%]	100.00	99.73	99.94	99.98	99.88	99.98	99.99	99.98	100.00		
評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
異常時波高 [m]	SSW	0.40	0.48	0.32	0.27	0.18	0.20	0.11	0.11	0.09	
	SW	0.37	0.33	0.20	0.08	0.05	0.02	0.01	0.02	0.18	
	WSW	0.55	0.66	0.46	0.30	0.22	0.28	0.18	0.19	0.40	
	W	0.68	1.04	0.72	0.58	0.41	0.54	0.37	0.40	0.60	
	WNW	0.68	1.11	0.86	0.71	0.56	0.75	0.51	0.57	0.58	
	NW	0.59	1.07	0.95	0.85	0.60	0.85	0.66	0.69	0.48	
	NNW	0.55	1.06	1.05	0.91	0.75	1.05	0.89	0.96	0.54	
	N	0.39	0.78	0.85	0.68	0.56	0.79	0.77	0.85	0.44	
評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
総合評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

## 7. 臨港交通施設計画

### (1) 主要な臨港道路の現況

博多港における主要な臨港道路の現況は表 III-7-1 に示すとおりである。

表 III-7-1 主要な臨港道路の現況

種別	施設名	起点	終点	車線数	備考
臨港道路	アイランドシティ1号線	香椎パークポート1号線	主要地方道 志賀島和白線	2~6	一部既設
	香椎パークポート1号線	箱A-8号線	アイランドシティ1号線	6	既設
	香椎パークポート2号線	香椎パークポート	香椎パークポート1号線	4	既設
	箱A-8号線	箱崎ふ頭	都市計画道路 箱崎香椎線	6	既設
	箱A-2号線	箱崎ふ頭	国道3号	4	既設
	須崎・東浜線	須崎ふ頭	東浜ふ頭	4	一部既設
	中央ふ頭1号線	中央ふ頭	須崎・東浜線	4	一部既設
	那A-4号線	須崎ふ頭	都市計画道路 渡辺通線	6	既設

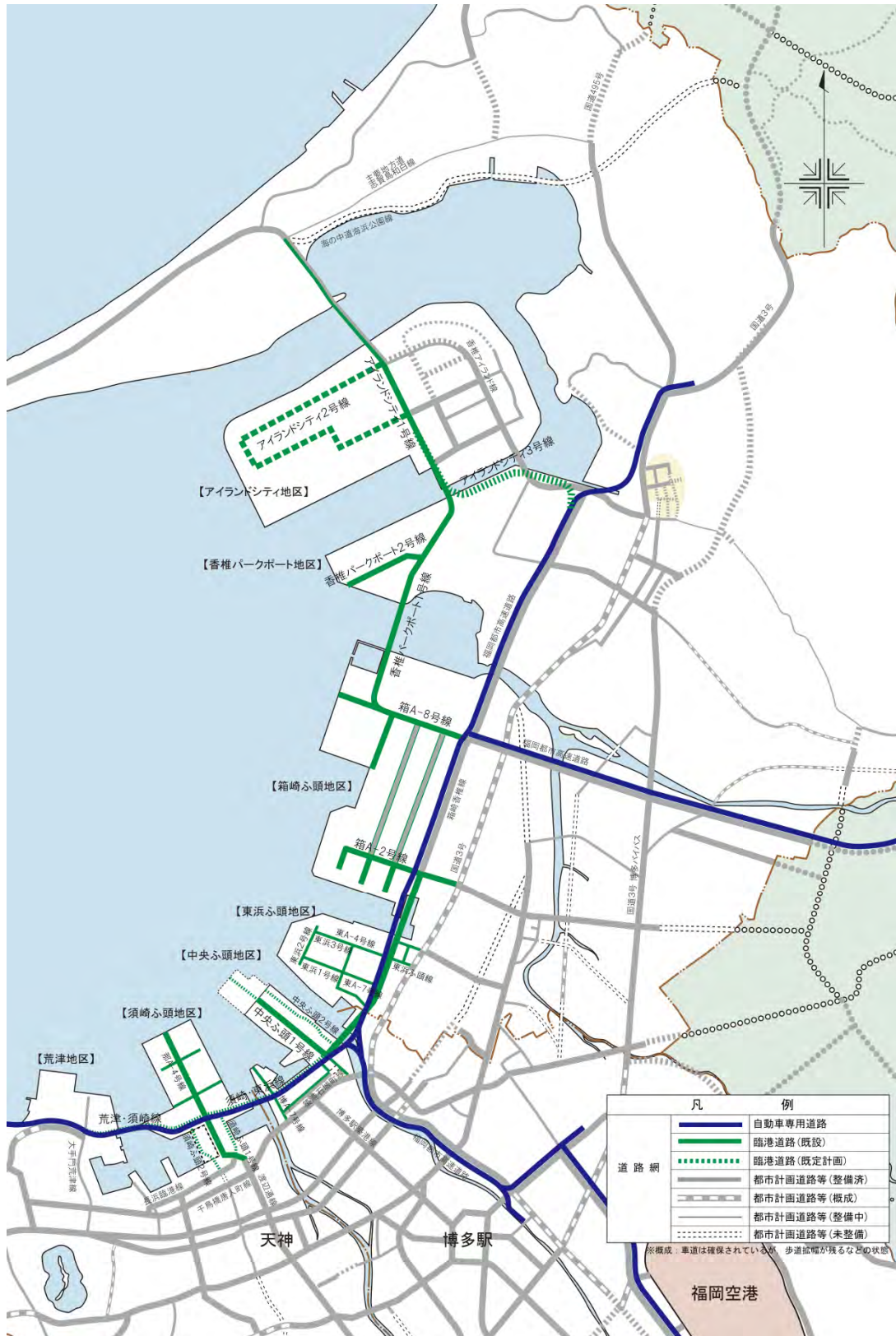


図 III-7-1 主要な臨港道路の現状図



## (2) 臨港交通計画の必要性

臨港地区等から発生する交通の円滑化や、埠頭間や背後地域との連携強化、ならびに広域交通アクセスの向上を図るため、既定計画に基づく道路ネットワークの形成を促進していく必要がある。

今回の計画交通量算定の結果、既設および既定計画の臨港道路において、将来の交通需要に対応可能である。

ただし、アイランドシティ地区および香椎パークポート地区、中央ふ頭地区における土地利用計画の見直しに伴い、以下の臨港道路について、規模及び配置を変更する。さらに、臨港交通ネットワーク形成に資する観点から、箱崎ふ頭地区内の以下の臨港道路（既設）を臨港交通施設計画に位置づける。

表 III-7-2 主要な臨港道路の規模及び配置

種別	施設名	起点	終点	計画車線数	規模及び配置の考え方	備考
臨港道路	アイランドシティ2号線	アイランドシティ1号線	アイランドシティ1号線	4	今回変更 (配置の変更)	一部既設
	香椎パークポート2号線	香椎パークポート	香椎パークポート1号線	4	今回変更 (配置の変更)	既設
	箱B-5号線	箱A-8号線	箱A-2号線	4	今回計画	既設
	箱B-4号線	箱A-8号線	箱A-2号線	4	今回計画	既設
	中央ふ頭1号線	中央ふ頭	須崎・東浜線	4	既定計画どおり	一部既設
	中央ふ頭2号線	中央ふ頭	須崎・東浜線	4	今回変更 (配置の変更)	
	アイランドシティ3号線	アイランドシティ1号線	都市計画道路 都市高速道路1号線	4	既定計画どおり	
	荒津・須崎線	荒津地区	須崎ふ頭	4	既定計画どおり	
	須崎ふ頭1号線	須崎ふ頭	那A-4号線	4	既定計画どおり	
須崎ふ頭2号線	須崎ふ頭	都市計画道路 長浜臨港線	4	既定計画どおり		

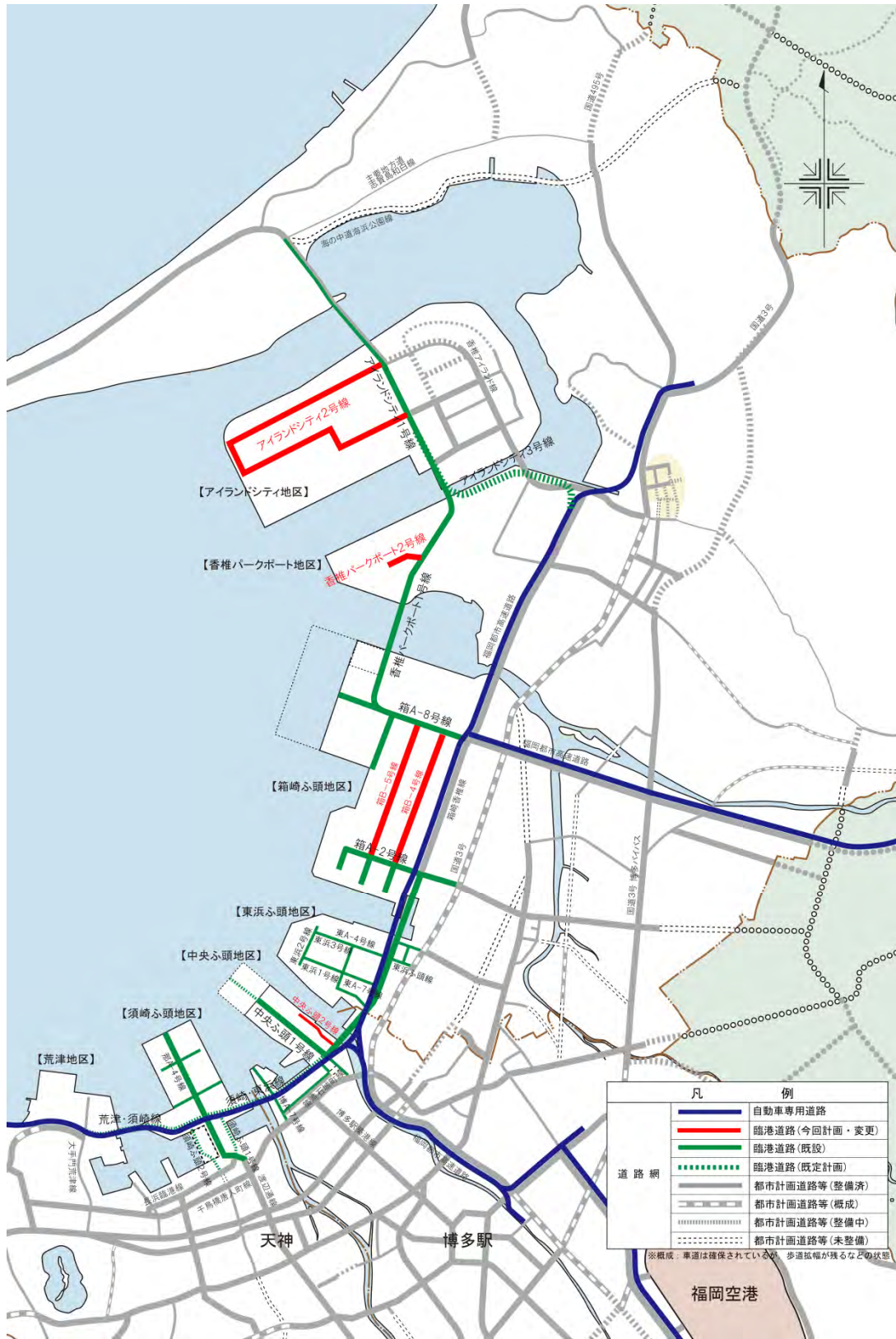


図 III-7-2 臨港交通施設設計画図

## IV. 港湾の環境の整備及び保全に関する資料

### 1. 自然的環境を整備又は保全する区域

#### 1-1 自然的環境を整備又は保全する区域

##### (1) 経緯

博多湾東部には、広大な和白干潟を含む浅海域や海の中道の白砂青松の砂浜、香住ヶ丘の岩礁・照葉樹林など変化に富んだ自然環境が広がっている。

これらの自然環境の保全・創造を図るとともに、地域の生活環境の向上に寄与する整備を行うことを目的として、アイランドシティを中心とした海域及び海岸域約 550 ヘクタールを「エコパークゾーン」と位置づけ、地域特性に合わせて4つのゾーンに区分して、「自然と人の共生」を基本理念とした施策を実施してきた。

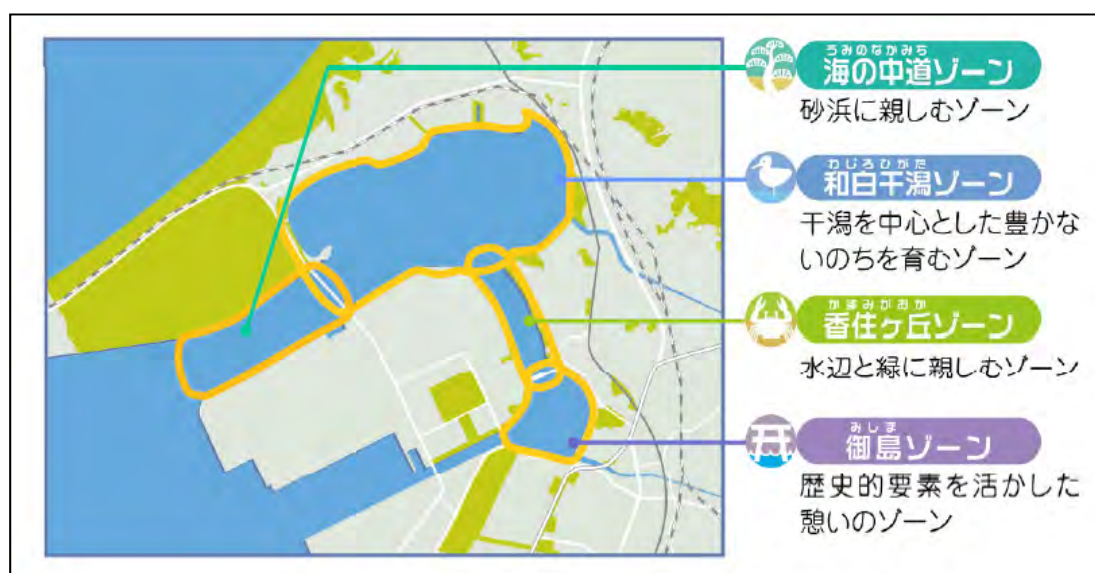


図 IV-1-1 エコパークゾーンのゾーン区分

##### 【これまで実施してきた主な施策】

- ・覆砂（御島ゾーン）
- ・作濬（御島ゾーン）
- ・アマモ場造成（御島ゾーン・和白干潟ゾーン）
- ・親水護岸の整備（御島ゾーン・香住ヶ丘ゾーン・和白干潟ゾーン）
- ・市民共働による環境保全活動の実施（エコパークゾーン全体）

##### (2) 計画内容

エコパークゾーンを「自然的環境を整備又は保全する区域」として位置づけ、市民との共働による環境の保全と創造の取組みを促進するとともに、水底質の改善や身近に自然とふれ合える場の形成などを図る。

## 1-2 良好な景観形成

- ・シーサイドもちもち地区やアイランドシティ地区では、海に開かれた美しいみなとづくりを進めるため、景観形成ガイドラインなどにより、良好な景観づくりに取り組んできた。
- ・一方で、近年急増しているクルーズ船などの船上から多くの人々が博多港を目にするとともに、臨海部の道路整備などにより、市民が港を目にする機会が増えている。また、中央ふ頭地区や博多ふ頭地区では、都心部の新たな拠点として、賑わいや魅力ある景観づくりが求められている。
- ・このような中、「市民の方々に親しまれるとともに、訪れる方々に憩いや楽しみを提供する、美しく清潔感のある港」を目標像として、関係者が目標を共有し、一体的・持続的に美しく魅力ある港の景観形成に取り組むための指針である「博多港景観形成指針」を策定（平成27年10月運用開始）するなど、共有の財産である博多港全体の景観づくりに取り組むこととしており、特に、中央ふ頭・博多ふ頭からなるウォーターフロント地区を中心に、海の玄関口にふさわしい景観づくりを進めることとする。

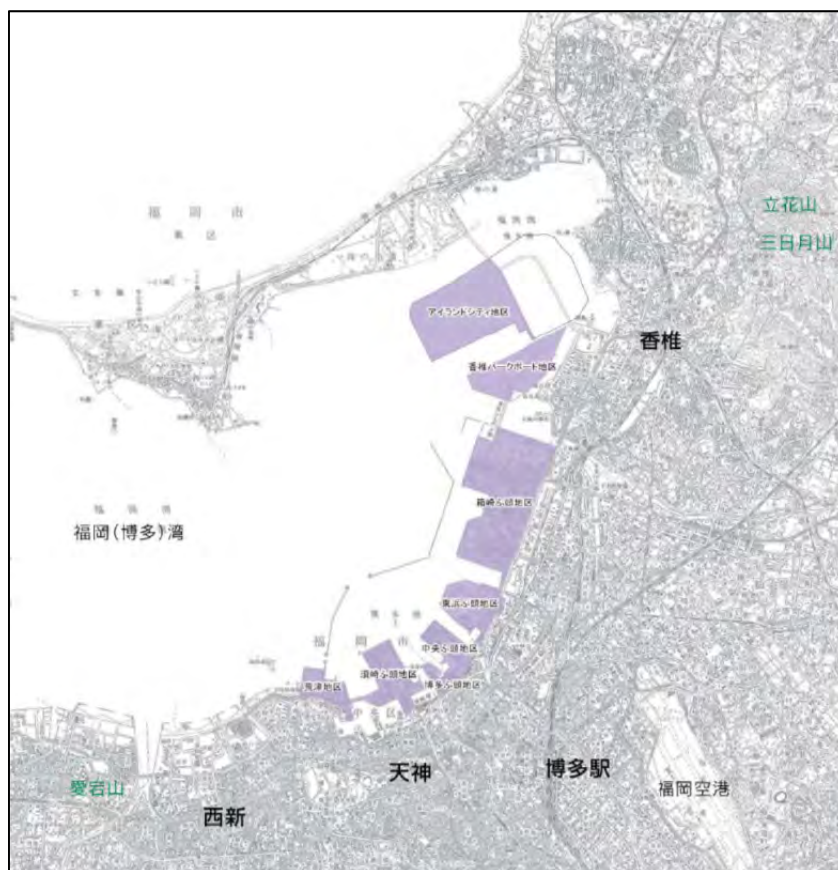


図 IV-1-2 博多港港湾景観形成指針の対象エリア

## 2. 廃棄物処理計画

### (1) 背景・課題

- ・港湾機能を維持・拡充するためには、航路等の浚渫は必要不可欠である。
- ・浚渫土砂は、陸上工事に比べ大量に発生し、かつ水分を多く含むことから、海面に処分することが効率的であり、これまで、水深の浅い博多港では、航路浚渫などで発生した土砂をアイランドシティなどの埋立事業に有効活用し、港湾機能の強化などを進めてきた。
- ・現在、博多港内で発生する浚渫土砂や公共残土等については、アイランドシティや、博多湾内の環境改善などに有効活用しながら処分を行っているものの、今後、受入先の不足が想定される。
- ・このため、将来にわたって港湾機能を維持・拡充していくためには、継続的に発生する浚渫土砂等を安定的に受け入れるための空間が必要となっている。

### (2) 計画の考え方

- ・航路等浚渫で発生する土砂等の受入先として海面処分用地を箱崎ふ頭先端に計画する。
- ・また、長期的には、港湾機能再編のための用地としての活用も検討する。

### (3) 海面処分用地の規模について

今後、博多港全体で発生が想定される浚渫土砂や公共残土などの土量と、新たな土地造成のために受け入れる土量を勘案し、海面処分用地は約 530 万 m<sup>3</sup> 受け入れ可能な規模とした。

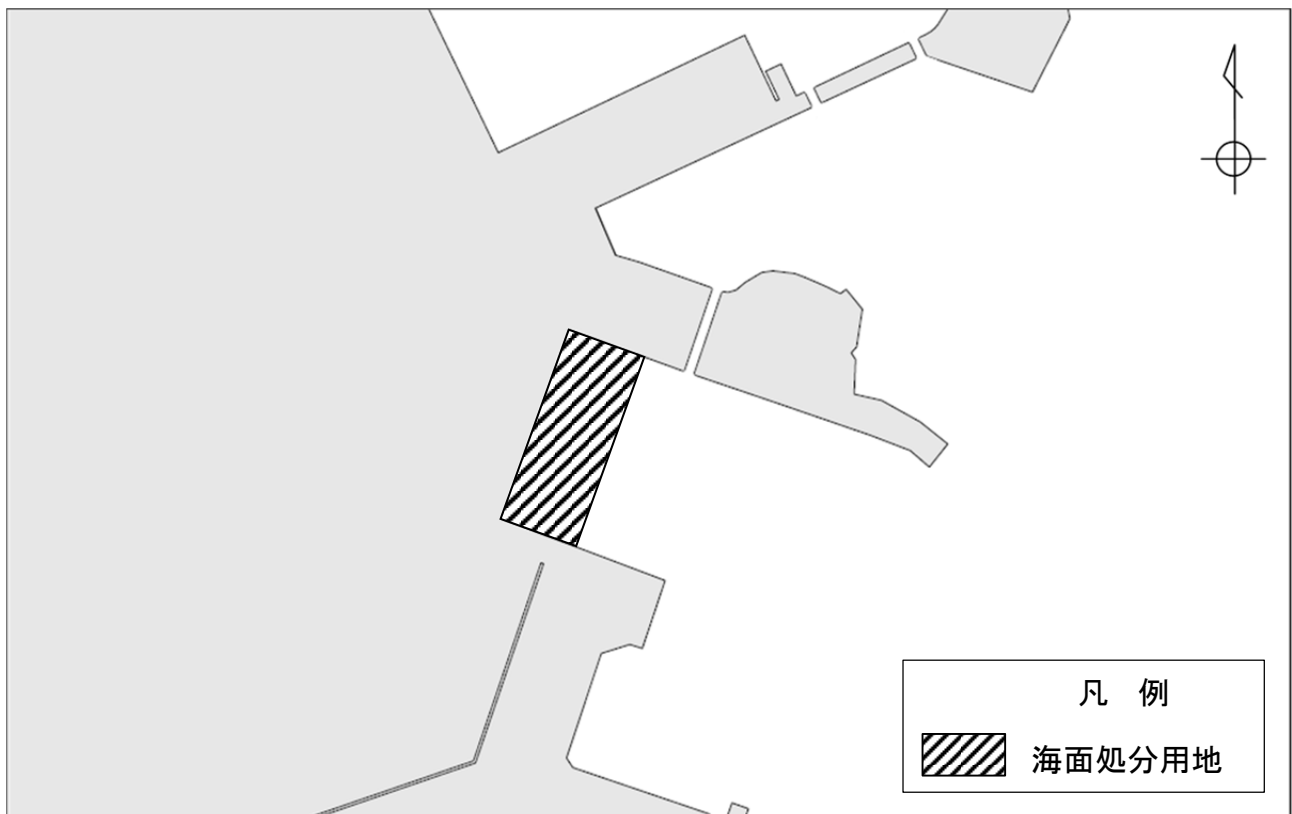


図 IV-2-1 海面処分用地位置図

### 3. 港湾環境整備施設計画

#### 3-1 緑地

##### (1) 緑地の現況

緑地面積等の現況は、次のとおりである。

表 IV-3-1 緑地の現況

地区名	名称	緑地面積 (ha)	土地区分	用途区分	備考
能古	能古緑地	0.3	緑地	修景	既設
小戸ヨットハーバー	小戸1号、2号緑地	1.3	その他緑地	都市公園	既設
西福岡マリナタウン	姪浜地区遊歩道 (愛宕浜)	3.3	緑地	レクリエーション	既設
シーサイドももち	百道浜地区遊歩道 地行浜地区遊歩道	9.1	緑地	レクリエーション	既設
福浜	福浜緑地	1.3	緑地	修景	既設
博多ふ頭	博多ふ頭1号緑地	0.5	緑地	修景	既設
中央ふ頭	びあトピア緑地 びあトピア緑道	1.6	緑地	修景	既設
	(先端部)	1.1	緑地	修景	既定計画
箱崎ふ頭	箱崎ふ頭記念緑地	1.0	緑地	シンボル	既設
	箱崎ふ頭1号緑地	0.5	緑地	休息	既設
香椎パークポート	みなと100年公園	12.1	緑地	レクリエーション	既設
	(緑地)	2.3	緑地	修景	既設
	香椎浜公園	29.7	その他緑地	都市公園 スポーツ広場	既設
アイランドシティ	外周緑地等	34.8	緑地	親水・修景	既定計画
	あいたか橋	0.3	緑地	親水	既設
	アイランドシティ 中央公園	15.6	その他緑地	都市公園	既設

(2) 今回計画する緑地の配置・考え方

今回計画する緑地の規模及び配置の考え方は、次のとおりである。

表 IV-3-2 今回計画する緑地の考え方

地区名	名称	緑地面積 (ha)	変更区分	土地区分	用途 区分	配置の考え方
アイランドシティ	外周緑地 (みなとづくりエリア)	4.6	既定計画の変更計画	緑地	修景	対岸からの修景機能を確保するとともに、物流施設の集積促進、国際港湾施設の保安強化、官民共働による緑化の推進を鑑み、緑地規模を見直す
	外周緑地等 (まちづくりエリア)	20.2	既定計画の変更計画	緑地	親水・修景	アイランドシティはばたき公園の具体化等に対応するため形状を見直す
	グリーンベルト	6.7	新規計画	その他緑地	-	まちづくりの具体化に伴い、都市機能用地の一部をその他緑地に変更する
香椎パーク ポート	緑地	0.5	既定計画の変更計画	緑地	修景	物流需要増大に対応するため緑地規模を見直す
箱崎ふ頭	箱崎ふ頭記念緑地	1.0	既設の変更計画	その他緑地	-	現状の利用・管理実態に応じて、その他緑地に見直す
	箱崎ふ頭1号緑地	0.5	廃止	-	-	国際国内 RORO ターミナルの機能強化や休息緑地機能のニーズの低下に伴い、緑地を削除する
中央ふ頭	先端緑地	1.0	既定計画の変更計画	緑地	修景・防災	船からの眺望や、ウォーターフロント地区における良好な港湾環境と大規模震災時におけるオープンスペース機能の一部を担う

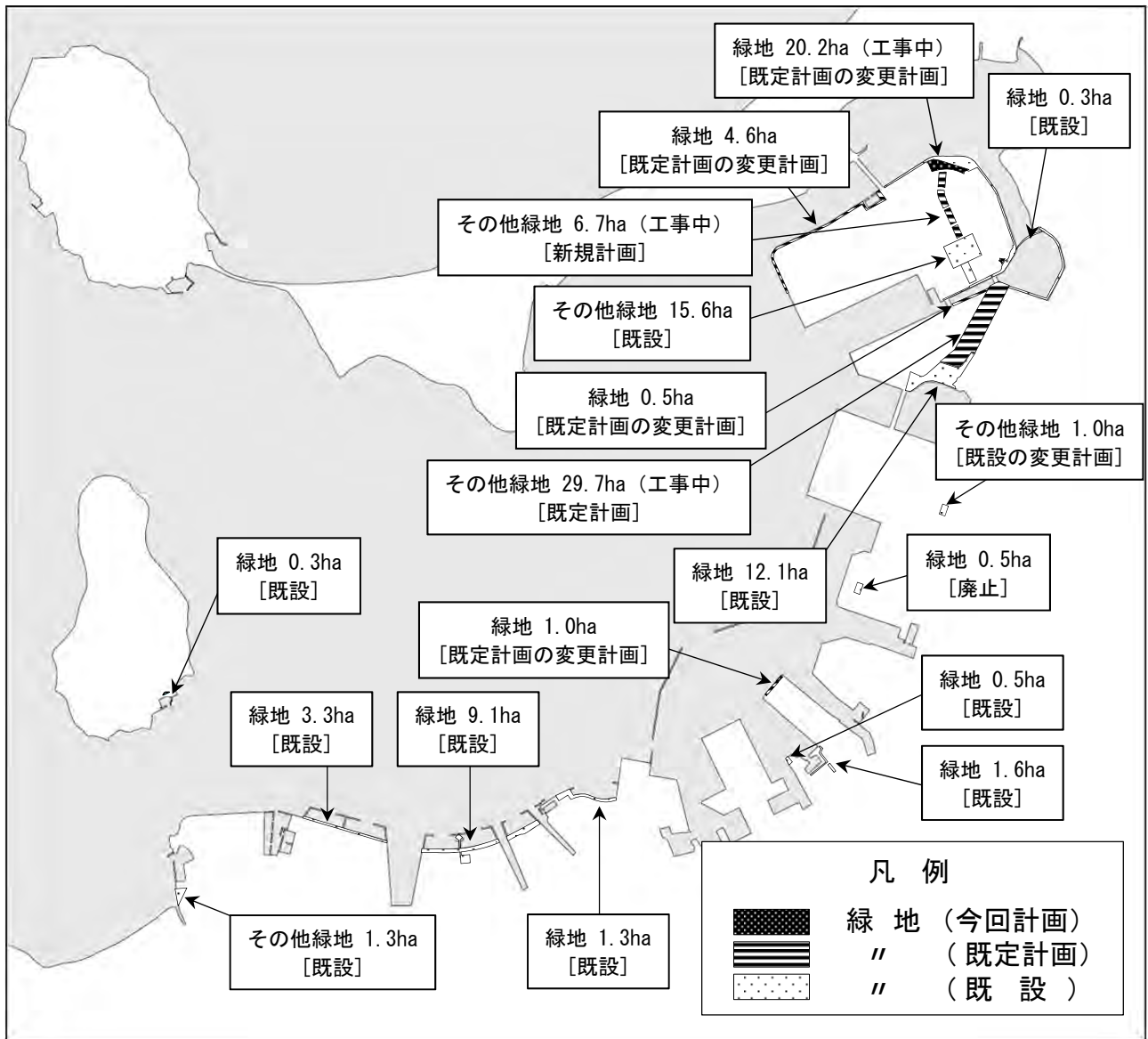


図 IV-3-1 緑地計画



## V. 土地造成及び土地利用計画に関する資料

### 1. 土地造成計画

#### (1) 土地造成の必要性

##### 【箱崎ふ頭地区】

低利用となっている箱崎ふ頭地区の水面貯木場の水域を有効活用し、港湾機能再編の種地の一部として在来貨物を取扱うため、土地の造成を行う。また、将来にわたって港湾機能を維持・拡充していくため、継続的に発生する浚渫土砂等を安定的に受け入れる空間として、海面処分用地を確保する。

##### 【中央ふ頭地区】

クルーズ船の複数隻同時着岸や世界最大級のクルーズ船に対応した受入機能の強化を図るため、ターミナル機能や駐車場機能を拡充するとともに、市民や国内外からの来訪者が集い楽しむ空間として、緑地や賑わい機能を確保する。あわせて、国際フェリー機能や大規模地震発生時における緊急物資輸送対応の施設を配置するため土地を造成する。

##### 【須崎ふ頭地区】

既定計画においては、埠頭基部における交通動線の強化や、天神の北側エリアの活性化のため天神を補完する国際業務機能の集積を図る必要があるとして、土地を造成することとしている。

なお、同埠頭基部については、天神の北側エリアの開発動向等を見極めながら、長期的な視点に立って将来のあり方を検討していく必要があることから、「利用形態の見直しの検討が必要な区域」とする。

#### (2) 土地造成計画

表 V-1-1 土地造成計画

単位：ha

地区名	用途									
	埠頭用地	港湾関連用地	交流厚生用地	工業用地	都市機能用地	交通機能用地	危険物取扱施設用地	緑地	海面処分用地	合計
箱崎ふ頭	(8.0) 8.0								(56.5) 56.5	(64.5) 64.5
中央ふ頭～博多ふ頭	(6.8) 6.8	(4.5) 4.5				(0.9) 0.9		(1.0) 1.0		(13.2) 13.2
須崎ふ頭	(0.5) 0.5	(3.1) 3.1				(1.0) 1.0				(4.6) 4.6
合計	(15.3) 15.3	(7.6) 7.6				(1.9) 1.9		(1.0) 1.0	(56.5) 56.5	(82.3) 82.3

注1) ( ) は、港湾の開発、利用及び保全並びに港湾に隣接する区域の保全に、特に密接に関連する土地造成計画で内数である。

注2) 端数整理のため、内数の和は必ずしも合計とはならない。

## 2. 土地利用計画

### (1) 土地造成に係らない土地利用計画

土地造成に係らない土地利用の区分別面積と変更の理由は次のとおりである。

表 V-2-1 土地造成に係らない土地利用計画

地区名	変更前		変更後		変更理由
	土地利用	面積 (ha)	土地利用	面積 (ha)	
アイランド シティ	港湾関連用地	97.5	港湾関連用地	107.9	臨海部物流拠点の形成を促進する観点から、交通機能用地及び緑地の配置・規模を見直し、港湾関連用地を拡張する。
	交通機能用地	14.5	交通機能用地	14.1	
	緑地	14.6	緑地	4.6	
	都市機能用地	155.9	都市機能用地	149.2	まちづくりの具体化に伴い、その他緑地と都市機能用地の配置・規模を見直す。
	その他緑地	15.6	その他緑地	22.3	
香椎パーク ポート	埠頭用地	40.1	埠頭用地	41.5	コンテナターミナルを拡張し、バンブール用地を確保するため、交通機能用地を埠頭用地に変更する。
	交通機能用地	2.8	交通機能用地	1.4	
	港湾関連用地	42.3	港湾関連用地	44.4	物流需要増大に対応するため、緑地から港湾関連用地に変更する。
	緑地	2.3	緑地	0.5	
箱崎ふ頭	埠頭用地	11.2	港湾関連用地	11.2	海面処分用地の計画により廃止する岸壁の荷捌き機能が不要になるため、物流需要拡大に対応した港湾関連用地に変更する。
	港湾関連用地	89.9	港湾関連用地 交通機能用地	83.3 6.6	国際国内 RORO 拠点形成に伴い、港湾関連交通が増加することから交通機能用地に変更する。
中央ふ頭	埠頭用地	12.1	埠頭用地	9.0	クルーズ船受入機能強化及び物流機能と人流機能の調和を図るため、土地利用を変更する。
	港湾関連用地	10.0	港湾関連用地	13.9	
	交通機能用地	1.8	交通機能用地	1.0	

表 V-2-2 変更後の土地利用計画

単位：ha

用途 地区名	埠頭用地	港湾関連用地	交流厚生用地	工業用地	都市機能用地	交通機能用地	施設用地 危険物取扱	緑地	海面処分用地	合計
アイランドシティ	72.1	108.7			149.2	25.1		47.4		402.5
香椎パークポート	41.5	44.4				11.2		42.3		139.4
箱崎ふ頭	33.8	115.2		90.9	11.5	19.9		1.0	56.5	328.8
東浜ふ頭	13.1	28.6		25.4		9.4				76.5
中央ふ頭～博多ふ頭	19.3	21.2	14.4			11.7		3.1		69.7
須崎ふ頭	9.9	64.3				11.6				85.8
荒津				4.6		0.9	27.5			33.0
福浜	1.2							1.3		2.5
シーサイドももち								9.1		9.1
西福岡マリナタウン	2.7	2.5						3.3		8.5
小戸			7.4							7.4
小戸ヨットハーバー			4.0					1.3		5.3
能古	0.4	0.4				0.2		0.3		1.3
合計	194.0	385.3	25.8	120.9	160.7	90.0	27.5	109.1	56.5	1,169.8

注1) 端数整理のため、内数の和は必ずしも合計とはならない。

### 3. 臨港地区の範囲

博多港の現況及び将来の臨港地区は、下図に示すとおりである。

将来の臨港地区は、博多港を管理、運営するために、必要とされる区域（港湾管理者案）であるが、地区の設定は、具体的な土地利用及び周辺の土地利用状況等を勘案し、行うものとする。

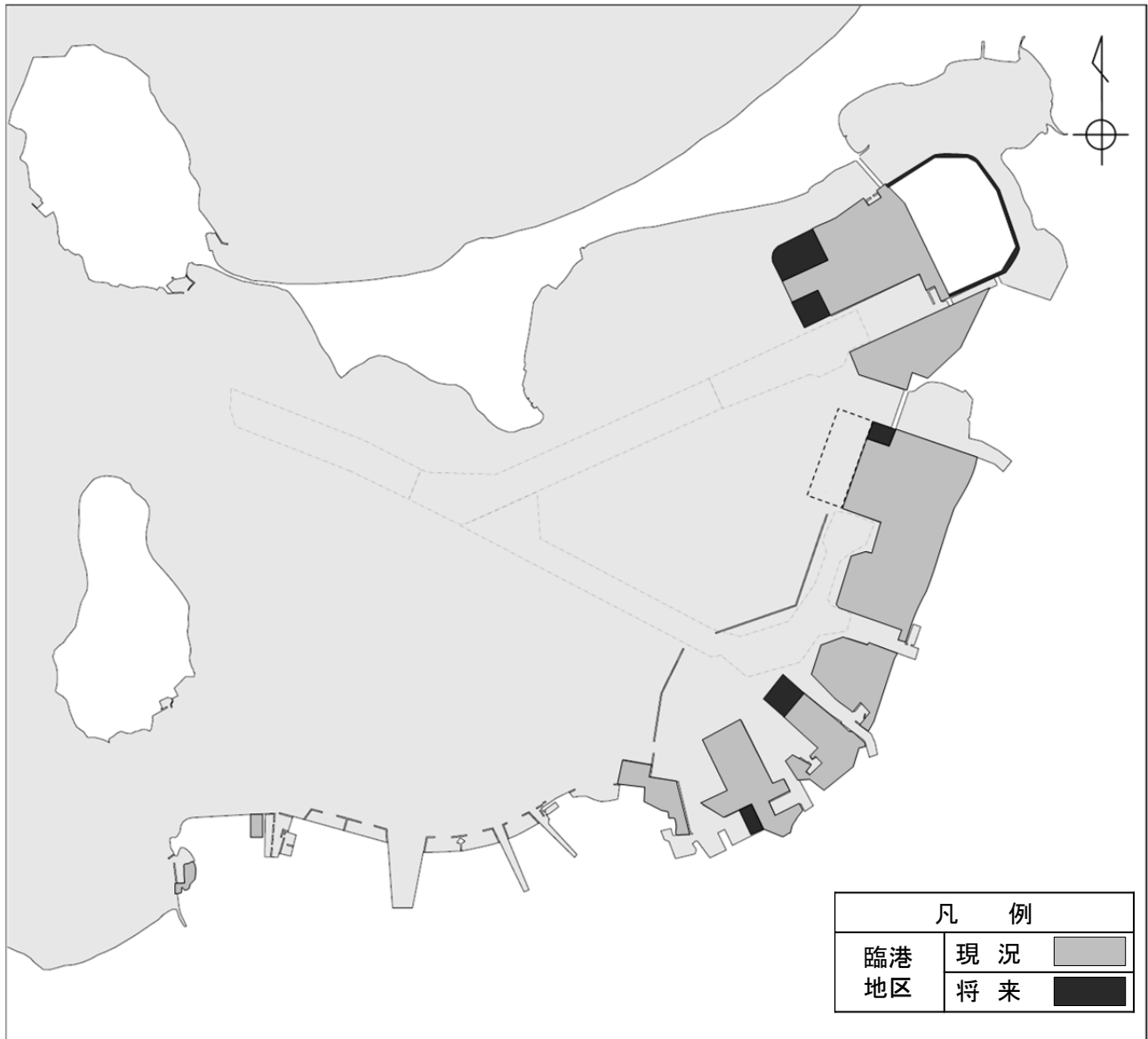


図 V-3-1 現況及び将来の臨港地区

## VI. 港湾の効率的な運営に関する事項

### 1. 効率的な運営を特に推進する区域

コンテナ船等により輸送される貨物を取扱う以下の埠頭について、効率的な運営を特に促進するよう措置することを計画する（法第43条の11第6項の規定に基づく港湾運営会社によるものを含む）。

（アイランドシティ地区）

水深15m 岸壁2バース 延長700m（コンテナ船用）[既定計画] IC-D、IC-C2  
（うち350m既設）

水深14m 岸壁1バース 延長330m（コンテナ船用）[既設] IC-C1  
埠頭用地 51ha（荷捌施設用地及び保管施設用地）（うち22ha工事中）[既設]

（香椎パークポート地区）

水深13m 岸壁2バース 延長600m（コンテナ船用）[既設] PP1、PP2  
埠頭用地 21ha（荷捌施設用地及び保管施設用地）[既設]

（箱崎ふ頭地区）

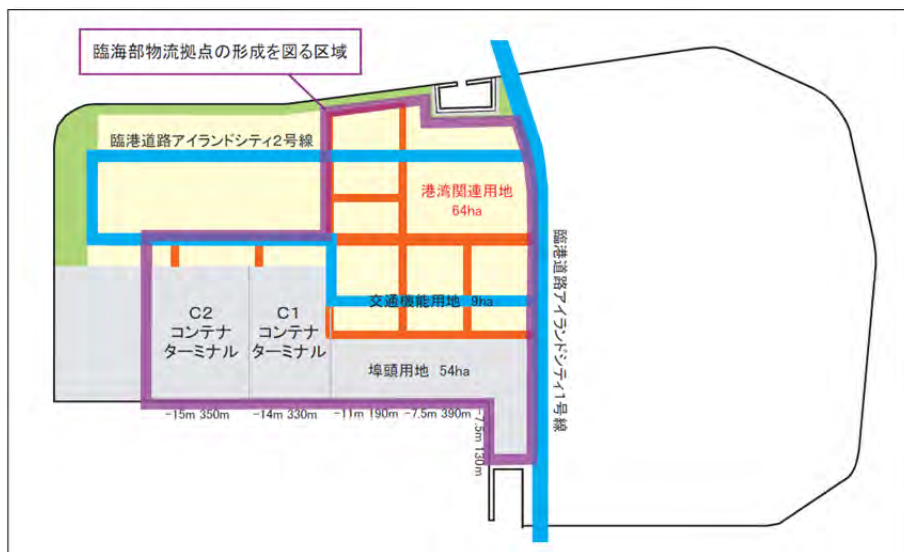
水深10m 岸壁1バース 延長240m [新規計画]Hz6  
水深9m 岸壁1バース 延長220m [新規計画]Hz7  
埠頭用地 8ha（荷捌施設用地及び保管施設用地）[既設]

## 2. 臨海部物流拠点の形成を図る区域

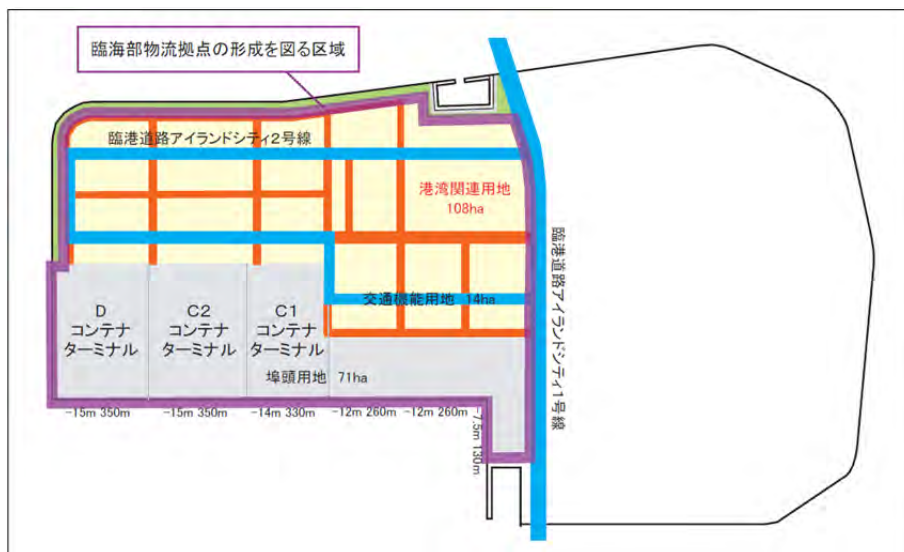
国際海上コンテナ貨物等に係る貨物の輸送、保管、荷さばき等に係る業務を行う施設を集積し、埠頭と一体的に、埠頭の機能の一層の強化を図る区域をアイランドシティ地区に配置する。

水深 1.5 m	岸壁 2 バース	延長 700 m [既定計画] (うち 350 m 既設)	IC-D、IC-C2
水深 1.4 m	岸壁 1 バース	延長 330 m [既設]	IC-C1
水深 1.2 m	岸壁 2 バース	延長 520 m [既設の変更計画]	IC2、IC3
埠頭用地	71 ha (うち 22 ha 工事中)		
港湾関連用地	108 ha		
交通機能用地	14 ha		

[既定計画]



[今回計画]



## VII. その他重要事項

### 1. 国際海上輸送網又は国内海上輸送網の拠点として機能するために必要な施設

(アイランドシティ地区)

水深 1.5 m 岸壁 2 バース 延長 700 m (コンテナ船用) [既定計画] IC-D、IC-C2  
(うち 1 バース既設)

水深 1.2 m 岸壁 2 バース 延長 520 m [既設の変更計画] IC2、IC3

泊地 水深 1.5 m 面積 2 ha [既定計画]

泊地 水深 1.2 m 面積 3 ha [新規計画]

航路・泊地 水深 1.2 m 面積 1.9 ha [新規計画]

臨港交通施設アイランドシティ 3 号線 4 車線 [既定計画]

起点 臨港道路アイランドシティ 1 号線

終点 都市計画道路都市高速道路 1 号線

(箱崎ふ頭地区)

水深 9 m 岸壁 1 バース 延長 220 m [既設の変更計画] Hz7

泊地 水深 9 m 面積 3 ha [新規計画]

航路・泊地 水深 1.2 m 面積 1.5 ha [新規計画]

(中央ふ頭地区)

水深 1.2 m 岸壁 1 バース 延長 450 m [既定計画の変更計画] Ch3

泊地 水深 1.2 m 面積 4 ha [新規計画]

航路・泊地 水深 1.2 m 面積 1 ha [新規計画]

(須崎ふ頭地区)

航路・泊地 水深 1.2 m 面積 1.3 ha [新規計画]

(航路)

東航路 水深 1.5 m 幅員 430 m [既定計画]

中央航路 水深 1.2～1.5 m 幅員 370～430 m [既定計画の変更計画]

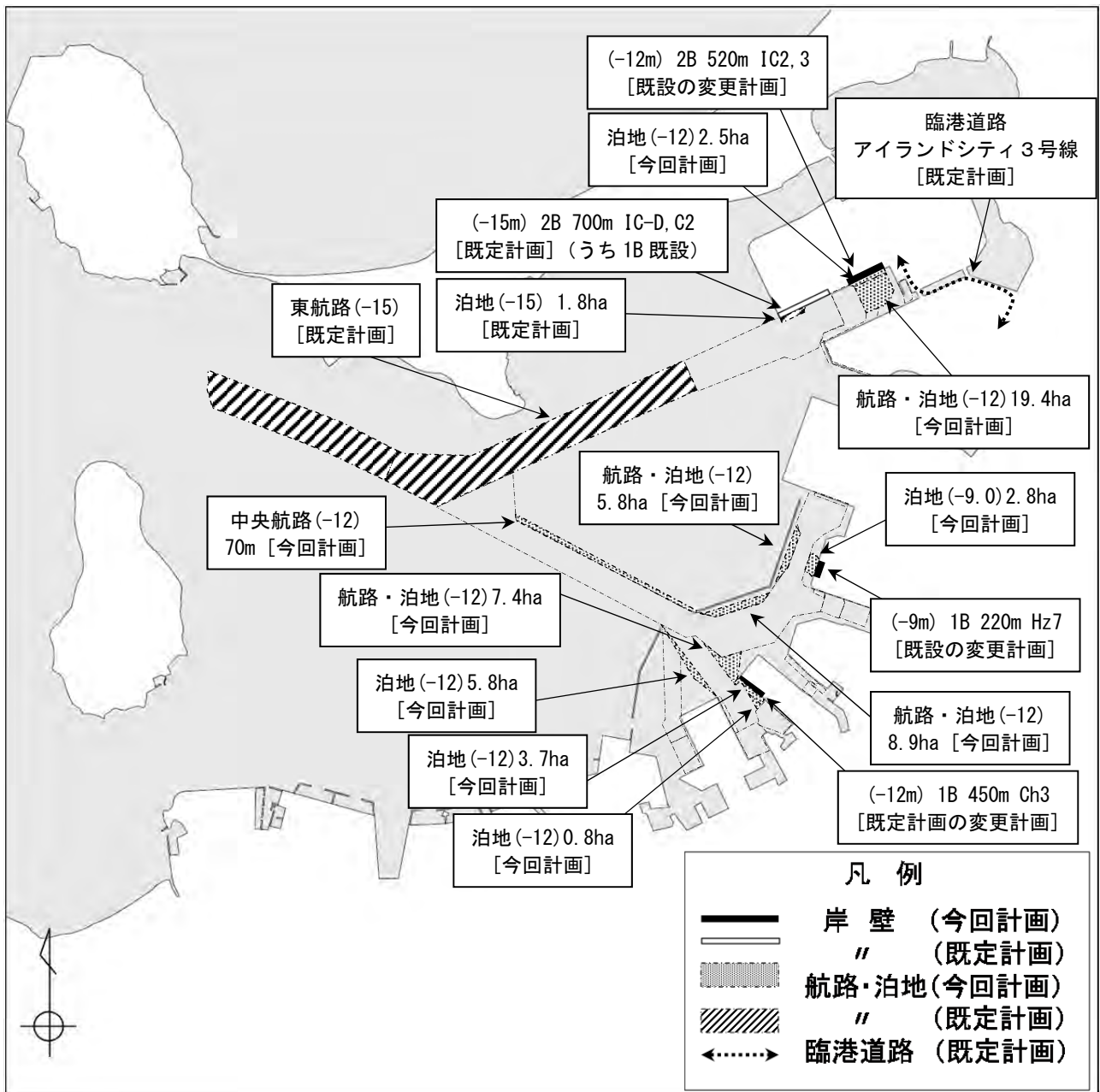


図 VII-1-1 国際海上輸送網又は国内海上輸送網の拠点として機能するために必要な施設



## 2. 大規模地震対策施設計画

### (1) 大規模地震対策施設の現況

大規模地震対策施設の現況は、次のとおりである。

表 VII-2-1 大規模地震対策施設の現況

地区名	水深 (m)	バース数	延長 (m)	用途	状況
アイランドシティ	15	1	350	幹線貨物輸送用	既設
	15	1	350	幹線貨物輸送用	既定計画
中央ふ頭	10	1	250	緊急物資輸送用	既定計画

### (2) 大規模地震対策施設の必要性・考え方

発災時における安全で安心な市民生活の確保や、緊急物資の輸送など円滑な災害支援・救助活動には、海上輸送が重要な役割を果たすこととなる。また、震災時に経済活動への影響を最小限に抑えるため、博多港における物流機能の確保が必要となる。

このため、大規模地震発生時において「緊急物資輸送の拠点として機能する耐震強化岸壁」を計画するとともに、「幹線貨物輸送の拠点として機能する耐震強化岸壁」を計画する。

### (3) 必要な耐震強化岸壁の数

地震発生時における緊急物資輸送の背後圏を、警固断層南東部<sup>※</sup>の直上に位置し被害が大きいと考えられる自治体とし、博多港において必要となる緊急物資輸送量及び耐震強化岸壁の数を次のとおり設定する。

表 VII-2-2 警固断層南東部沿線各都市の被害想定（避難者数）

都市名	避難者数（人）
福岡市	25,072
春日市	4,395
大野城市	2,293
太宰府市	2,785
筑紫野市	3,897
<b>合計</b>	<b>38,442</b>

（出典：地域防災計画（平成26年10月版））

※「福岡市地域防災計画」では、福岡市における被害が想定される地震のうち、本市に最も影響を及ぼすと考えられる地震は警固断層（南東部）を震源とする地震である。

表 VII-2-3 必要バース数の算定（臨海防災拠点マニュアル（平成9年3月）より）

項目	単位	数値	備考
① 想定被災人口	千人	39	表VII-2-2 参照
② 一人あたりの緊急物資量（ピーク時）	kg/人・日	40	設定値
③ ピーク時緊急物資量	トン/日	1,560	① × ②
④ 港湾分担率	%	10	設定値
⑤ 港湾利用緊急物資量	トン/日	156	③ × ④
⑥ 1バース当たりの取扱能力	トン/バース・日	250	設定値
⑦ 必要バース数（-10m岸壁換算）	バース	0.624	⑤ ÷ ⑥

#### （4）耐震強化岸壁の配置の考え方

##### ① 緊急物資輸送用岸壁

必要バース数及び計画バース数は、延長 170m・水深 10m の岸壁を標準の 1 バースとして、換算バース数を算定する。

$$\text{標準岸壁（延長 170m 水深 10m）：貨物取扱量 } 250\text{t} / \text{バース} \cdot \text{日} \approx 1.47\text{t} / \text{m} \cdot \text{日}$$

○中央ふ頭-9.0m岸壁 340m（新設）

取扱貨物量：340m × 1.47 t / m・日 = 500 t / 日

この取扱量を-10.0mバース数に換算すると 500 t / 日 ÷ 250t / バース・日 ≈ 2.0 バース  
よって、必要バース数を満足する。

##### ② 幹線貨物輸送用岸壁

博多港は日本海側で唯一、北米航路が就航するとともに、東アジアに近接した地理的優位性から国際 RORO 航路が就航するなど重要な幹線ネットワークを形成している。

このため、博多港の国際物流拠点を形成しているアイランドシティの水深 15m以上のコンテナ岸壁及び、国際 RORO 拠点である箱崎ふ頭の水深 10m岸壁において、幹線貨物輸送対応の耐震強化岸壁を計画する。

#### （5）配置計画一覧

大規模地震対策施設計画は以下のとおりである。また、公共埠頭計画の変更に伴い、岸壁の延長・水深を変更する。

表 VII-2-4 大規模地震対策施設計画

地区名	施設名	水深(m)	バース数	延長(m)	用途	状況
アイランドシティ	IC-D,IC-C2	15	2	700	幹線貨物輸送用	既定計画
箱崎ふ頭	Hz6	10	1	240	幹線貨物輸送用	新規計画
中央ふ頭	Ch4	9	1	340	緊急物資輸送用	新規計画

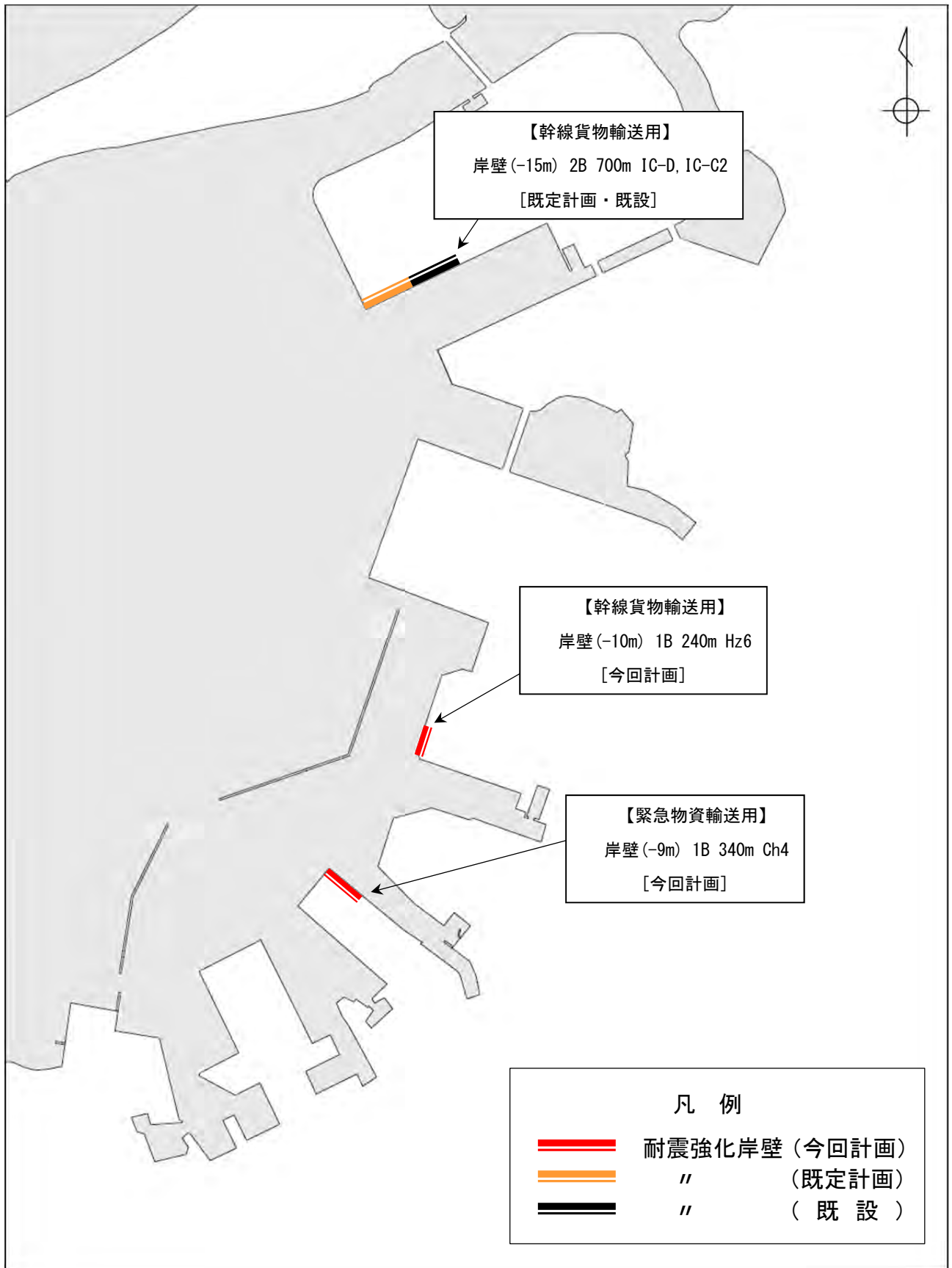


図 VII-2-1 大規模地震対策施設計画位置図

### 3. 港湾施設の利用

#### (1) 物資補給等のための施設

表 VII-3-1 物資補給岸壁

地区名	バース名	水深 (m)	延長 (m)	対象船舶 (D/W)
箱崎ふ頭	Hz14	-4.0	216	
中央ふ頭	Ch6	-7.5	160	5,000
	Ch7	-6.5	161	3,500
	Ch8	-4.0	230	
須崎ふ頭	Su10	-7.5	130	5,000
	Su11	-4.0	384	
	Su12	-2.5	357	
	Su13	-5.5	230	2,000
	Su14	-4.0	198	
	Su15	-4.0	130	
計	10バース	-	2,196	-

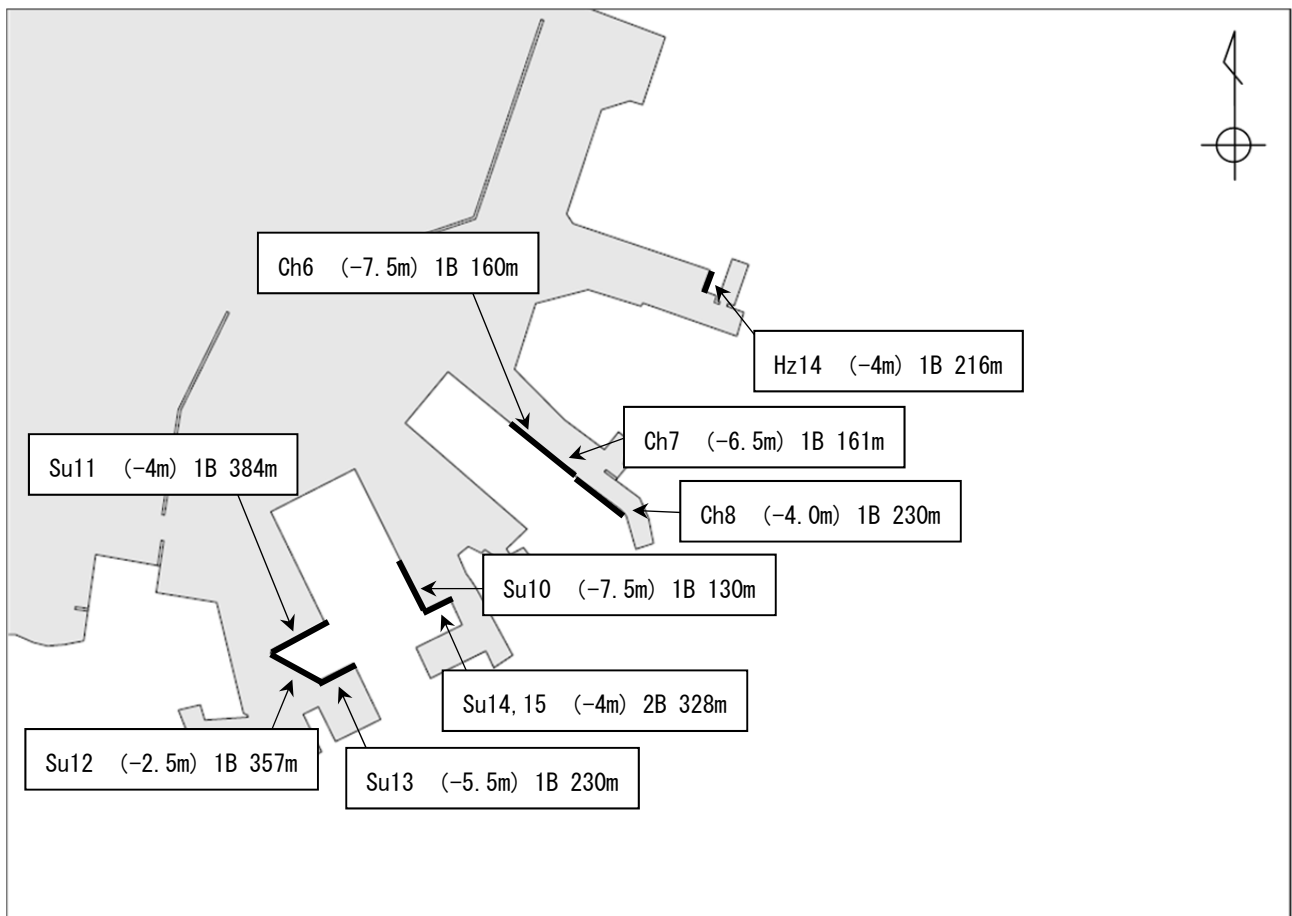


図 VII-3-1 物資補給岸壁位置図

## 4. 利用形態の見直しを検討していく区域

### 4-1 荒津地区及び西戸崎地区

#### ① 石油類取扱量の現状

博多港は、九州の燃料油等（重油及び石油製品）の販売量の3割超、福岡県の9割超に相当する石油類を取り扱っており、その中心である荒津地区及び西戸崎地区は、北部九州をはじめとする背後圏に石油類を安定供給する石油基地として、重要な役割を果たしている。

博多港の石油類の取扱量は、平成21年頃までは減少傾向にあったが、以降は横ばいである。

表 VII-4-1 博多港の石油類取扱量の推移

年次	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H26/H16
取扱量(単位:千トン)	5,322	5,480	5,575	5,383	5,254	4,943	4,653	4,619	4,678	4,625	4,607	4,076	74.4%
うち荒津地区	4,473	4,618	4,698	4,486	4,320	4,013	3,678	3,633	3,660	3,613	3,546	3,361	72.8%
うち西戸崎地区	589	624	622	598	636	594	617	611	651	675	708	715	114.6%
その他	259	239	255	298	297	337	357	375	367	336	352	1	0.5%

※重油、石油製品、LPG、その他石油製品の合計

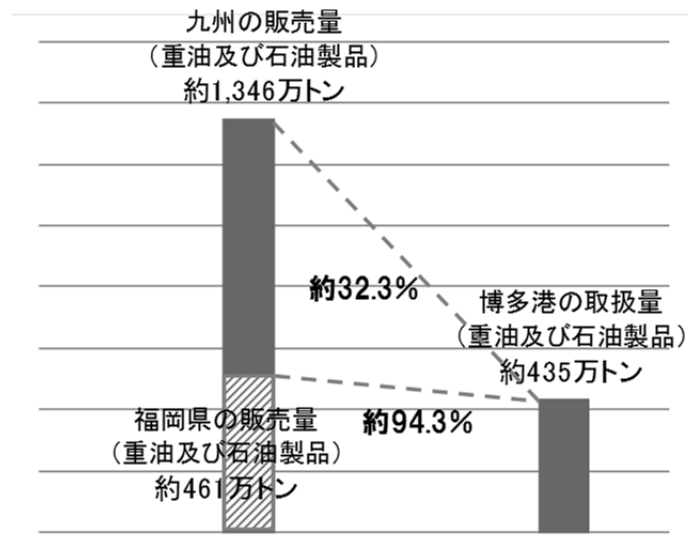


図 VII-4-1 九州・福岡県の重油及び石油製品の取扱量と博多港の取扱量の比較

※販売量は、経済産業省 産業動態統計年報 資源・窯業・建材編，石油連盟 HP を基に作成

## ② 石油取扱施設を取り巻く状況と課題

### ○石油需要の見通し

全国的には、今後も再生可能エネルギーや水素など新たなエネルギーの普及・転換が進み、石油類の需要の減少は今後も続く予想される。

しかし、博多港においては、近年の取扱量は横ばいで推移していること、背後圏の人口も増加すること等から、当面、大きな増減はないものと考えられる。

### ○現在の立地企業の意向

消費地に近く、高速道路と直結するなど利便性が非常に高いことから、博多港の石油類取扱施設を（北部）九州の拠点と位置づけており、博多港での事業は当面継続する意向である。

一方、人口減少、省エネ化・車離れ等により全国的な石油需要が減少傾向にあり、石油産業の合理化・効率化が進められている中、移転のための大規模な投資は困難な状況であると考えられる。

### ○荒津地区及び西戸崎地区の課題

高度成長期以降の都市化の進展に伴い、住宅地が荒津地区及び西戸崎地区の石油取扱施設に隣接する区域まで拡大しており、周辺市街地との調和や都市防災等の観点からは課題を有している。

このため、荒津地区および西戸崎地区における石油取扱機能の移転・再編や緩衝帯としての公園整備などが求められている。

平成24年8月の博多港長期構想においても、「都市防災の観点から、地区内の再編に合わせて緩衝帯としての機能を有する公園・緑地空間の形成に取り組み、都心部におけるスポーツ・レクリエーション空間を創っていく必要がある」との提言がなされている。

しかしながら、施設が立地しているのは私有地であること等から、早期の移転・集約や公園等の整備は困難と考えられる。

## ③ 利用形態の見直しを検討する必要性

荒津地区及び西戸崎地区は、背後圏の石油基地として重要な役割を担っており、立地企業も事業を継続する意向を持っていることから、当分の間は、現在の機能を維持していく必要があると考えられる。

一方、市街地に隣接しているため、周辺市街地との調和や都市防災などの観点からは、課題を有している。

このため、今後の石油業界の再編や立地企業の動向などを注視しながら、長期的な展望に立つて、荒津地区及び西戸崎地区の将来のあり方について検討していく必要がある。

## 4-2 須崎ふ頭地区

### ① 現状

須崎ふ頭は、福岡の都心である天神地区に隣接しており、埠頭基部には都市高速道路の天神北ランプが立地している。

輸入穀物や鉄鋼などを取り扱っており、特に穀物取扱機能については、箱崎ふ頭と合わせ博多港で九州の輸入小麦の全量を取り扱うなど、九州・西日本地域の市民生活や経済活動を支える重要な役割を果たしている。

### ② 課題

平成24年8月の博多港長期構想では、須崎ふ頭について「埠頭基部から順次、魅力ある土地利用への転換を進めていく必要があります。」との提言を受けている。また、市民等からも都心との近接性を活かした都市的な土地利用に転換すべきとの意見がある。

しかし、須崎ふ頭の土地利用の転換に際しては、水際線を除き大半が民有地であり、交通アクセスの強化も不可欠であるとともに、博多港全体の物流機能の再編を伴うことから、港湾機能の移転先の確保を含め、長期的な取組みが必要になる。

### ③ 利用形態の見直しを検討する必要性

須崎ふ頭については、「博多港の将来像」のとおり、長期的には物流中心から都市的土地利用への転換を検討していく必要がある。

そのためには、まずは須崎ふ頭の基部について、既定計画の埋立て及び臨港道路整備による空間の確保や交通基盤の強化が必要であるが、実施にあたっては、中央ふ頭・博多ふ頭地区の再整備、天神の北側エリアのまちづくり、新たな土地需要の動向などを見極めながら、長期的な視点に立って将来のあり方を検討していく必要がある。

今回の計画改訂では、その第一歩として、埠頭基部の岸壁を物資補給岸壁に変更し、段階的な港湾機能の縮小を進めていく。

## VIII. その他の資料

### 1. 港湾の周辺状況

#### 1-1 経済的・社会的条件

##### (1) 背後圏

博多港の背後地域については、博多港を利用する企業の立地状況や港湾貨物の流動状況等を踏まえ、九州7県及び山口県とした。

表 VIII-1-1 博多港の背後地域

背後地域	九州7県+山口県 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、 大分県、宮崎県、鹿児島県、山口県
------	--



図 VIII-1-1 博多港の背後圏



(2) 人口

博多港の背後地域における人口の推移を表 VIII-1-2 に示す。

表 VIII-1-2 市町村別人口の推移

(千人, 年平均伸び率%)

市町村名 及び区分	人口										
	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
福岡市	1,089	1,160	1,237	1,285	1,341	1,401	1,464	1,479	1,492	1,506	1,519
福岡県	4,553	4,719	4,811	4,934	5,016	5,050	5,072	5,079	5,085	5,090	5,091
佐賀県	866	880	878	884	877	866	850	847	843	840	835
長崎県	1,591	1,594	1,563	1,545	1,517	1,479	1,427	1,417	1,408	1,397	1,386
熊本県	1,790	1,838	1,840	1,860	1,859	1,842	1,817	1,813	1,807	1,801	1,794
大分県	1,229	1,250	1,237	1,231	1,221	1,210	1,197	1,191	1,185	1,178	1,171
宮崎県	1,152	1,176	1,169	1,176	1,170	1,153	1,135	1,131	1,126	1,120	1,114
鹿児島県	1,785	1,819	1,798	1,794	1,786	1,753	1,706	1,699	1,690	1,680	1,668
山口県	1,587	1,602	1,573	1,556	1,528	1,493	1,451	1,442	1,431	1,420	1,408
九州7県+山口県計	14,553	14,878	14,869	14,980	14,974	14,846	14,655	14,619	14,575	14,526	14,467

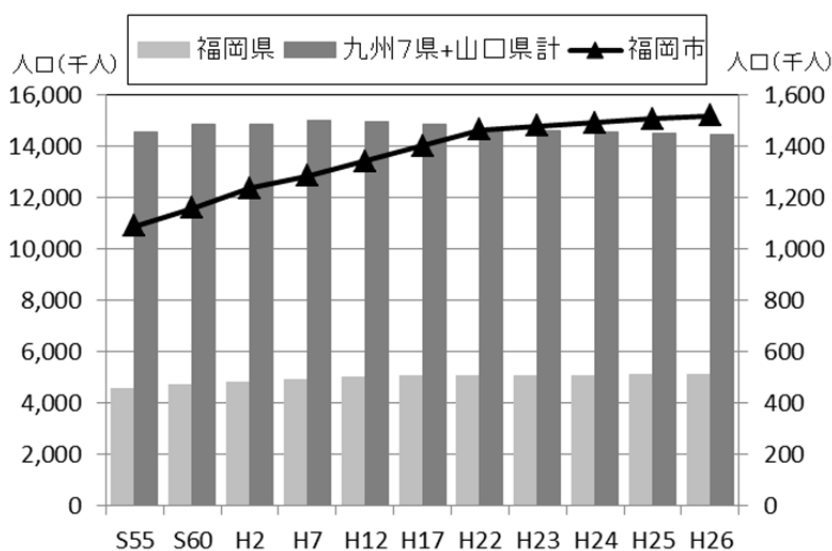


図 VIII-1-2 人口の推移

出典：国勢調査、総務省統計局、福岡市統計年報

(3) 産業の動向

① 九州の産業分類別就業人口の推移

表 VIII-1-3 九州の産業分類別就業人口の推移

(単位：人)

	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	10年/85年
第一次産業	農業	813,046	649,875	558,664	469,683	448,053	45.0
	林業	20,899	16,519	13,559	10,592	7,617	59.7
	漁業	103,412	88,807	74,387	59,848	49,984	39.0
	計	937,357	755,201	646,610	540,123	505,654	44.6
第二次産業	鉱業	18,942	10,503	10,354	8,278	3,693	16.0
	建設業	593,007	636,041	728,240	699,121	600,774	83.6
	製造業	920,150	994,759	939,820	862,010	765,153	79.4
	計	1,532,099	1,641,303	1,678,414	1,569,409	1,369,620	80.2
第三次産業	卸売・小売業	1,397,619	1,406,023	1,491,992	1,458,752	1,165,330	73.8
	金融・保険業	162,153	176,939	176,443	162,961	145,282	84.2
	不動産業	35,465	48,822	48,521	51,279	60,609	247.9
	運輸・通信業	362,481	364,794	377,842	374,042	388,962	109.6
	電気・ガス・水道業	33,255	32,597	34,987	34,388	28,083	85.7
	サービス業	1,292,761	1,449,787	1,674,429	1,817,725	2,212,869	169.2
	公務	269,692	259,123	269,347	266,055	259,931	93.1
計	3,553,426	3,738,085	4,073,561	4,165,202	4,261,066	4,119,994	115.9
総数	6,032,730	6,151,042	6,421,106	6,322,849	6,208,469	6,015,872	99.7

出典：国勢調査

② 九州の産業別総生産額の推移

表 VIII-1-4 九州の産業種目別総生産の推移

(単位：百万円)

	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	
第一次産業	農業	936,837	903,453	896,852	899,730	843,405	842,094	795,450	788,892	749,608	718,295
	林業	83,960	81,030	71,113	71,585	69,066	58,891	61,083	65,756	61,958	58,444
	水産業	221,476	200,742	195,690	185,421	184,329	180,786	175,484	187,758	162,419	147,449
	計	1,242,273	1,185,225	1,163,655	1,156,736	1,096,800	1,081,771	1,032,017	1,042,406	973,985	924,188
第二次産業	鉱業	130,954	123,179	101,843	96,091	87,636	86,058	88,651	78,022	72,061	62,709
	製造業	7,312,993	6,677,357	6,564,217	6,954,760	7,148,185	7,215,476	7,340,492	7,649,483	6,847,425	6,550,995
	建設業	3,619,899	3,275,466	3,082,895	2,814,304	2,738,132	2,578,591	2,688,554	2,422,825	2,324,328	2,150,946
	計	11,063,846	10,076,002	9,748,955	9,865,155	9,973,953	9,880,125	10,117,697	10,150,330	9,243,814	8,764,650
第三次産業	電気・ガス・水道業	1,401,485	1,367,788	1,345,592	1,347,892	1,325,200	1,259,640	1,199,836	1,145,863	1,137,483	1,160,789
	卸売・小売業	6,726,300	6,483,075	6,298,479	6,303,251	6,219,880	6,172,863	6,010,635	5,940,978	5,858,219	5,464,071
	金融・保険業	2,053,314	2,229,909	2,356,211	2,340,436	2,149,855	2,429,674	2,347,790	2,357,735	1,919,300	1,915,108
	不動産業	4,783,979	4,873,619	4,946,201	4,982,044	5,113,631	5,166,469	5,236,963	5,329,369	5,424,584	5,477,071
	運輸・通信業	3,361,373	3,354,567	3,398,038	3,422,895	3,401,515	3,374,324	3,326,717	3,357,683	3,287,067	3,136,654
	サービス業	10,021,510	10,010,674	10,036,762	10,161,206	10,263,776	10,420,882	10,600,579	10,935,503	10,829,340	10,697,626
	政府サービス生産者	4,983,471	5,055,856	5,033,596	5,041,680	5,123,965	5,107,094	5,155,769	5,236,078	5,234,864	5,106,037
	非営利サービス生産者	970,885	1,000,939	1,052,798	1,019,222	1,049,430	1,084,603	1,160,922	1,131,105	1,158,371	1,134,879
計	34,302,317	34,376,427	34,467,677	34,618,626	34,647,252	35,015,549	35,039,211	35,434,314	34,849,228	34,092,235	
(控除) 帰属利子	1,466,201	1,714,210	1,758,553	1,684,762	1,545,074	1,598,847	1,588,727	1,555,462	1,431,070	1,379,343	
県内総生産	45,245,867	44,042,437	43,748,090	44,086,970	44,299,313	44,582,105	44,862,625	45,346,172	43,941,725	42,621,907	

出典：内閣府「県民経済計算年報」

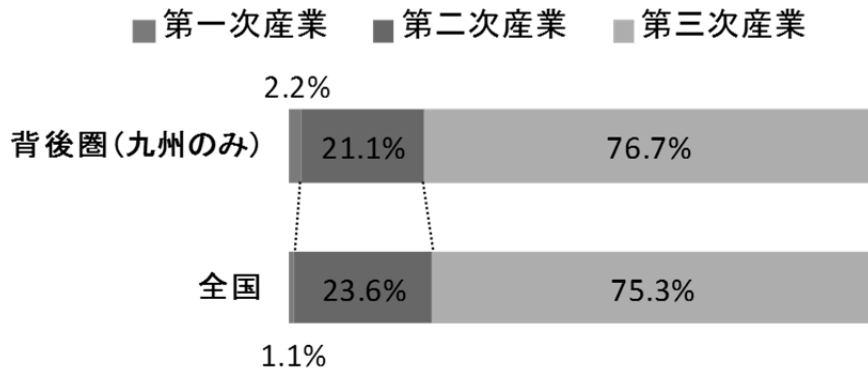


図 VIII-1-3 背後圏（九州）の産業構成比  
 (出典：九州経済産業局 「九州経済の現状 2015 夏」に基づき福岡市港湾局作成)

表 VIII-1-5 九州の第三次産業の生産額推移

(百万円、%)

	生産額					構成比				
	1990年度	1995年度	2000年度	2005年度	2009年度	1990年度	1995年度	2000年度	2005年度	2009年度
電気・ガス・水道業	1,260,706	1,386,689	1,401,485	1,259,640	1,160,789	4.8	4.4	4.1	3.6	3.4
卸売・小売業	6,276,979	6,726,792	6,726,300	6,172,863	5,464,071	23.9	21.4	19.6	17.6	16
金融・保険業	1,608,927	1,961,701	2,053,314	2,429,674	1,915,108	6.1	6.2	6	6.9	5.6
不動産業	3,281,709	4,379,521	4,783,979	5,166,469	5,477,071	12.5	13.9	13.9	14.8	16.1
運輸・通信業	2,717,291	3,436,503	3,361,373	3,374,324	3,136,654	10.3	10.9	9.8	9.6	9.2
サービス業	6,750,677	8,203,513	10,021,510	10,420,882	10,697,626	25.7	26.1	29.3	29.8	31.4
政府サービス生産者	3,611,414	4,383,276	4,983,471	5,107,094	5,106,037	13.7	13.9	14.5	14.6	15
非営利サービス生産者	795,381	1,008,317	970,885	1,084,603	1,134,879	3	3.2	2.8	3.1	3.3
計	26,303,084	31,486,312	34,302,317	35,015,549	34,092,235	100	100	100	100	100

(内閣府「県民経済計算年報」)

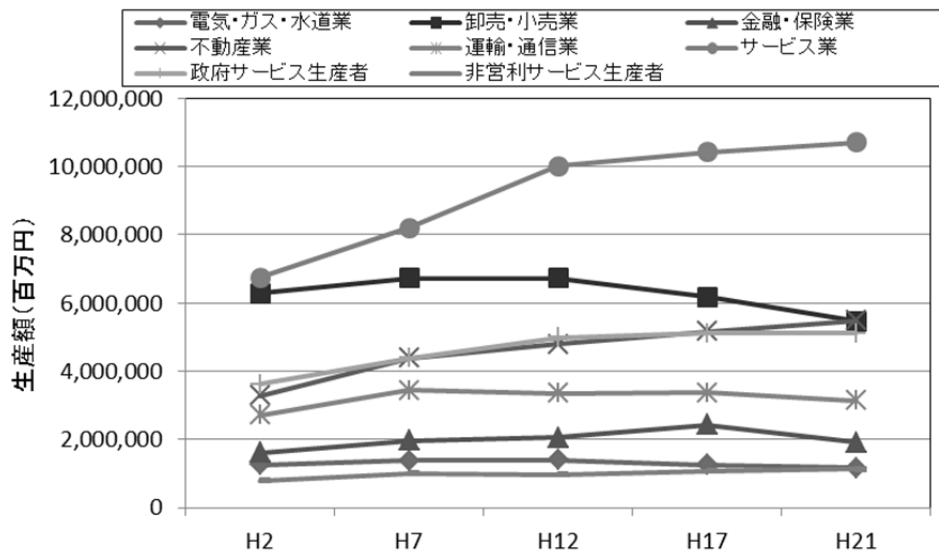


図 VIII-1-4 九州の第三次産業の生産額推移

表 VIII-1-6 九州の第二次産業の生産額推移

	生産額					構成比				
	1990年度	1995年度	2000年度	2005年度	2009年度	1990年度	1995年度	2000年度	2005年度	2009年度
鉱業	196,595	191,067	130,954	86,058	62,709	1.8	1.7	1.2	0.9	0.7
製造業	6,845,210	7,422,242	7,312,993	7,215,476	6,550,996	63.7	65.2	66.1	73	74.8
建設業	3,705,467	3,771,243	3,619,900	2,578,590	2,150,946	34.5	33.1	32.7	26.1	24.5
計	10,747,272	11,384,552	11,063,847	9,880,124	8,764,651	100	100	100	100	100

(内閣府「県民経済計算年報」)

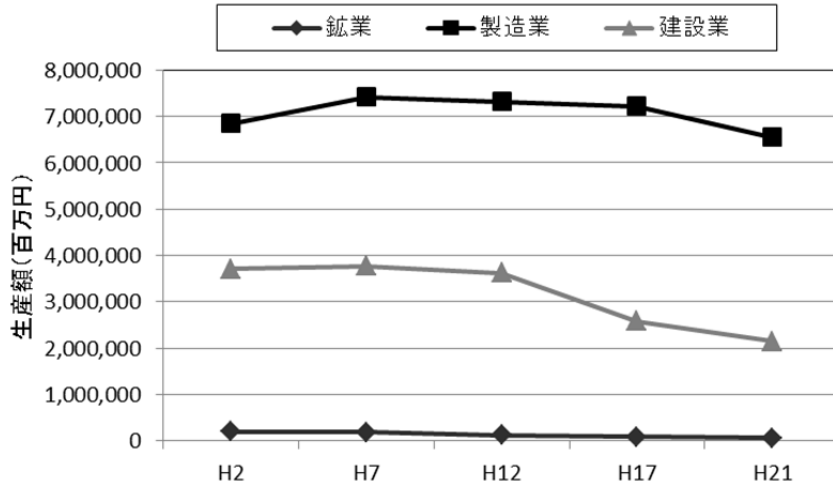


図 VIII-1-5 九州の第二次産業の生産額推移

表 VIII-1-7 九州の製造品出荷額の推移

	生産額							構成比	
	2000年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2010年	
基礎素材型	木材	296,453	207,271	201,237	207,862	199,375	169,457	172,363	0.8
	パルプ	343,887	324,616	324,669	361,831	382,163	360,673	361,536	1.7
	化学	1,179,818	1,340,040	1,463,751	1,593,579	1,622,162	1,261,220	1,418,022	6.6
	石油	286,038	521,478	589,280	694,125	719,459	105,319	613,337	2.9
	プラスチック	411,541	457,138	464,759	504,754	530,715	461,930	494,044	2.3
	ゴム	321,322	375,256	406,132	459,123	467,856	288,847	453,162	2.1
	窯業	1,016,357	801,954	810,581	896,048	861,161	730,372	785,145	3.7
	鉄鋼	976,139	1,389,856	1,541,290	1,750,692	2,073,928	1,429,477	1,637,818	7.7
	非鉄金属	368,854	364,121	281,229	412,490	387,070	267,760	588,315	2.8
	金属製品	944,395	872,968	936,730	938,181	923,400	792,179	766,655	3.6
計	6,144,804	6,654,698	7,019,658	7,818,685	8,167,289	5,867,234	7,290,397	34.2	
加工組立型	一般機械	1,785,021	1,626,802	1,696,592	1,915,790	2,009,001	1,637,523	1,670,794	7.8
	電気	4,044,800	3,524,808	3,742,770	4,243,765	3,872,176	3,037,599	3,134,091	14.7
	輸送	2,153,510	3,250,293	3,660,456	3,730,822	3,556,946	3,482,630	4,049,201	19
	精密	163,197	160,810	183,346	188,365	—	—	—	—
計	8,146,528	8,562,713	9,283,164	10,078,742	9,438,123	8,157,752	8,854,086	41.5	
生活関連型	食料品	3,993,827	3,929,154	3,953,414	4,195,359	4,373,771	4,303,601	4,193,472	19.6
	繊維	86,677	78,712	76,341	75,735	266,451	237,878	215,416	1
	衣服	288,099	172,852	168,405	162,753	—	—	—	—
	家具	240,854	173,283	165,700	170,188	159,224	141,388	127,200	0.6
	出版	675,823	—	—	—	—	—	—	—
	皮革	9,171	15,122	21,202	25,264	20,676	12,437	15,994	0.1
	その他	151,106	573,101	575,091	610,123	584,889	532,296	552,111	2.6
計	5,445,557	4,942,224	4,960,153	5,239,422	5,405,011	5,227,600	5,104,193	23.9	
合計	19,754,071	20,198,100	21,275,787	23,150,615	23,041,459	19,347,113	21,341,264	100	

(工業統計)

## 1-2 自然条件

### (1) 地象

#### ① 地勢

博多港は、糸島半島と海の中道に囲まれた鶴翼状の形状を有し、港口部には能古島や志賀島があり、平穏な港である。また、多々良川、御笠川、那珂川、室見川をはじめとする二級河川を中心に、多数の河川が流入している。福岡市及びその周辺の地形図は、以下に示すとおりである。

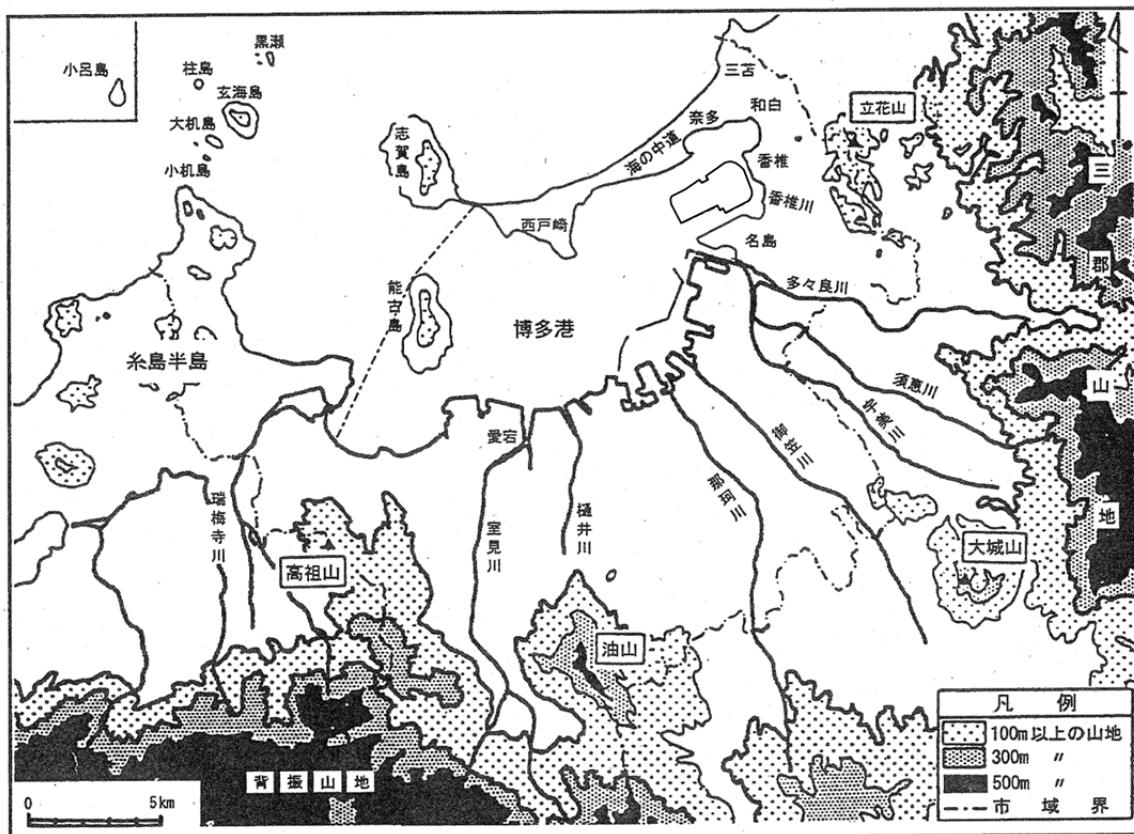


図 VIII-1-6 福岡市及びその周辺の地形

② 地質

福岡市の地質は、下位より古生代の三郡変成岩類、中生代これに貫入した花崗岩類、これらを不整合に覆う古代三紀層の堆積岩（砂岩、頁岩）が分布する。これらを基盤として、この上位には新生代第四紀の洪積～沖積世の未固結堆積層（礫質土、砂質土、粘性土）が分布している。福岡市の地質、博多港の主なボーリング位置図及びボーリング柱状図は以下に示すとおりである。

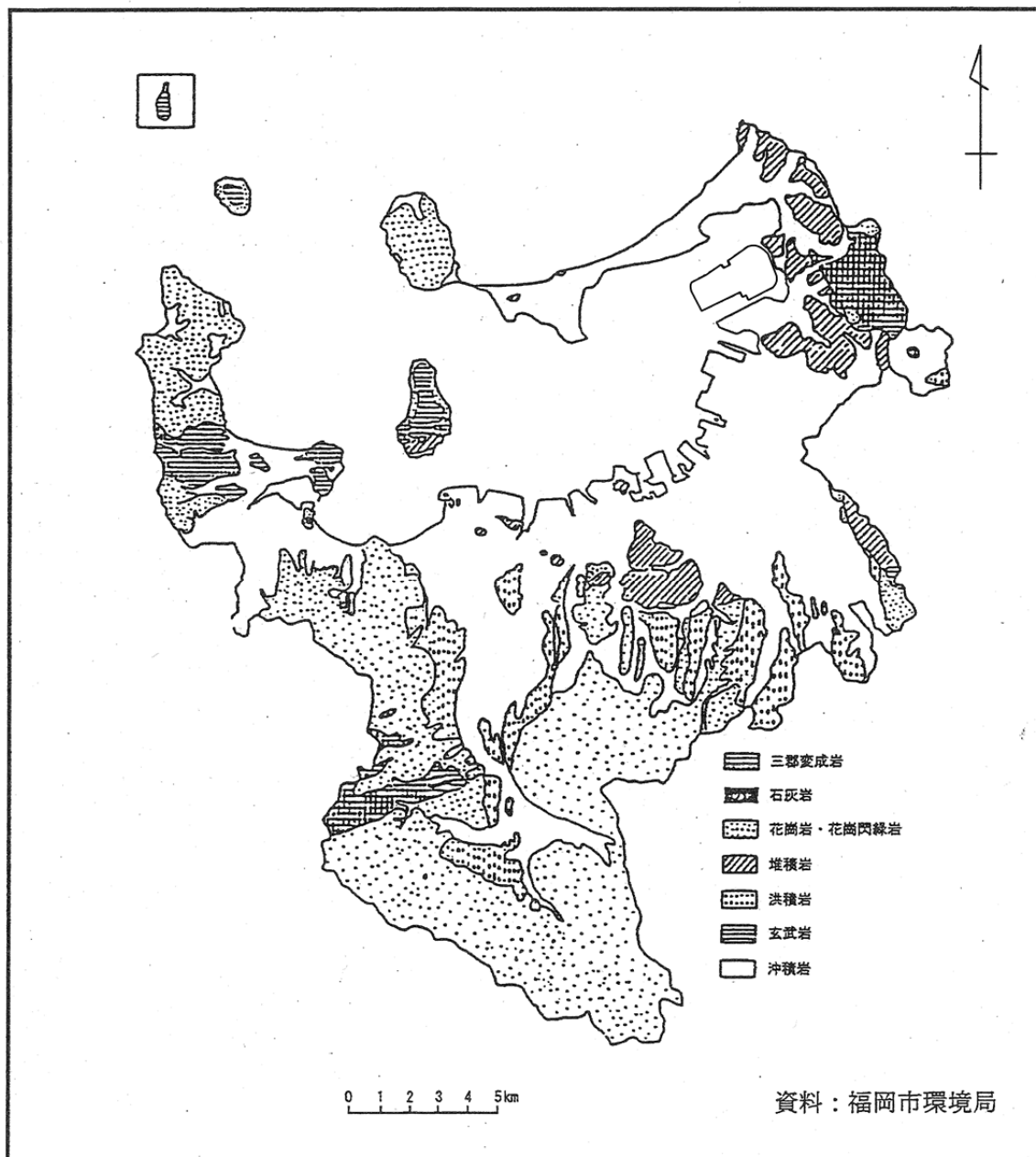


図 VIII-1-7 福岡市の地質

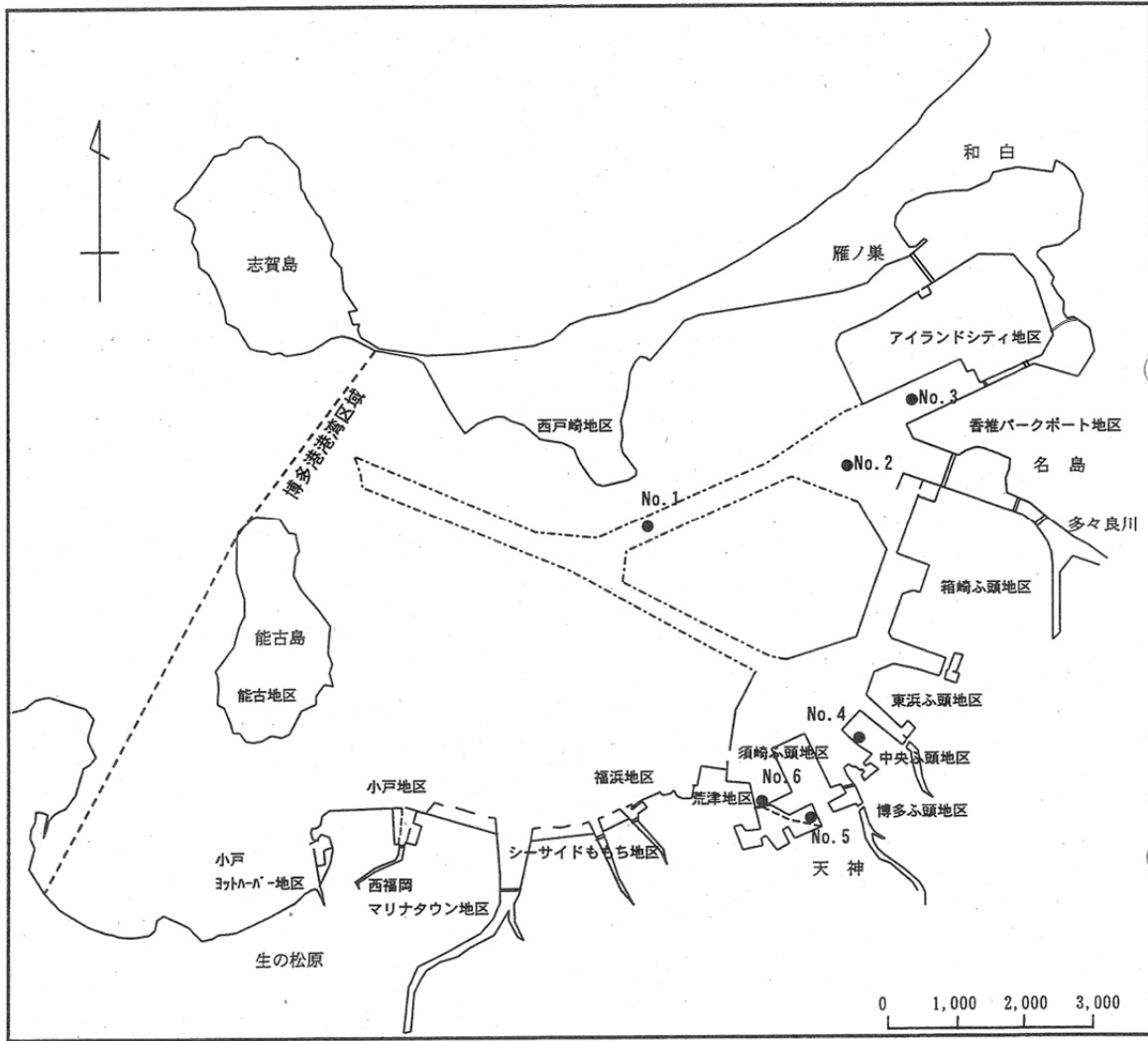


図 VIII-1-8 ボーリング位置図

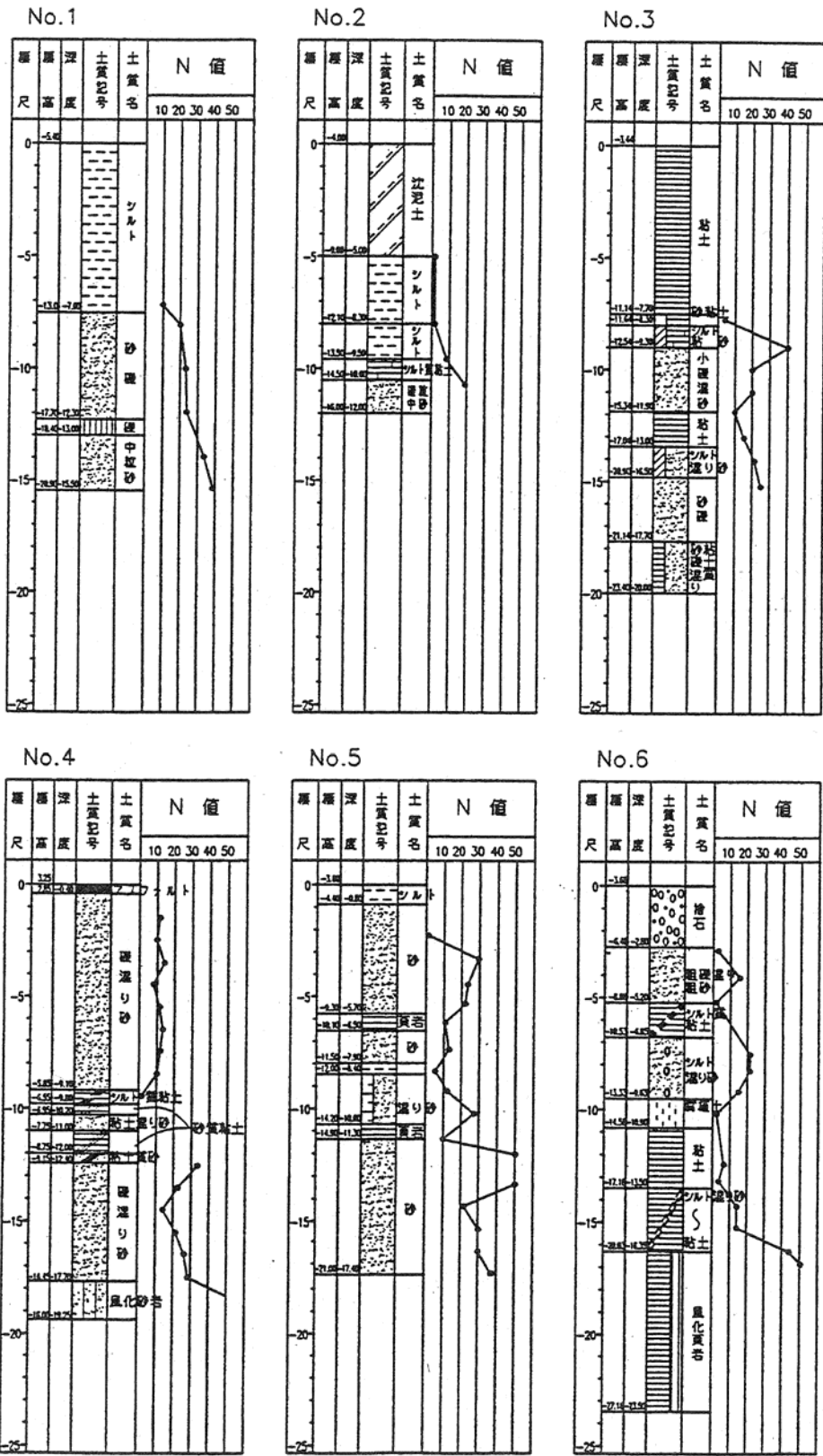


図 VIII-1-9 土質柱状図



③ 地震

福岡県における主な既往影響地震については、表 VIII-1-8 に示すとおりである。

表 VIII-1-8 福岡県における主な既往影響地震

年	月日	時分	震源	東経	北緯	深さ	M
679	12.一	夜	筑紫	130° 30′	33° 30′		6.5-7.5
1706	11.26	夜	筑紫				
1848	1.10		筑紫	130° 24′	33° 30′		
1872	3.14	17 時頃	浜田地震	132° 30′	35° 09′		7.1
1898	8.10	21:57	福岡市付近 (糸島半島)	130° 30′			
1929	8.8	22:33	福岡県	130° 19′	33° 37′		5.1
1930	2.5	22:28	福岡市西部	130° 09′	33° 30′	30	5
1941	11.19	1:46	日向灘	132° 05′	32° 01′		7.2
1966	11.12	21:01	有明海	130° 16′	33° 04′	20	5.5
1968	8.6	1:17	愛媛県西部	132° 23′	33° 18′	40	6.6
1991	10.28	10:09	周防灘沖	131° 10′	33° 55′	19	6
1996	10.19	23:44	日向灘	132° 00.6′	31° 47.7′	34	6.6
1997	6.25	18:50	山口県・ 島根県境	131° 40.1′	34° 47.7′	8	6.6
2005	3.20	10:53	福岡県 西方沖	130° 10.5′	33° 44.3′	9	7

出典：福岡県 地域防災計画

## (2) 気象

### ① 気候

福岡市は日本海型気候区に属し、年間を通じて温暖である。

なお、気象資料は福岡管区気象台のものを使用し、平成26年の気象概要は表 VIII-1-9 に示すとおりである。また、福岡管区気象台の位置は図 VIII-1-10 に示すとおりである。

表 VIII-1-9 気温、風速、降水量、日照時間

月別	平均気温 (°C)	気温(°C)		平均蒸気圧 (hPa)	平均湿度 (%)	平均雲量 (10分比)	日照時間 (h)	総降水量 (mm)	平均風速 (m/s)
		最高	最低						
平成26年	17.1	21.3	13.8	15.3	69.3	7.1	151.2	148.2	2.9
1月	7.5	11.7	3.9	6.5	62	6.0	146.3	57.5	2.7
2月	7.6	11.3	4.5	7.4	68	7.5	105.2	83.0	3.0
3月	11.5	16.1	7.6	9.3	66	6.5	175.1	102.5	3.4
4月	15.6	20.6	11.4	11.1	63	6.2	179.9	61.0	2.6
5月	20.5	25.8	16.0	14.2	59	6.1	280.7	94.0	2.9
6月	22.6	26.6	20.1	21.4	79	9.0	107.9	101.0	2.7
7月	27.1	30.9	24.2	27.9	79	8.2	148.0	373.0	2.6
8月	26.5	29.7	24.4	29.2	85	9.2	79.7	462.5	2.9
9月	24.2	28.2	21.2	22.4	75	7.0	159.5	107.0	2.7
10月	19.7	24.0	16.2	15.9	69	5.4	183.6	144.5	3.4
11月	14.7	18.9	11.2	11.7	69	6.2	138.0	106.0	2.4
12月	7.6	10.9	4.5	6.1	58	7.6	105.9	73.5	3.5

資料：福岡管区気象台 HP

### ② 風況

#### 1) 福岡管区気象台の風観測要領

博多湾周辺域での風観測は、図 VIII-1-10 に示す気象庁福岡管区気象台のほか湾内沿岸の香椎パークポートで実施されている。福岡管区気象台での観測は、1951年以降の観測記録が整理され測得状況も良好であるため、ここでは過去14年間の福岡管区気象台観測記録から風況を概観する。

表 VIII-1-10 は、福岡管区気象台での風観測要領を示している。

表 VIII-1-10 福岡管区気象台の風観測要領

項目		内容
位置	北緯	33° 34.9'
	東経	130° 22.5'
設置高	地盤高	海面上2.5m
	地上高	地表面上24.4m
観測データ		毎10分間平均値



图 VIII-1-10 福岡管区气象台位置图

## 2.2 風向風速出現頻度

博多湾周辺の風向・風速の出現状況は、福岡管区気象台における1999年から2012年までの14年間の地上気象観測記録を整理し概観する。季節別風向風速出現頻度を表 VIII-1-11、図 VIII-1-11 に示す。

年間を通しての風況は、北北西(NNW)～北(N)と南東(SE)～南南東(SSE)の出現が高く、比較的強い風速(5m/s以上)の出現は北北西(NNW)～北(N)が比較的多い。季節別の出現傾向も同様である。風速は3 m/s未満の出現率が約半数を占め、5 m/s未満が約80%を占める。

静穏は全年で約3%である。季節別には秋季(3.3%)がやや多く、夏季(2.5%)がやや少ない。

以下に全年、四季別の風向・風速の出現概要を示す。

### (7) 風向

全年：卓越する風向は北(15.4%)、南東(14.6%)、北北西(12.5%)で、次いで南南東(9.7%)が多い。

春季：卓越する風向は北(17.6%)、南東(14.0%)、北北西(12.7%)で、次いで南南東(9.3%)が多い。

夏季：卓越する風向は北(18.0%)、北北西(14.1%)、南東(14.2%)で、次いで南南東(10.9%)が多い。

秋季：卓越する風向は北(18.2%)、南東(13.4%)で、次いで北北西(10.1%)、南南東(9.5%)が多い。

冬季：卓越する風向は南東(16.7%)、北北西(13.1%)である。

### (イ) 風速

全年：出現頻度の最も高い風速階級は1.00～1.99m/sの25.6%で、次いで2.00～2.99m/s階級の23.7%、3.00～3.99m/s階級の17.1%の順に出現が多い。

春季：出現頻度の最も高い風速階級は1.00～1.99m/sの22.6%で、次いで2.00～2.99m/s階級の22.2%、3.00～3.99m/s階級の17.1%の順に出現が多い。

夏季：出現頻度の最も高い風速階級は2.00～2.99m/sの25.5%で、次いで1.00～1.99m/s階級の23.5%、3.00～3.99m/s階級の19.5%の順に出現が多い。

秋季：出現頻度の最も高い風速階級は1.00～1.99m/sの30.5%で、次いで2.00～2.99m/s階級の22.9%、3.00～3.99m/s階級の15.6%の順に出現が多い。

冬季：出現頻度の最も高い風速階級は1.00～1.99m/sの25.7%で、次いで2.00～2.99m/s階級の24.3%、3.00～3.99m/s階級の16.3%の順に出現が多い。

表 VIII-1-11 (1) 季節別風向風速出現頻度

(1) 全年

風速 (m/s) \ 風向	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	靜穩	合計	(%)	累計	(%)
0.00~0.99																	3,517	3,517	2.9	3,517	2.9
1.00~1.99	1,083	697	563	879	1,998	5,849	5,215	2,903	2,817	2,756	1,147	759	719	977	1,343	1,602		31,307	25.6	34,824	28.4
2.00~2.99	1,282	621	471	724	1,790	6,556	3,994	1,238	1,537	1,850	976	994	1,045	1,128	2,315	2,555		29,076	23.7	63,900	52.2
3.00~3.99	1,248	669	328	303	717	3,410	1,358	799	843	477	680	1,199	1,299	1,098	3,058	3,490		20,976	17.1	84,876	69.3
4.00~4.99	896	457	236	146	196	1,277	599	603	632	169	367	1,014	1,406	1,030	3,485	3,632		16,145	13.2	101,021	82.4
5.00~5.99	519	179	88	44	55	427	292	332	386	61	195	548	1,087	661	2,710	3,114		10,698	8.7	111,719	91.2
6.00~6.99	258	37	38	17	29	207	162	146	131	13	60	232	567	358	1,431	2,076		5,762	4.7	117,481	95.9
7.00~7.99	138	15	12	1	5	77	99	57	51	4	22	76	259	179	617	1,332		2,944	2.4	120,425	98.3
8.00~8.99	52	4	1	3	2	22	55	22	14	1	7	16	90	80	238	672		1,279	1.0	121,704	99.3
9.00~9.99	16	2	1	1	1	9	30	11	1	3	5	25	41	79	258			483	0.4	122,187	99.7
10.00~10.99	4	5	1		1	3	11	9	3	1		1	3	7	29	116		194	0.2	122,381	99.9
11.00~11.99	2	5			1	1	11	4					3	2	15	31		75	0.1	122,456	99.9
12.00~12.99	2						1	2						1	5	23		34		122,490	100.0
13.00~13.99	1					1	3	1	1					1	5	9		22		122,512	100.0
14.00~14.99	1														1	1		3		122,515	100.0
15.00~	2							1							2	7		12		122,527	100.0
合計	5,504	2,691	1,739	2,118	4,795	17,839	11,830	6,128	6,416	5,332	3,457	4,844	6,503	5,563	15,333	18,918	3,517	122,527	100		
(%)	4.5	2.2	1.4	1.7	3.9	14.6	9.7	5.0	5.2	4.4	2.8	4.0	5.3	4.5	12.5	15.4	2.9	100			

(2) 春季(3月, 4月, 5月)

風速 (m/s) \ 風向	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	靜穩	合計	(%)	累計	(%)
0.00~0.99																	947	947	3.1	947	3.1
1.00~1.99	275	158	137	197	386	1,189	1,153	616	562	555	285	187	201	307	336	424		6,968	22.6	7,915	25.6
2.00~2.99	276	118	117	169	450	1,484	950	265	257	417	250	242	314	300	610	642		6,861	22.2	14,776	47.9
3.00~3.99	256	119	58	87	238	927	338	175	189	116	219	301	295	256	771	921		5,266	17.1	20,042	64.9
4.00~4.99	205	90	33	30	90	390	166	186	135	55	165	338	358	259	922	1,071		4,493	14.6	24,535	79.5
5.00~5.99	130	29	7	7	19	166	99	105	85	30	124	219	309	160	725	903		3,117	10.1	27,652	89.5
6.00~6.99	71	10	4	2	14	98	72	53	35	6	44	104	141	75	344	657		1,730	5.6	29,382	95.2
7.00~7.99	32		2		2	48	49	17	16		19	33	48	38	142	436		882	2.9	30,264	98.0
8.00~8.99	18			1	1	11	25	9	2	1	5	13	16	15	51	238		406	1.3	30,670	99.3
9.00~9.99	3					7	10	5		3	2	5	3	17	80			135	0.4	30,805	99.8
10.00~10.99	2					1	2	3	2			1			6	36		53	0.2	30,858	99.9
11.00~11.99							1	1							2	9		13		30,871	100.0
12.00~12.99															3	3		6		30,877	100.0
13.00~13.99															2			2		30,879	100.0
14.00~14.99																				30,879	100.0
15.00~																				30,879	100.0
合計	1,268	524	358	493	1,200	4,321	2,865	1,435	1,283	1,180	1,114	1,440	1,687	1,413	3,931	5,420	947	30,879	100		
(%)	4.1	1.7	1.2	1.6	3.9	14.0	9.3	4.6	4.2	3.8	3.6	4.7	5.5	4.6	12.7	17.6	3.1	100			

(3) 夏季(6月, 7月, 8月)

風速 (m/s) \ 風向	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	靜穩	合計	(%)	累計	(%)
0.00~0.99																	758	758	2.5	758	2.5
1.00~1.99	366	178	155	236	483	1,029	1,022	536	480	613	275	214	236	360	503	563		7,249	23.5	8,007	25.9
2.00~2.99	291	70	85	183	471	1,604	1,214	417	345	320	191	200	260	411	886	946		7,894	25.5	15,901	51.5
3.00~3.99	191	64	87	87	218	1,020	553	435	418	129	94	140	178	256	959	1,192		6,021	19.5	21,922	70.9
4.00~4.99	97	75	92	70	65	490	293	341	395	51	42	66	116	153	1,066	1,157		4,569	14.8	26,491	85.7
5.00~5.99	37	64	63	27	25	156	137	186	250	20	13	18	30	72	641	830		2,569	8.3	29,060	94.1
6.00~6.99	23	10	32	13	10	68	67	73	79	2	1	2	9	15	204	456		1,064	3.4	30,124	97.5
7.00~7.99	9	6	10	1	2	13	40	29	29	2	1			1	56	250		449	1.5	30,573	98.9
8.00~8.99	3	1	1	1		4	14	9	11					1	26	114		185	0.6	30,758	99.5
9.00~9.99	4	2				1	15	2	1					1	7	42		75	0.2	30,833	99.8
10.00~10.99		3				1	6	3	1						4	13		31	0.1	30,864	99.9
11.00~11.99		2				1	4	2							1	5		15		30,879	99.9
12.00~12.99	1							2							2	3		8		30,887	100.0
13.00~13.99								1	1						1	3		6		30,893	100.0
14.00~14.99																				30,893	100.0
15.00~	1														2	2		5		30,898	100.0
合計	1,023	475	525	618	1,274	4,387	3,366	2,036	2,009	1,137	617	640	829	1,270	4,358	5,576	758	30,898	100		
(%)	3.3	1.5	1.7	2.0	4.1	14.2	10.9	6.6	6.5	3.7	2.0	2.1	2.7	4.1	14.1	18.0	2.5	100			

表 VIII-1-11 (2) 季節別風向風速出現頻度

(4) 秋季(9月, 10月, 11月)

風向 風速(m/s)	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	静穩	合計	(%)	累計	(%)
0.00~0.99																	995	995	3.3	995	3.3
1.00~1.99	269	215	144	229	562	1,732	1,613	999	1,016	1,023	351	173	167	166	279	385		9,323	30.5	10,318	33.8
2.00~2.99	461	288	166	216	416	1,448	888	283	402	565	221	164	177	203	454	641		6,993	22.9	17,311	56.6
3.00~3.99	546	305	117	83	122	632	249	99	114	102	128	217	238	194	732	893		4,771	15.6	22,082	72.2
4.00~4.99	427	163	71	19	23	201	78	48	64	28	55	174	240	173	721	979		3,464	11.3	25,546	83.6
5.00~5.99	248	53	12	5	5	57	34	23	37	6	30	82	161	89	517	995		2,354	7.7	27,900	91.3
6.00~6.99	122	15	2	1	1	22	13	16	12	2	6	15	61	32	259	701		1,280	4.2	29,180	95.5
7.00~7.99	83	7			1	6	3	6	4		1	5	23	13	84	528		764	2.5	29,944	98.0
8.00~8.99	28	3		1	1	2	7	3	1			2	4	5	28	247		332	1.1	30,276	99.1
9.00~9.99	8		1	1	1	1	3	3				1	2	1	8	112		142	0.5	30,418	99.5
10.00~10.99	2	2	1		1		2	3		1					7	52		71	0.2	30,489	99.7
11.00~11.99	2	3			1		5	1					2		7	15		36	0.1	30,525	99.9
12.00~12.99	1						1									15		17	0.1	30,542	99.9
13.00~13.99	1					1	2		1					1	2	6		14		30,556	100.0
14.00~14.99	1														1	1		3		30,559	100.0
15.00~	1							1								5		7		30,566	100.0
合計	2,200	1,054	514	555	1,134	4,102	2,898	1,485	1,651	1,727	792	833	1,075	877	3,099	5,575	995	30,566	100		
(%)	7.2	3.4	1.7	1.8	3.7	13.4	9.5	4.9	5.4	5.7	2.6	2.7	3.5	2.9	10.1	18.2	3.3	100			

(5) 冬季(12月, 1月, 2月)

風向 風速(m/s)	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	静穩	合計	(%)	累計	(%)
0.00~0.99																	817	817	2.7	817	2.7
1.00~1.99	173	146	127	217	567	1,899	1,427	752	759	565	236	185	115	144	225	230		7,767	25.7	8,584	28.4
2.00~2.99	254	145	103	156	453	2,020	942	273	533	548	314	388	294	214	365	326		7,328	24.3	15,912	52.7
3.00~3.99	255	181	66	46	139	831	218	90	122	130	239	541	588	392	596	484		4,918	16.3	20,830	69.0
4.00~4.99	167	129	40	27	18	196	62	28	38	35	105	436	692	445	776	425		3,619	12.0	24,449	81.0
5.00~5.99	104	33	6	5	6	48	22	18	14	5	28	229	587	340	827	386		2,658	8.8	27,107	89.8
6.00~6.99	42	2		1	4	19	10	4	5	3	9	111	366	236	624	262		1,688	5.6	28,795	95.4
7.00~7.99	14	2				10	7	5	2	2	1	38	188	127	335	118		849	2.8	29,644	98.2
8.00~8.99	3					5	9	1			2	1	70	59	133	73		356	1.2	30,000	99.4
9.00~9.99	1						2	1				2	18	36	47	24		131	0.4	30,131	99.8
10.00~10.99						1	1						3	7	12	15		39	0.1	30,170	100.0
11.00~11.99							1						1	2	5	2		11		30,181	100.0
12.00~12.99														1		2		3		30,184	100.0
13.00~13.99																				30,184	100.0
14.00~14.99																				30,184	100.0
15.00~																				30,184	100.0
合計	1,013	638	342	452	1,187	5,029	2,701	1,172	1,473	1,288	934	1,931	2,912	2,003	3,945	2,347	817	30,184	100		
(%)	3.4	2.1	1.1	1.5	3.9	16.7	8.9	3.9	4.9	4.3	3.1	6.4	9.6	6.6	13.1	7.8	2.7	100			

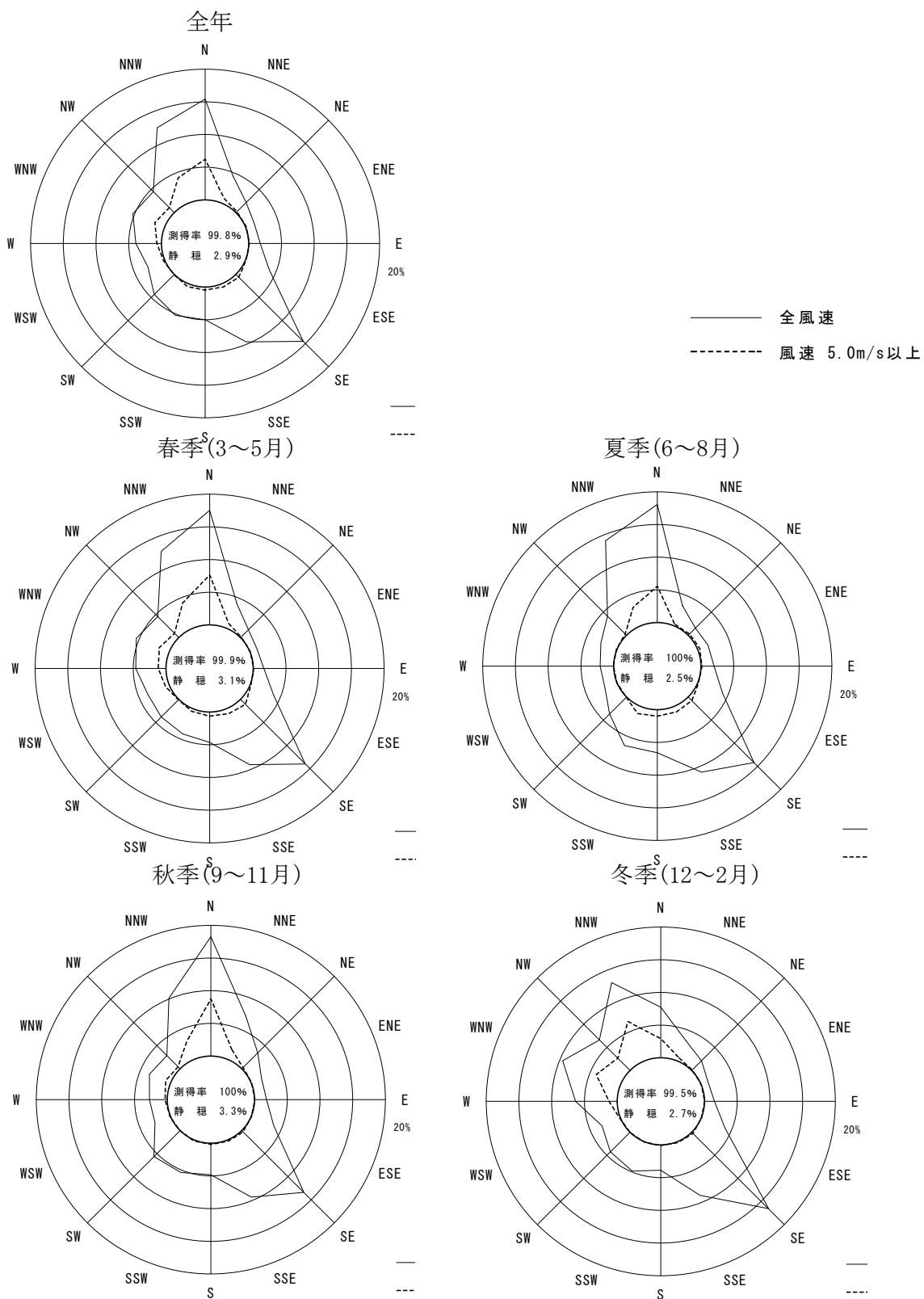


图 VIII-1-11 季節別風配图

### (3) 海象

#### ① 波浪

##### 1) 常時波浪

博多湾海上を吹送する風によって発生する波浪は、福岡管区気象台で観測された風向風速を海上風速に換算し、S. M. B. 法により推算する。波浪推算位置図および推算結果は以下に示すとおりである。

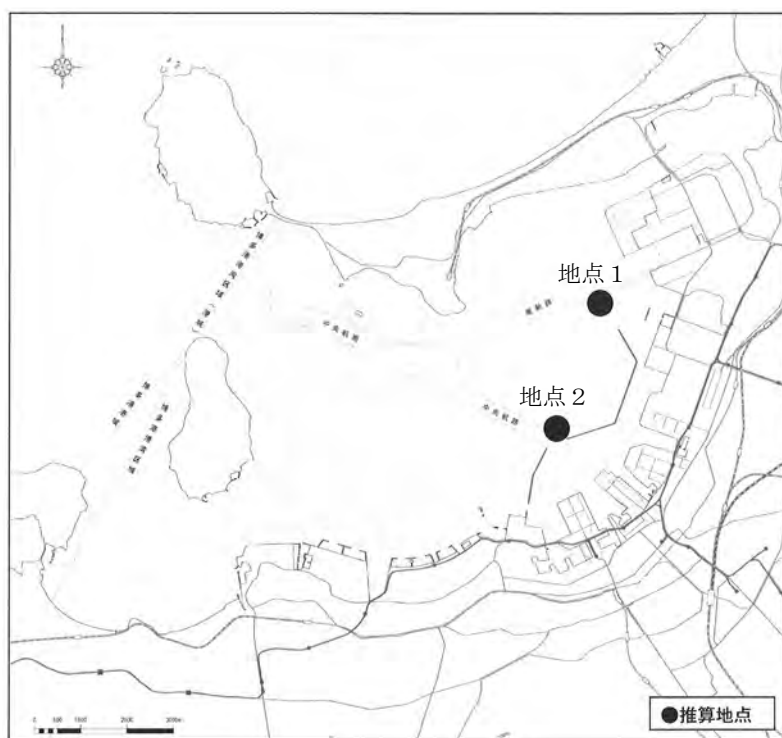


図 VIII-1-12 波浪推算位置図

出典：平成26年度 博多湾静穏度調査解析業務委託報告書



表 VIII-1-12(1) 波高波向出現頻度(地点1)

(5) 全年 静穏: 475回

波高(m) \ 波向	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	合計	(%)
~0.3	5,565	2,739	1,777	2,179	4,927	18,240	12,192	6,206	6,199	5,492	2,968	3,165	4,571	5,005	14,565	16,722	112,512	91.7
0.31~0.50	76	12	3	4	5	35	107	236	568	185	501	1,635	1,654	617	934	2,409	8,981	7.3
0.51~0.75	4					1	4	16	18	5	87	92	377	51	55	38	748	0.6
0.76~1.00									1	1	3	6	3	1	2	2	19	0.0
1.01~1.25								1									1	0.0
1.26~1.50																		
1.51~1.75																		
1.76~2.00																		
2.01~2.50																		
2.51~3.00																		
3.01~3.50																		
3.51~4.00																		
4.01~																		
合計	5,645	2,751	1,780	2,183	4,932	18,276	12,303	6,459	6,786	5,683	3,559	4,898	6,605	5,674	15,556	19,171	122,261	99.6
(%)	4.6	2.2	1.5	1.8	4.0	14.9	10.0	5.3	5.5	4.6	2.9	4.0	5.4	4.6	12.7	15.6	99.6	

表 VIII-1-12(2) 波高波向出現頻度(地点2)

(5) 全年 静穏: 364回

波高(m) \ 波向	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	合計	(%)
~0.3	4,676	2,695	1,767	2,184	4,931	18,186	12,119	6,397	6,739	5,656	3,270	3,163	3,351	3,451	10,454	11,555	100,594	82.0
0.31~0.50	915	56	15	5	9	112	206	46	18	18	255	1,421	2,329	1,577	4,141	6,522	17,645	14.4
0.51~0.75	74	12			1	1	4	3	1	1	32	308	896	596	934	1,046	3,909	3.2
0.76~1.00	4							1				6	28	50	44	63	196	0.2
1.01~1.25	2												3	2	11	6	24	0.0
1.26~1.50															1	1	2	0.0
1.51~1.75															1	1	2	0.0
1.76~2.00																		
2.01~2.50																		
2.51~3.00																		
3.01~3.50																		
3.51~4.00																		
4.01~																		
合計	5,671	2,763	1,782	2,189	4,941	18,299	12,329	6,447	6,758	5,675	3,557	4,898	6,607	5,676	15,586	19,194	122,372	99.7
(%)	4.6	2.3	1.5	1.8	4.0	14.9	10.0	5.3	5.5	4.6	2.9	4.0	5.4	4.6	12.7	15.6	99.7	

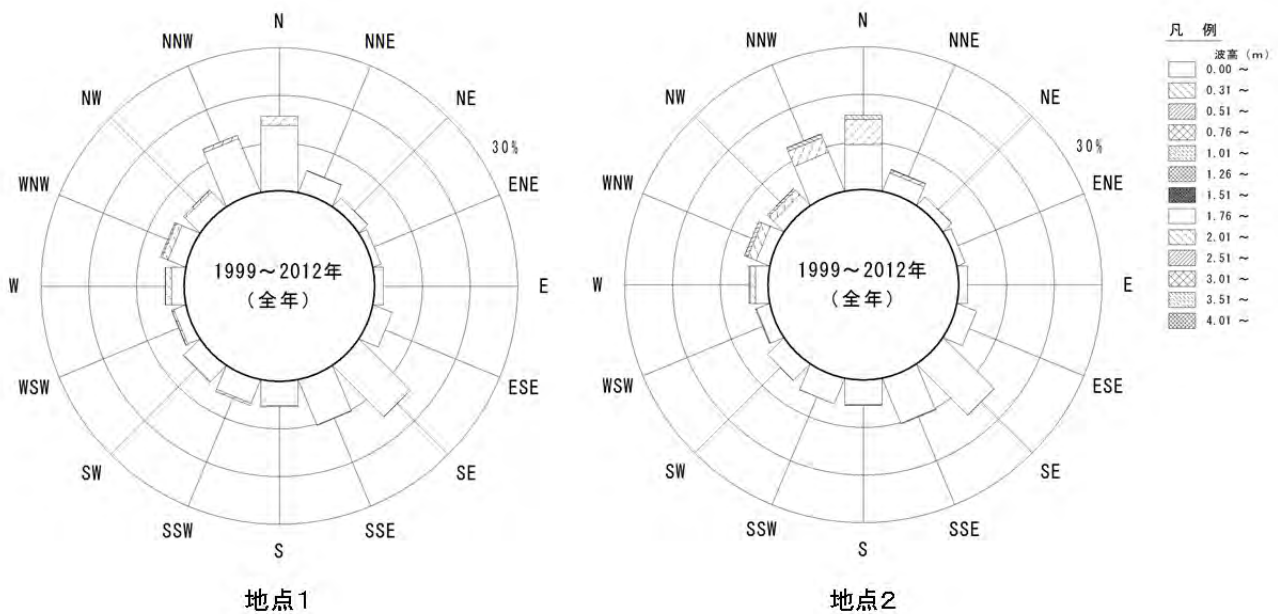


图 VIII-1-13 波高波向出現頻度

## 2) 異常時波浪の推算

「地点1」と「地点2」の異常時波浪は、30年確率風速(表-3.4)を海上風速に置き換えての波浪推算を行い、その結果を表 VIII-1-13に取り纏めた。異常時の波浪推算は、S.M.B.法推算式を適用して算出した。

「地点1」での最大有義波高は、波向WSW、Wの $H=1.5\text{m}$ 、 $T=3.7\text{sec}$ である。他の波向は、凡そ波高1.0m前後、周期3sec前後である。

「地点2」での最大有義波高は、波向NNW、Nの $H=1.8\sim 1.9\text{m}$ 、 $T=3.8\sim 3.9\text{sec}$ である。また、波向W~NWの3波向からの波高は1.5m前後で、相対的に高波浪を生起する波向になる。

表 VIII-1-13(1) 異常時の波浪推算(「地点1」)

風向	30年確率風速(m/s)	海上風速変換係数	海上風速(m/s)	吹送距離(km)	波高 $H_o$ (m)	周期 $T$ (s)
SSW	11.6	1.60	18.6	4.07	0.85	2.8
SW	12.6	1.60	20.2	5.97	1.12	3.3
WSW	15.9	1.60	25.4	6.56	1.49	3.7
W	16.7	1.60	26.7	5.90	1.49	3.7
WNW	15.3	1.60	24.5	4.38	1.18	3.2
NW	15.5	1.60	24.8	2.78	0.96	2.8
NNW	20.9	1.60	33.4	1.95	1.10	2.9
N	24.7	1.60	39.5	1.46	1.14	2.8
NNE	16.2	1.60	25.9	1.17	0.66	2.2

表 VIII-1-13(2) 異常時の波浪推算(「地点2」)

風向	30年確率風速(m/s)	海上風速変換係数	海上風速(m/s)	吹送距離(km)	波高 $H_o$ (m)	周期 $T$ (s)
SSW	11.6	1.60	18.6	1.24	0.48	2.0
SW	12.6	1.60	20.2	2.50	0.74	2.5
WSW	15.9	1.60	25.4	4.38	1.23	3.3
W	16.7	1.60	26.7	6.54	1.57	3.8
WNW	15.3	1.60	24.5	7.29	1.50	3.8
NW	15.5	1.60	24.8	6.45	1.44	3.7
NNW	20.9	1.60	33.4	5.49	1.82	3.9
N	24.7	1.60	39.5	4.01	1.86	3.8
NNE	16.2	1.60	25.9	3.31	1.10	3.0

## ② 潮位

潮位図及び検潮所位置は、以下に示すとおりである。

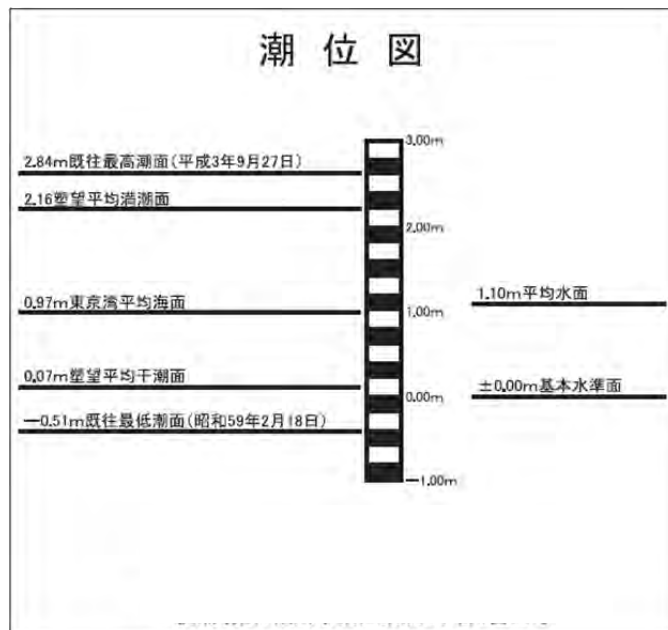


図 VIII-1-14 潮位図



図 VIII-1-15 検潮所位置図

### ③ 潮流

#### 1) 調査概要

博多港の潮流観測の概要を以下に示す。

表 VIII-1-14 潮流調査概要

調査時期	平成 19 年 7 月 18 日～8 月 2 日
調査地点	図 VIII-1-16 に示す 11 地点
観測層	地点 1～2、5～6 : 1 層 (上層) 地点 3～4、9～11 : 3 層 (上層、中層、下層) 地点 7～8 : 2 層 (上層、中層)
調査方法	メモリー式電磁流速計 (地点 1～2、5～11) と超音波ドップラー流速計 (地点 3～4) による 15 昼夜連続観測。

備考) 各地点の観測層の深さは、以下のとおりである。

上層: 地点 1～2、5 は海面下 1.5m、地点 3～4 は海面下 0.5m、地点 6～11 は海面下 2.0m

中層: 1/2 中間層

下層: 地点 3～4 は海底上 0.5m、地点 9～11 は海底上 1.5m

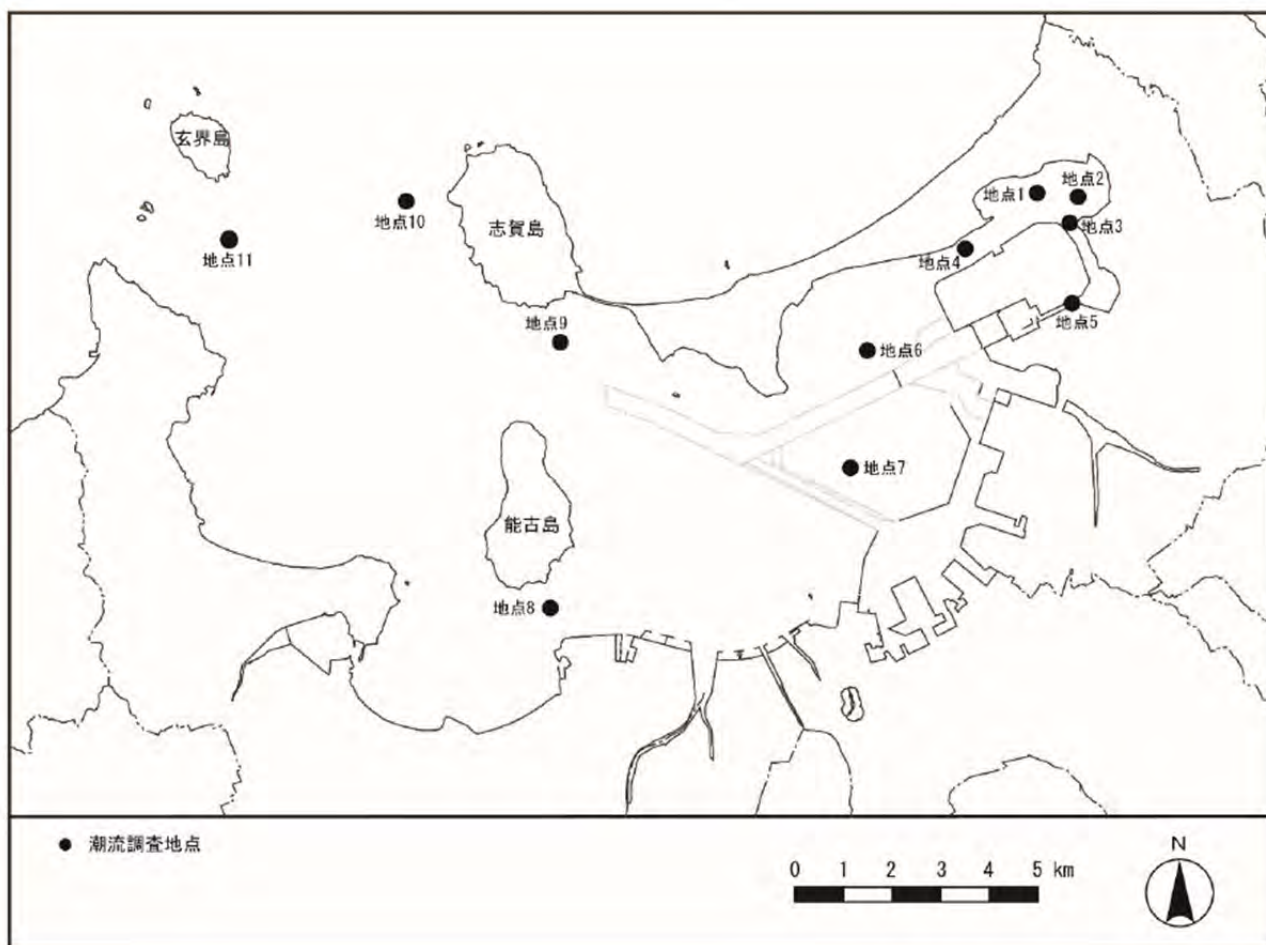


図 VIII-1-16 博多港の潮流調査地点

出典: 「平成 19 年度 博多湾潮流調査委託」(福岡市港湾局、平成 19 年 10 月)

## 2) 調査結果

博多湾における恒流及び平均大潮期の流況を図 VIII-1-17～図 VIII-1-19 に示す。

上層の恒流の流速は、湾奥部で1cm/s 程度であるのに対し、湾口部では10cm/s を超え、湾口部に向かうに従い大きくなっていった。

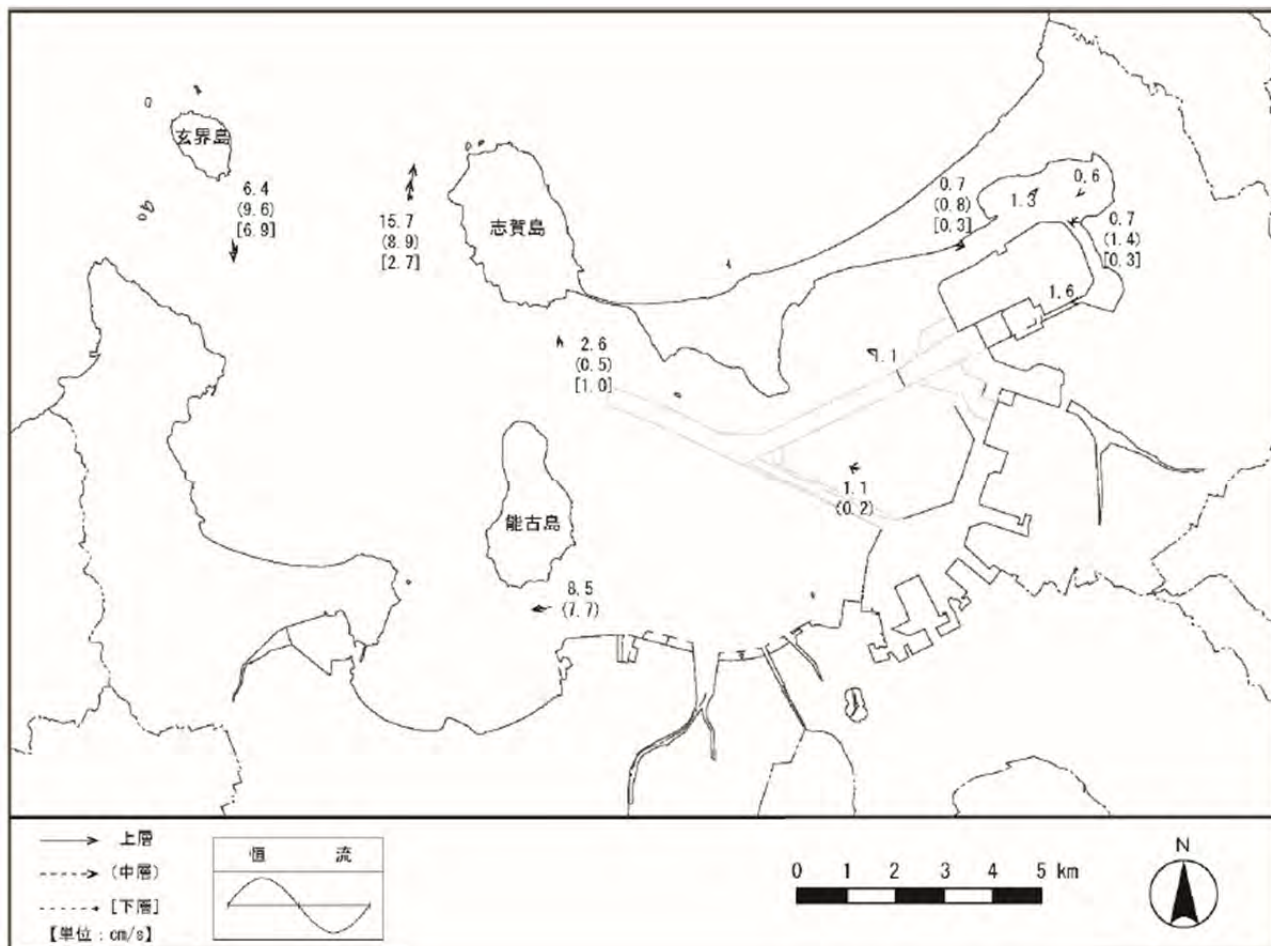


図 VIII-1-17 恒流図

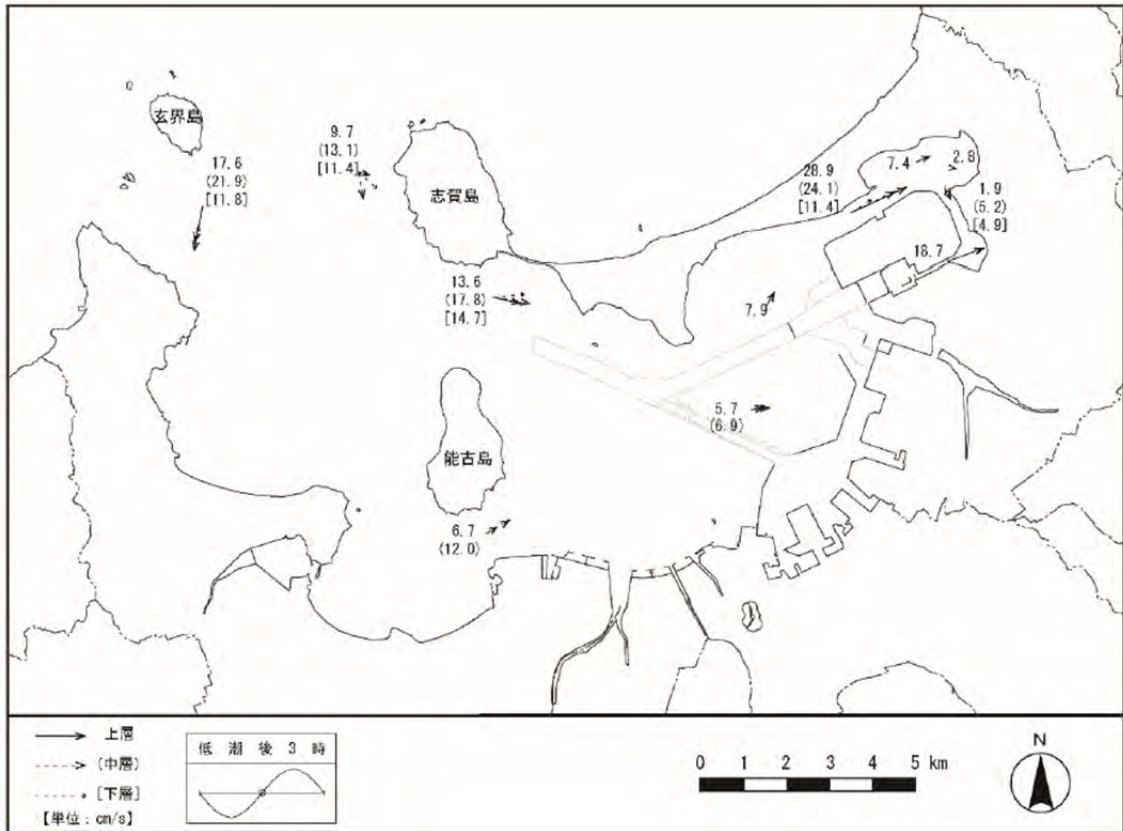


图 VIII-1-18 平均大潮期流況图(低潮後 3 時)

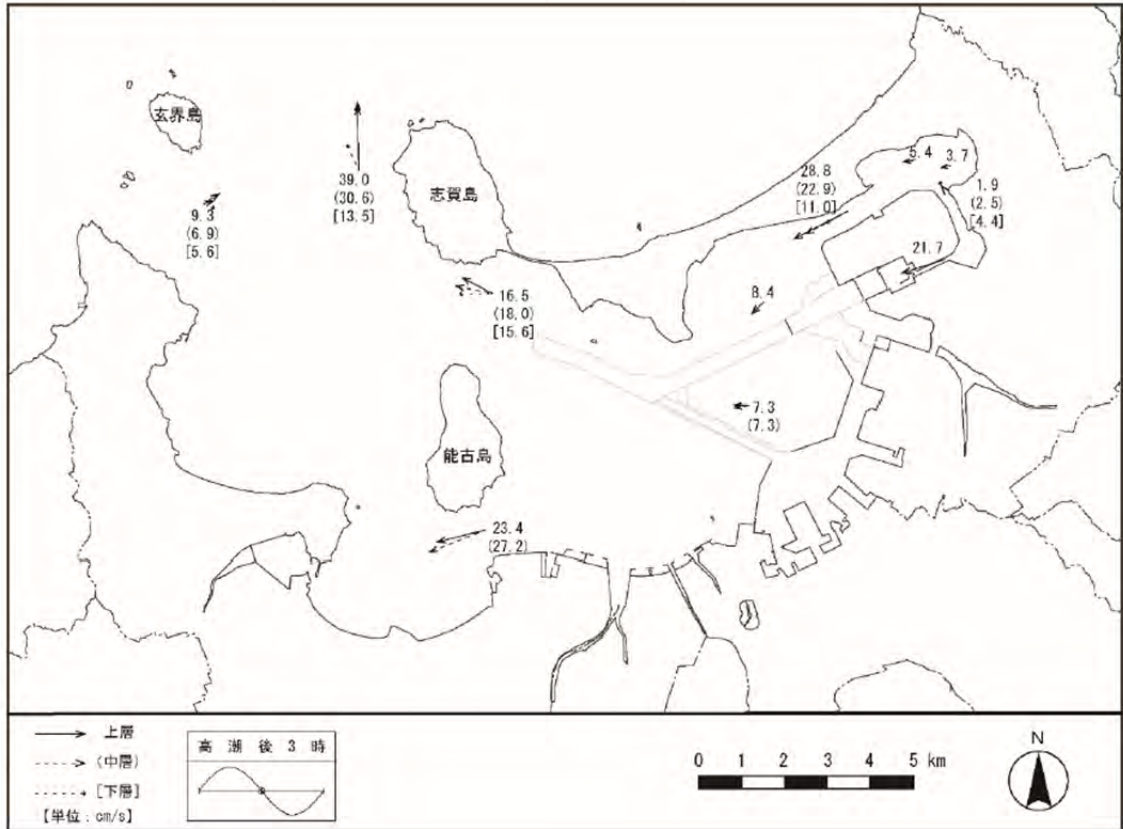


图 VIII-1-19 平均大潮期流況图(高潮後 3 時)

## 2. 港湾の沿革

博多港の沿革について、近代以前と近代以降に分けて、以下に示す。

表 VIII-2-1 (1) 博多港の沿革

◇近代以前

年		【博多港の役割】
敏達元年 (57)	奴国王、後漢の光武帝より金印を受ける。	7C~9C
(572)	那の津「藩船の要津」として貿易港に指定される。	
貞観7年 (865)	鴻臚館の名が初めて正史に見える。	遣隋使、遣唐使派遣の拠点 (福岡側中心、官貿易が中心)
応保元年 (1161)	平清盛が対宋貿易のため那珂川の東に「袖の港」を築いた。	
文永11年 (1274)	文永の役	日宋貿易の拠点 (博多側中心、荘園・寺社による貿易が中心)
弘安4年 (1281)	弘安の役	
天正15年 (1587)	豊臣秀吉、九州遠征の帰途箱崎に陣し、博多を復興する。	15C~16C 日明、日朝貿易の拠点 (博多側中心、商人・戦国大名による貿易が中心)

◇近代以降

年	【博多港の動き】	【市政の動き】
明治16年 (1883)	特別貿易港に指定	
明治22年 (1889)	特別輸出港に指定	
明治32年 (1899)	関税法による開港指定	
明治38年 (1905)	博多釜山定期航路開設	
明治41年 (1908)	博多船溜完成	
明治43年 (1910)	福岡船溜完成	
大正5年 (1916)	博多湾築港株式会社の設立	
大正12年 (1923)	博多港浚渫工事完了	
昭和2年 (1927)	第2種重要港湾に指定	
昭和4年 (1929)	中央ふ頭整備 (～平成7年)	
昭和11年 (1936)	博多築港記念大博覧会開催	
昭和12年 (1937)	東浜ふ頭整備 (～平成6年)	
昭和13年 (1938)	須崎ふ頭整備 (～昭和53年)	
昭和14年 (1939)	荒津地区整備 (～昭和45年)	
	第1種重要港湾に指定	
昭和17年 (1942)	博多臨港鉄道開通	
昭和20年 (1945)	海外引き揚げ援護港に指定	
昭和23年 (1948)	博多検疫所設置 港湾区域指定	
昭和24年 (1949)	開港安全宣言 (機雷掃海の完了)	
昭和25年 (1950)	港湾法公布	
昭和26年 (1951)	重要港湾に指定	
昭和27年 (1952)	福岡市が港湾管理者となる	
昭和31年 (1956)	博多ふ頭整備 (～昭和49年)	
昭和33年 (1958)	東南アジア航路開設	
昭和34年 (1959)	インド・パキスタン航路開設	
昭和35年 (1960)	博釜定期航路再開 博多港港湾計画策定 (昭和42年目標)	

表 VIII-2-1 (2) 博多港の沿革

年	【博多港の動き】	【市政の動き】
昭和 36 年 (1961)	旅順・大連航路開設 博多港開発株式会社設立	市総合計画 (マスタープラン) 刊行
昭和 37 年 (1962)		アメリカ・オークランド市と姉妹都市締結
昭和 38 年 (1963)		福岡市民会館開館
昭和 39 年 (1964)	博多ポートタワー開設	
昭和 43 年 (1968)	動物検疫港に指定	
昭和 44 年 (1969)	箱崎ふ頭整備 (～昭和 59 年)	
昭和 47 年 (1972)	博多港港湾計画改訂 (昭和 60 年目標)	政令指定都市へ 5 区誕生
昭和 50 年 (1975)	市立小戸ヨットハーバーオープン	山陽新幹線開通 人口 100 万人突破
昭和 51 年 (1976)	タイ航路、地中海航路、インドネシア航路開設 財団法人福岡市ヨットハーバー公社設立	
昭和 52 年 (1977)	北米航路コンテナ輸入港指定	
昭和 53 年 (1978)	博多港港湾計画改訂 (平成 2 年目標)	
昭和 54 年 (1979)	オークランド港 (ニュージーランド) と姉妹港締結 中近東ガルフ航路コンテナ輸出港指定	中国広州市と友好都市締結 福岡市美術館開館 福岡都市高速開通
昭和 55 年 (1980)		市営地下鉄開業 (室見～天神)
昭和 56 年 (1981)	福岡サンパレス、福岡国際センター開館	行政区編成による 7 区制に移行
昭和 57 年 (1982)	箱崎コンテナターミナル供用開始 シーサイドももち、西福岡マリナタウン埋立着工	フランス・ボルドー市と姉妹都市締結
昭和 59 年 (1984)	北米航路コンテナ輸出港指定	
昭和 61 年 (1986)	欧州航路コンテナ輸出港指定 ニュージーランド定期航路開設 シーサイドももち竣工	ニュージーランド・オークランド市と姉妹都市締結
昭和 62 年 (1987)	豪州 (東南) 航路コンテナ輸出港指定	福岡市新基本構想制定
昭和 63 年 (1988)	香椎パークポート整備 (～平成 10 年) オークランド港 (アメリカ) と貿易協力港締結 西福岡マリナタウン竣工 世界一周航路開設	第 6 次福岡市基本計画策定 人口 120 万人突破
平成元年 (1989)	福岡タワーオープン マリゾンオープン 博多港港湾計画改訂 (平成 12 年目標)	市政施行 100 周年 アジア太平洋博覧会「よかトピア」開催 マレーシア・イポー市と姉妹都市締結 釜山広域都市と行政交流都市締結
平成 2 年 (1990)	欧州航路コンテナ輸入港指定 特定重要港湾指定 博多・釜山間に国際フェリー就航	アジアマンス初開催 とびうめ国体開催 福岡市博物館開館
平成 3 年 (1991)	博多・釜山間に高速旅客船就航 ベイサイドプレイス博多ふ頭開業	
平成 4 年 (1992)	香椎パークポート第 1 工区竣工	ローマ・クラブ福岡会議開催
平成 5 年 (1993)	博多港国際ターミナル開業 マリノア開業 博多港ふ頭株式会社設立	福岡ドーム (現福岡ヤフオク! ドーム) 開業 アメリカ・アトランタ市とパートナーシップ都市締結
平成 6 年 (1994)	香椎パークポート一部供用開始 アイランドシティ整備 (～整備中)	アジア太平洋都市サミット開催
平成 7 年 (1995)	中枢国際港湾に指定 エコポートモデル港指定 マリンメッセ福岡開業	ユニバーシアード福岡大会開催
平成 8 年 (1996)	新潟 (直江津) フェリー航路開設	第 7 次福岡市基本計画策定 福岡市総合図書館開館 キャナルシティ博多開業



表 VIII-2-1 (3) 博多港の沿革

年	【博多港の動き】	【市政の動き】
平成 9 年 (1997)	エコポートモデル事業 運輸省より認定 香椎パークポート外貿 2 バース目供用開始	市営地下鉄 3 号線着工 アジア開発銀行総会開催
平成 11 年 (1999)	開港 100 周年 ゼーブルージュ港 (ベルギー) と貿易協力港締結	
平成 12 年 (2000)	アイランドシティ一部竣功 全国初の博多港物流 IT システム (HiTS) 開発・導入	
平成 13 年 (2001)	博多港港湾計画改訂 (平成 20 年代前半目標)	世界水泳選手権大会福岡 2001 開催
平成 14 年 (2002)	アイランドシティ内道路一部開通	
平成 15 年 (2003)	福岡国際会議場開業 水深 14m (幅 400m) 航路開設 アイランドシティ水深 14m コンテナターミナル供用開始 上海港 (中国) と相互交流港締結 大連港 (中国) と相互交流港締結 博多・上海間に国際 RORO 船就航 香椎パークポートに国際貨物検査センター開所	
平成 16 年 (2004)	上海港 (中国) と友好港締結	市営地下鉄 3 号線開業 (橋本～天神南)
平成 17 年 (2005)	アイランドシティ照葉まちびらき 天津港 (中国) と相互交流港締結 第 22 回全国都市緑化ふくおかフェア開催 広州港 (中国) と友好港締結	九州大学伊都キャンパスへの移転開始 アメリカ・アトランタ市と姉妹都市締結
平成 19 年 (2007)		釜山広域都市と姉妹都市締結
平成 20 年 (2008)	アイランドシティ水深 15m コンテナターミナル供用開始	
平成 22 年 (2010)	博多港エココンテナターミナル稼働	
平成 23 年 (2011)	日本海側拠点港に選定 国際拠点港湾に指定	九州新幹線鹿児島ルート全線開通
平成 25 年 (2013)	国際港湾協会 (IAPH) 総会で「港湾環境賞金賞」受賞	人口 150 万人突破
平成 26 年 (2014)	港湾運営会社の運営開始 博多ポートタワー開設 50 周年	
平成 27 年 (2015)	中央ふ頭クルーズセンター供用開始	

### 3. 港湾の施設の現況

博多港における港湾施設の現況は、次に示す通りである。

表 VIII-3-1 (1) 港湾の施設の現況

項目	単位	アイランドシティ	香椎パークポート	箱崎ふ頭	東浜ふ頭	中央ふ頭	博多ふ頭	須崎ふ頭	その他	合計
岸壁	バース	7	9	15	13	11	2	18		75
	外資バース	4	4	7	0	5	0	5		25
給水施設	箇所	11	37	36	11	28		8		131
	メーター数	個	3	3	4	2	4		1	17
浮棧橋	基					1	1		3	5
	水深	m				-10.0	-4.0			
可動橋	基						2			2
	水深	m					-5.5-7.5			
けい船くい (ドルフィン)	基			1						1
	水深	m		-10.0						
博多ボートラジオ	式						1			1
上 屋	一般上屋	棟				6	2	14		22
	面積	m <sup>2</sup>				16,206	2,147	35,944		54,297
	青果上屋	棟			2					2
	面積	m <sup>2</sup>			11,224					11,224
	内資コンテナ上屋	棟		1						1
	面積	m <sup>2</sup>		4,001						4,001
	外資コンテナ上屋	棟	1		1					2
	面積	m <sup>2</sup>	2,304		1,500					3,804
	検査場	棟	1	1						2
	面積	m <sup>2</sup>	403	654						1,057
修理場	棟	2	1						1	
面積	m <sup>2</sup>	2,724	1,193						1,193	
合計	棟	2	3	2		6	2	14		29
面積	m <sup>2</sup>	2,707	5,848	11,224		16,206	2,147	35,944		74,076
荷さばき地	m <sup>2</sup>					4,088		12,769		16,857
荷役 機械	穀物用荷役機械	基			2			3		5
	アンローダ	揚力 t/h			400			400		
	コンテナクレーン	基	5	4						9
	揚力	t	40.6	40.6						
計量機	基	1	5							6
	秤量	t	60	50						
野積場	m <sup>2</sup>	412,705	372,717	389,980	100,693	61,659	3,210	16,774	17,395	1,375,133
事務 室	管理棟	棟	1	1						2
	面積	m <sup>2</sup>	850	4,996						5,846
	上屋付事務室	m <sup>2</sup>					31	40		71
冷凍コンセント	口	272	300							272
旅客待合所	棟					3	1			4
	面積	m <sup>2</sup>				16,132	2,362			18,494
施設 用地	倉庫用地	m <sup>2</sup>			9,983	41,298		9,125		60,406
	上屋用地	m <sup>2</sup>		477	184	28	1	4,100		4,790
	上屋屋上	m <sup>2</sup>						23,629		23,629
水面貯木場	m <sup>2</sup>		477	184	9,983	41,326	1	36,854		88,825
	備考	-			74,104		71,132	競艇場		145,236

※荷さばき地及び施設用地は許可面積による。

表 VIII-3-1 (2) 港湾の施設の現況

航路	名称	延長 (m)	幅 (m)	水深 (m)
	中央航路	6,630	300~400	-12.0~-14.0
	東航路	3,303	400	-14.0

表 VIII-3-1 (3) 港湾の施設の現況

臨 港 道 路	地 区	名 称	延長 (m)	車線数
	荒津ふ頭地区	荒津地区臨港道路	2,820	2～6
	須崎ふ頭地区	須崎ふ頭地区臨港道路	10,427	1～6
	博多ふ頭地区	博多ふ頭地区臨港道路	2,214	2～4
	中央ふ頭地区	中央ふ頭地区臨港道路	4,534	1～4
	東浜ふ頭地区	東浜ふ頭地区臨港道路	7,653	2～4
	箱崎ふ頭地区	箱崎ふ頭地区臨港道路	22,213	1～6
	香椎パークポート地区	香椎パークポート地区臨港道路	6,142	2～6
	アイランドシティ地区	アイランドシティ地区臨港道路	5,814	2～6
	能古地区	能古地区臨港道路	360	2

#### 4. 過去の計画一覧

博多港における港湾計画の経緯は表 VIII-4-1 及び図に示すとおりである。

表 VIII-4-1 (1) 博多港港湾計画等の概要

計画年月	計画名	計画内容	備考
昭和3年 7月	臨時港湾調査会の計画	(1) 防波堤 西公園よりの地の瀬間 1,273m (2) 護岸 博多地先 930m 福岡市先(仮護岸) 1,140m (3) 航路・泊地 イ. 航路 水深7.3m 368千㎡ ロ. 泊地 水深3.6~7.9m 883千㎡ (4) 岸壁 水深 3.6~7.9m 400m (5) 埋立 博多地先 面積 176千㎡ 福岡地先 面積 266千㎡	図VIII-4-1
昭和35年 3月	新規計画(昭和42年目標)港湾審議会第8回計画部会	(1) ふ頭計画 イ. 中央ふ頭地区 岸壁 水深7.5~10m 840m ロ. 須崎ふ頭地区 岸壁 水深5.5~10m 1,415m ハ. 東浜ふ頭地区 岸壁 水深4.5~5.5m 473m ニ. 博多ふ頭地区 岸壁 水深5.5m 100m 物揚場 水深0.5~2.5m 延長明示されず (2) 護岸 イ. 中央ふ頭地区 延長明示されず ロ. 博多ふ頭地区 延長明示されず (3) 土地造成計画 イ. 中央ふ頭地区 164千㎡ ロ. 須崎ふ頭地区 628千㎡ ハ. 東浜ふ頭地区 336千㎡ ニ. 博多ふ頭地区 40千㎡ ホ. 西公園下地区 726千㎡ ヘ. 百地地区 1,290千㎡ ト. 香椎・和白・西戸崎地区 12,890千㎡	図VIII-4-2
昭和46年 8月	一部変更計画港湾審議会第47回計画部会	(1) ふ頭計画 イ. 東浜ふ頭地区 岸壁 水深5.5~7.5m 790m ロ. 博多ふ頭地区 フェリー岸壁 5.5m 90m (2) 土地造成計画 イ. 東浜ふ頭地区 80千㎡ ロ. 博多ふ頭地区 15千㎡ (3) 道路計画 イ. 博多ふ頭地区 博多港都市高速道路計画 4,570m	-

表 VIII-4-1 (2) 博多港港湾計画等の概要

計画年月	計画名	計画内容	備考
昭和 47 年 12 月	改訂計画 (昭和 60 年目標) 港湾審議会 第 53 回計画部会	<p>(1) 公共ふ頭計画</p> <p>イ. 海上流通ターミナル地区</p> <p>15,000~30,000D/W 級 水深 10~12m 岸壁 4 バース</p> <p>5,000D/W 級 水深 7.5m 岸壁 16 バース</p> <p>5,000G/T 級 水深 7.5m 岸壁 2 バース</p> <p>2,000D/W 級 水深 5.5m 岸壁 18 バース</p> <p>ロ. 箱崎ふ頭地区</p> <p>5,000G/T 級 水深 7.5m 栈橋 3 バース</p> <p>(2) 土地造成計画</p> <p>イ. 海上流通ターミナル地区</p> <p>ふ頭用地 面積 160ha</p> <p>都市再開発用地 面積 170ha</p> <p>公園等 面積 50ha</p> <p>ロ. 和白地区</p> <p>都市再開発用地 面積 240ha</p> <p>公園等 面積 30ha</p> <p>ハ. 地行・百地地区</p> <p>都市再開発用地 面積 140ha</p> <p>ニ. 小戸・姪浜地区</p> <p>ふ頭用地 面積 6ha</p> <p>都市再開発用地 面積 115ha</p> <p>公園等 面積 5ha</p> <p>ホ. 箱崎ふ頭地区</p> <p>ふ頭用地 面積 5ha</p>	図VIII-4-3
昭和 48 年 12 月	軽微変更計画	<p>(1) 公共ふ頭計画</p> <p>イ. 中央ふ頭地区</p> <p>15,000D/W 級 水深 10m 岸壁 3 バース</p> <p>10,000D/W 級 水深 9 m 岸壁 1 バース</p> <p>2,000D/W 級 水深 5.5m 岸壁 1 バース</p> <p>ロ. 博多ふ頭地区</p> <p>5,000G/T 級 水深 7.5m 岸壁 1 バース</p> <p>ハ. 小戸・姪浜地区</p> <p>水深 3~4 m 栈橋 延長 1,070m</p> <p>水深 2 m 船揚場 延長 65m</p> <p>(2) 水域施設計画</p> <p>イ. 中央ふ頭地区</p> <p>泊地 水深 9~10m 70 千㎡</p> <p>水深 5.5m 10 千㎡</p> <p>ロ. 博多ふ頭地区</p> <p>泊地 水深 7.5m 10 千㎡</p> <p>イ. 中央ふ頭地区</p> <p>ふ頭用地 4 千㎡</p> <p>ロ. 博多ふ頭地区</p> <p>ふ頭用地 2 千㎡</p> <p>ハ. 小戸姪浜地区</p> <p>ふ頭用地 30 千㎡</p> <p>緑地 30 千㎡</p>	-

表 VIII-4-1 (3) 博多港港湾計画等の概要

計画年月	計画名	計画内容	備考
昭和50年 10月	一部変更計画 港湾審議会 第70回計画部会	<p>(1) 公共ふ頭計画 イ. 那の津地区 水深4m 物揚場 延長 360m</p> <p>(2) 水域施設計画 イ. 博多ふ頭地区 航路 水深4m ロ. 那の津地区 泊地 水深4m 10千㎡</p> <p>(3) 外郭施設計画 イ. 博多ふ頭地区 護岸 297m ロ. 那の津地区 護岸 475m</p> <p>(4) 港湾環境整備施設計画 イ. 那の津地区 緑地 10千㎡</p> <p>(5) 臨港交通施設計画 イ. 東浜地区 道路 2車線 ロ. 博多ふ頭地区 道路 4車線</p> <p>(6) 土地造成及び土地利用計画 イ. 博多ふ頭地区 都市再開発用地 40千㎡ ロ. 那の津地区 緑地 10千㎡ 公共用地 20千㎡</p>	-
昭和53年 3月	改訂計画 (昭和65年目標) 港湾審議会 第81回計画部会	<p>(1) 公共ふ頭計画 イ. 香椎地区 30,000D/W級 水深12m 岸壁 2バース 15,000D/W級 水深10m 岸壁 2バース 5,000D/W級 水深7.5m 岸壁 16バース 2,000D/W級 水深5.5m 岸壁 18バース ロ. 箱崎ふ頭地区 30,000D/W級 水深12m 岸壁 2バース</p> <p>(2) フェリーふ頭計画 イ. 香椎地区 5,000G/T級 水深7.5m 岸壁 3バース</p> <p>(3) 木材取扱施設 イ. 箱崎ふ頭地区 15,000D/W級 水深10m ドルフィン 2基 水面整理場 水深10m 面積 2ha</p> <p>(4) 危険物取扱施設計画 イ. 香椎地区 6,000D/W級 水深7.5m 岸壁 3バース 危険物取扱施設用地 面積 17ha</p>	図VIII-4-4

表 VIII-4-1 (4) 博多港港湾計画等の概要

計画年月	計画名	計画内容	備考			
昭和 53 年 3 月	改訂計画 (昭和 65 年目標) 港湾審議会 第 81 回計画部会	(5) 臨港交通施設計画 イ. 香椎~箱崎地区 道路 6車線				
		(6) 港湾環境整備施設計画 イ. 香椎地区 緑地 面積 13ha				
		ロ. 地行・百地地区 緑地 面積 4ha 海浜 1,430m				
		ハ. 小戸・姪浜地区 緑地 面積 3ha 海浜 1,110m				
		(7) 土地造成及び土地利用計画 イ. 和白地区 ふ頭用地 面積 1ha 港湾関連用地 面積 1ha 都市機能用地 面積 222ha 交通機能用地 面積 17ha 緑地 面積 14ha	図VIII-4-4			
		ロ. 香椎地区 ふ頭用地 面積 135ha 港湾関連用地 面積 61ha 都市機能用地 面積 65ha 交通機能用地 面積 41ha 危険物取扱施設用地 面積 17ha 緑地 面積 112ha				
		ハ. 箱崎ふ頭地区 ふ頭用地 面積 2ha				
		ニ. 地行・百地地区 都市機能用地 面積 116ha 交通機能用地 面積 13ha 緑地 面積 11ha				
		ホ. 小戸・姪浜地区 ふ頭用地 面積 3ha 港湾関連用地 面積 2ha 都市機能用地 面積 95ha 交通機能用地 面積 4ha 緑地 面積 6ha				
		昭和 54 年 3 月		一部変更計画 港湾審議会 第 85 回計画部会	(1) 小型船だまり計画 イ. 博多ふ頭地区 水深 4 m 物揚場 延長 70m 2 m 物揚場 延長 135m	-
		昭和 55 年 3 月		一部変更計画 港湾審議会 第 89 回計画部会	(1) 公共ふ頭計画 イ. 箱崎ふ頭地区 5,000D/W級 水深 7.5m 岸壁 2バース	-

表 VIII-4-1 (5) 博多港港湾計画等の概要

計画年月	計画名	計画内容	備考	
昭和 55 年 3 月	一部変更 計画 港湾審議会 第 89 回計画部会	(2) 木材取扱施設計画 イ. 箱崎ふ頭地区 15,000D/W 級 水深 10m                  ドルフィン                  2 基 水深 2 m                  物揚場                  延長                  300m 防波堤 (分離堤)                  延長                  600m 水面整理場 水深 10m                  面積                  2ha (3) 危険物取扱施設計画 イ. 東浜地区 3,000D/W 級 水深 6.5m                  ドルフィン                  1 基 ロ. 荒津地区 2,000D/W 級 水深 6m                  ドルフィン                  2 基 1,000D/W 級 水深 5m                  ドルフィン                  1 基 (4) 水域施設計画 イ. 箱崎ふ頭地区 泊地 水深 7.5m                  面積                  2ha ロ. 東浜地区 泊地 水深 6.5m                  面積                  1ha ハ. 荒津地区 泊地 水深 6m                  面積                  3ha (5) 土地造成計画 イ. 箱崎ふ頭地区 ふ頭用地                  面積                  12ha	-	
昭和 60 年 4 月	一部変更計画 港湾審議会 第 109 回 計画部会	(1) 小型船だまり計画 イ. 福浜地区 水深 3 m                  物揚場                  延長                  460m 船揚場                  延長                  50m 防波堤                  延長                  255m (2) 臨港交通施設計画 イ. 東浜ふ頭～箱崎ふ頭地区 道路                  4 車線 (3) 港湾環境整備施設計画 イ. 福浜地区 海 浜                  延長                  700m 緑 地                  面積                  1 ha (4) 土地造成及び土地利用計画 イ. 福浜地区 ふ頭用地                  面積                  1ha 都市機能用地                  面積                  5ha 交通機能用地                  面積                  2ha 緑 地                  面積                  1ha ロ. 東浜ふ頭～箱崎ふ頭地区 交通機能用地                  面積                  2ha	-	
昭和 61 年 8 月	一部変更計画 港湾審議会 第 115 回 計画部会	(1) 公共ふ頭計画 イ. 香椎パークポート地区 40,000D/W 級 水深 12m                  岸壁                  2 バース 15,000D/W 級 水深 10m                  岸壁                  1 バース 5,000D/W 級 水深 7.5m                  岸壁                  6 バース	-	



表 VIII-4-1 (6) 博多港港湾計画等の概要

計画年月	計画名	計画内容	備考			
昭和 61 年 8 月	一部変更計画 港湾審議会 第 115 回 計画部会	(2) 水域施設計画 イ. 香椎パークポート地区 泊地 水深 12m 面積 157ha 水深 10m 面積 7ha 水深 7.5m 面積 13ha 水深 5.5m 面積 1ha	-			
		(3) 小型船だまり イ. 能古地区 水深 2m 物揚場 延長 125m				
		(4) 臨港交通施設計画 イ. 香椎パークポート地区 道路 2~4 車線 ロ. 能古地区 道路 2 車線				
		(5) 港湾環境整備施設計画 イ. 香椎パークポート地区 海浜 延長 500m 緑地 面積 4ha ロ. 能古地区 緑地 面積 1ha				
		(6) 土地造成及び土地利用計画 イ. 香椎パークポート地区 ふ頭用地 面積 38ha 港湾関連用地 面積 44ha 交通機能用地 面積 9ha 緑地 面積 46ha ロ. 能古地区 ふ頭用地 面積 1ha 港湾関連用地 面積 1ha 交通機能用地 面積 1ha 緑地 面積 1ha				
		昭和 63 年 3 月		一部変更計画 港湾審議会 第 122 回 計画部会	(1) 公共ふ頭計画 イ. 東浜ふ頭地区 5,000D/W 級 水深 7.5m 岸壁 5 パース 2,000D/W 級 水深 5.5m 岸壁 4 パース	-
					(2) 旅客船ふ頭計画 イ. 海の中道地区 小型船対象 水深 3m 浮棧橋 1 基	
					(3) 危険物取扱施設計画 イ. 東浜ふ頭地区 5,000D/W 級 水深 7.5m ドルフィン 1 基	
					(4) 水域施設計画 イ. 東浜ふ頭地区 泊地 水深 7.5m 岸壁 1ha 水深 5.5m 岸壁 1ha ロ. 海の中道地区 航路 水深 3m 幅員 50m 泊地 水深 3m 面積 2ha	

表 VIII-4-1 (7) 博多港港湾計画等の概要

計画年月	計画名	計画内容	備考
昭和 63 年 3 月	一部変更計画 港湾審議会 第 122 回 計画部会	(5) 臨港交通施設計画 イ. 東浜ふ頭地区 道路 2 車線 (6) 港湾環境整備施設計画 イ. 東浜ふ頭地区 緑地 面積 4 ha (7) 土地造成及び土地利用計画 イ. 東浜ふ頭地区 ふ頭用地 面積 10ha 港湾関連用地 面積 14ha 工業用地 面積 7ha 交通機能用地 面積 3ha 緑地 面積 4ha	-
平成元年 6 月	改訂計画 (平成 12 年 目標) 港湾審議会 第 127 回 計画部会	(1) 公共ふ頭計画 イ. 香椎地区 40,000D/W 級 水深 14m 岸壁 1 バース 30,000D/W 級 水深 13m 岸壁 2 バース 15,000D/W 級 水深 11m 岸壁 1 バース 5,000D/W 級 水深 7.5m 岸壁 4 バース ふ頭用地 面積 56ha ロ. 香椎パークポート地区 30,000D/W 級 水深 13m 岸壁 2 バース 15,000D/W 級 水深 11m 岸壁 1 バース 5,000D/W 級 水深 7.5m 岸壁 3 バース ふ頭用地 面積 28ha ハ. 中央ふ頭地区 3,000G/T 級 水深 7.5m 岸壁 1 バース ふ頭用地 面積 1ha ニ. 須崎ふ頭地区 30,000D/W 級 水深 12m 岸壁(改良) 2 バース ふ頭用地 面積 3ha (2) フェリー及び旅客船ふ頭計画 イ. 香椎地区 既定計画を削除 ロ. 中央ふ頭地区 50,000G/T 級 水深 12m 岸壁 1 バース ふ頭用地 面積 11ha ハ. 博多ふ頭地区 2,000G/T 級 水深 7.5m 岸壁 1 バース 小型船対象 水深 3 m 栈橋 1 基 ふ頭用地 面積 3ha (3) 木材取扱施設計画 イ. 箱崎ふ頭地区 10,000D/W 級 水深 10m 岸壁 1 バース ふ頭用地 面積 2ha	図VIII-4-5

表 VIII-4-1 (8) 博多港港湾計画等の概要

計画年月	計画名	計画内容	備考
平成元年 6月	改訂計画 (平成12年 目標) 港湾審議会 第127回 計画部会	(4) 水域施設計画	
		イ. 航路	
		中央航路 水深12~14m	幅員 300~400 m
		東航路 水深14m	
		ロ. 泊地	
		香椎パークポート地区 水深5.5m~14m	
		中央ふ頭~須崎ふ頭地区 水深12m	
		(5) 小型船舶だまり計画	
		ハ. 香椎地区	
		香椎船だまり	
		泊地 水深4m	面積 4ha
		防波堤	延長 230m
		物揚場 水深4m	延長 360m
		ふ頭用地	面積 1ha
		奈多船だまり	
		防波堤	延長 170m
		物揚場 水深3m	延長 370m
		船揚場	延長 50m
		ふ頭用地	面積 1ha
		ニ. 東浜ふ頭地区	
		東浜船だまり	
		物揚場 水深3m	延長 408m
		ふ頭用地	面積 1ha
		ハ. 中央ふ頭地区	
中央ふ頭船だまり			
物揚場 水深4m	延長 555m		
ふ頭用地	面積 1ha		
(6) マリーナ計画			
イ. 小戸地区			
防波堤	延長 450m		
小型栈橋 水深3m	14基		
レクリエーション施設用地	面積 7ha		
(7) 臨港交通施設計画			
道路			
香椎1号線	2~6車線		
香椎2号線	4車線		
須崎・東浜線	4車線		
東浜ふ頭線	4車線		
東浜1号線	2車線		
東浜2号線	2車線		
東浜3号線	2車線		
中央ふ頭1号線	4車線		
中央ふ頭2号線	4車線		
須崎ふ頭線	4車線		

図VIII-4-5

表 VIII-4-1 (9) 博多港港湾計画等の概要

計画年月	計画名	計画内容	備考
平成元年 6月	改訂計画 (平成12年 目標) 港湾審議会 第127回 計画部会	(8) 港湾環境整備施設計画 イ. 和白地区 規定計画を削除 ロ. 香椎地区 緑地 面積 48ha ハ. 中央ふ頭 緑地 面積 2ha	図VIII-4-5
平成8年 7月	軽易な変更	(1) 土地造成及び土地利用計画 イ. 荒津地区 工業用地 面積 5ha	-
平成13 年7月	改訂計画 (平成20年代 前半目標) 交通政策審議会 第1回 港湾分科会	(1) 公共ふ頭計画 イ. アイランドシティ地区 水深15m 岸壁2バース 延長 700m 水深14m 岸壁1バース 延長 330m ロ. 須崎ふ頭地区 水深5.5m 岸壁5バース 延長 590m ふ頭用地 面積 2ha (2) 旅客船及びフェリーふ頭計画 イ. 中央ふ頭地区 水深10m 岸壁1バース 延長 340m ふ頭用地 面積 1ha 水深10m 岸壁1バース 延長 250m 水深7.5m 岸壁2バース 延長 380m ふ頭用地 面積 6ha ロ. 西戸崎地区 水深3m 棧橋 1基 (3) 危険物取扱施設計画 イ. 東浜ふ頭地区 水深6.5m ドルフィン1バース (4) 水域施設計画 イ. 航路 中央航路 水深12~15m 幅員 300~430m 東航路 水深15m 幅員 430m ロ. 泊地 アイランドシティ~香椎パークポート地区 水深5.5m~15m 面積 537ha 中央ふ頭~須崎ふ頭地区 水深10~12m 面積 57ha (5) 臨港交通施設計画 道路 臨港道路香椎パークポート1号線 6車線 中央ふ頭1号線(起点の延伸) 4車線 荒津・須崎線 4車線 須崎ふ頭2号線 4車線	図VIII-4-6

表 VIII-4-1 (10) 博多港港湾計画等の概要

計画年月	計画名	計画内容	備考
平成13年7月	改訂計画 (平成20年代前半目標) 交通政策審議会 第1回 港湾分科会	<p>(6) 港湾環境整備施設計画</p> <p>イ. 香椎パークポート地区</p> <p>緑地 面積 14ha</p> <p>ロ. 東浜ふ頭地区</p> <p>緑地 面積 1ha</p> <p>ハ. 中央ふ頭地区</p> <p>緑地 面積 1ha</p> <p>(7) エコパークゾーン</p> <p>アイランドシティ地区背後の海域</p> <p>(8) 大規模地震対策施設計画</p> <p>イ. 中央地区</p> <p>水深10m 岸壁1バース 延長 250m</p> <p>ロ. アイランドシティ地区</p> <p>水深15m 岸壁1バース 延長 350m</p> <p>(9) 国際海上輸送網又は国内開場輸送網の拠点として機能するために必要な施設</p> <p>イ. 航路</p> <p>中央航路 水深12~15m 幅員 300~430m</p> <p>東航路 水深15m 幅員 430m</p> <p>ロ. 泊地</p> <p>アイランドシティ地区 水深14~15m 面積 128ha</p> <p>中央ふ頭~須崎ふ頭地区 水深10~12m 面積 57ha</p> <p>ハ. アイランドシティ地区</p> <p>水深15m 岸壁2バース 延長 700m</p> <p>水深14m 岸壁1バース 延長 330m</p> <p>ニ. 中央ふ頭地区</p> <p>水深10m 岸壁1バース 延長 250m</p> <p>水深7.5m 岸壁1バース 延長 380m</p> <p>ホ. 須崎ふ頭地区</p> <p>水深12m 岸壁2バース 延長 480m</p> <p>(10) 利用形態の見直しを検討していく区域</p> <p>荒津地区 須崎地区</p>	図VIII-4-6
平成15年7月	一部変更計画 交通政策審議会 第7回 港湾分科会	<p>(1) 公共ふ頭計画</p> <p>イ. アイランドシティ地区</p> <p>ふ頭用地 面積 71ha</p> <p>(2) 港湾環境整備施設計画</p> <p>イ. アイランドシティ地区</p> <p>緑地 面積 16ha</p> <p>ロ. 香椎パークポート地区</p> <p>緑地 面積 2ha</p> <p>(3) 土地造成及び土地利用計画</p> <p>イ. アイランドシティ地区</p> <p>ふ頭用地 面積 72ha</p> <p>港湾関連用地 面積 74ha</p> <p>交流拠点用地 面積 7ha</p> <p>工業用地 面積 23ha</p> <p>都市機能用地 面積 143ha</p> <p>交流機能用地 面積 25ha</p> <p>緑地 面積 42ha</p>	-

表 VIII-4-1 (11) 博多港港湾計画等の概要

計画年月	計画名	計画内容	備考
平成 15 年 7 月	一部変更計画 交通政策審議会 第 7 回 港湾分科会	<p>その他緑地 面積 16ha</p> <p>(4) その他重要事項の計画 (追加) 効率的な運営を特に促進する区域</p> <p>イ. アイランドシティ地区 水深 15m 岸壁 2 バース 延長 700m 水深 14m 岸壁 1 バース 延長 330m ふ頭用地 面積 51ha</p> <p>ロ. 香椎パークポート地区 水深 13m 岸壁 2 バース 延長 600m ふ頭用地 面積 21ha</p>	-
平成 17 年 12 月	軽易な変更	<p>(1) 港湾環境整備施設計画</p> <p>イ. アイランドシティ地区 緑地 面積 16ha ロ. 東浜ふ頭地区 緑地 削除</p> <p>(2) 土地造成及び土地利用計画</p> <p>イ. アイランドシティ地区 ふ頭用地 面積 72ha 港湾関連用地 面積 74ha 交流拠点用地 面積 7ha 工業用地 面積 23ha 都市機能用地 面積 149ha 交流機能用地 面積 25ha 緑地 面積 36ha その他緑地 面積 16ha</p> <p>ロ. 東浜ふ頭地区 ふ頭用地 面積 13ha 港湾関連用地 面積 29ha 工業用地 面積 29ha 交流機能用地 面積 9ha</p>	-
平成 17 年 12 月	一部変更計画 交通政策審議会 第 16 回 港湾分科会	<p>(1) 水域施設計画</p> <p>イ. アイランドシティ地区 航路・泊地 水深 15m 面積 108ha 泊地 水深 15m 面積 4ha</p> <p>(2) その他重要事項の計画</p> <p>大規模地震対策施設計画</p> <p>イ. アイランドシティ地区 水深 15m 岸壁 2 バース 延長 700m</p> <p>臨港道路アイランドシティ 2 号線 起点 アイランドシティ地区国際海上コンテナターミナル 終点 臨港道路アイランドシティ 1 号線</p> <p>臨港道路アイランドシティ 1 号線 起点 臨港道路アイランドシティ 2 号線 終点 臨港道路香椎パークポート 1 号線</p> <p>臨港道路香椎パークポート 1 号線 起点 臨港道路アイランドシティ 1 号線 終点 臨港道路箱 A-8 号線</p>	-

表 VIII-4-1 (12) 博多港港湾計画等の概要

計画年月	計画名	計画内容	備考
平成 17 年 12 月	一部変更計画 交通政策審議会 第 16 回 港湾分科会	臨港道路箱 A-8 号線 起点 臨港道路香椎パークポート 1 号線 終点 市道香椎箱崎浜線	-
平成 20 年 7 月	軽易な変更	<p>(1) 公共ふ頭計画 外貿ユニットロード埠頭計画 イ. 中央ふ頭地区 水深 9m 岸壁 1 バース 延長 220m ふ頭用地 面積 9ha 臨海部物流拠点の形成を図る区域 イ. アイランドシティ地区 水深 15m 岸壁 1 バース 延長 350m 水深 14m 岸壁 1 バース 延長 330m 水深 11m 岸壁 1 バース 延長 190m 水深 7.5m 岸壁 4 バース 延長 520m ふ頭用地 面積 54ha</p> <p>(2) 旅客船及びフェリーふ頭計画 旅客船ふ頭計画 イ. 中央ふ頭地区 水深 10m 岸壁 1 バース 延長 340m ふ頭用地 面積 1ha 小型栈橋 1 基 防波堤 延長 60m フェリーふ頭計画 イ. 中央ふ頭地区 水深 10m 岸壁 1 バース 延長 250m ふ頭用地 面積 3ha</p> <p>(3) 臨港交通施設計画 イ. アイランドシティ地区 臨海部物流拠点の形成を図る区域内の臨港道路</p> <p>(4) 港湾間整備施設計画 イ. 中央ふ頭地区 緑地 面積 1ha</p> <p>(5) 土地造成及び土地利用計画 土地利用計画 イ. 中央ふ頭～博多ふ頭地区 ふ頭用地 面積 22ha 港湾関連用地 面積 17ha 交流拠点用地 面積 14ha 交通機能用地 面積 11ha 緑地 面積 3ha 土地利用計画 イ. 中央ふ頭～博多ふ頭地区 ふ頭用地 面積 6ha 港湾関連用地 面積 4ha 交通機能用地 面積 1ha 緑地 面積 1ha</p>	-

表 VIII-4-1 (13) 博多港港湾計画等の概要

計画年月	計画名	計画内容	備考
平成 22 年 3 月	一部変更計画 交通政策審議会 第 37 回 港湾分科会	(1) 土地造成及び土地利用計画 イ. アイランドシティ地区 ふ頭用地 面積 72ha 港湾関連用地 面積 97ha 交流厚生用地 面積 7ha 都市機能用地 面積 149ha 交通機能用地 面積 25ha 緑地 面積 52ha ロ. 東浜ふ頭地区 ふ頭用地 面積 13ha 港湾関連用地 面積 29ha 工業用地 面積 25ha 都市機能用地 面積 4ha 交通機能用地 面積 9ha	-
平成 23 年 8 月	軽易な変更	(1) 土地造成及び土地利用計画 土地利用計画 イ. 須崎ふ頭地区 ふ頭用地 面積 10ha 港湾関連用地 面積 64ha 交通機能用地 面積 12ha	-
平成 25 年 2 月	軽易な変更	(1) 土地造成及び土地利用計画 土地利用計画 イ. アイランドシティ地区 ふ頭用地 面積 72ha 港湾関連用地 面積 97ha 都市機能用地 面積 156ha 交通機能用地 面積 25ha 緑地 面積 52ha	-
平成 25 年 6 月	一部変更計画 交通政策審議会 第 52 回 港湾分科会	(1) 港湾の効率的な運営に関する事項 効率的な運営を特に促進する区域 イ. アイランドシティ地区 水深 15m 岸壁 2 バース 延長 700m 水深 14m 岸壁 1 バース 延長 330m ふ頭用地 面積 51ha ロ. 香椎パークポート地区 水深 13m 岸壁 2 バース 延長 600m ふ頭用地 面積 21ha ハ. 箱崎ふ頭地区 水深 7.5m 岸壁 4 バース 延長 520m ふ頭用地 面積 8ha (2) その他重要事項 利用形態の見直しの検討が必要な区域 アイランドシティ地区 香椎パークポート地区 中央ふ頭地区	-



表 VIII-4-1 (14) 博多港港湾計画等の概要

計画年月	計画名	計画内容	備考
平成 25 年 11 月	軽易な変更	<p>(1) 臨港交通施設計画 臨港道路 中央ふ頭 1 号線 起点 中央ふ頭 終点 臨港道路須崎・東浜線 4 車線</p> <p>(2) 土地造成及び土地利用計画 土地利用計画 イ. 中央ふ頭～博多ふ頭地区 ふ頭用地 面積 21ha 港湾関連用地 面積 17ha 交流拠点用地 面積 14ha 交通機能用地 面積 13ha 緑地 面積 3ha</p>	-
平成 25 年 12 月	一部変更計画 交通政策審議会 第 54 回 港湾分科会	<p>(1) 臨港交通施設計画 臨港道路アイランドシティ 3 号線 起点 臨港道路アイランドシティ 1 号線 終点 都市計画道路都市高速道路 1 号線 4 車線</p> <p>(2) 土地造成及び土地利用計画 イ. アイランドシティ地区 ふ頭用地 面積 72ha 港湾関連用地 面積 97ha 都市機能用地 面積 156ha 交通機能用地 面積 26ha 緑地 面積 52ha ロ. 香椎パークポート地区 ふ頭用地 面積 40ha 港湾関連用地 面積 42ha 交通機能用地 面積 13ha 緑地 面積 44ha</p> <p>(3) その他重要事項 国際海上輸送網又は国内海上輸送網の拠点として機能するために必要な施設 イ. アイランドシティ地区 岸壁 2 バース 水深 15m 延長 700m 岸壁 1 バース 水深 14m 延長 330m 臨港道路アイランドシティ 3 号線 起点 臨港道路アイランドシティ 1 号線 終点 都市計画道路都市高速道路 1 号線 4 車線</p>	-
平成 26 年 7 月	軽易な変更	<p>(1) 港湾環境整備施設計画 イ. アイランドシティ地区 緑地 面積 15ha</p> <p>(2) 土地造成及び土地利用計画 土地利用計画 ふ頭用地 面積 72ha 港湾関連用地 面積 98ha 都市機能用地 面積 156ha 交通機能用地 面積 26ha 緑地 面積 51ha</p>	-

表 VIII-4-1 (15) 博多港港湾計画等の概要

計画年月	計画名	計画内容	備考
平成 26 年 7 月	軽易な変更	(3) 港湾の効率的な運営に関する事項	
		臨港部物流拠点の形成を図る区域	
		イ. アイランドシティ地区	
		水深 15m 岸壁 1 バース	延長 350m
		水深 14m 岸壁 1 バース	延長 330m
		水深 11m 岸壁 1 バース	延長 190m
		水深 7.5m 岸壁 4 バース	延長 520m
		ふ頭用地	面積 54ha
港湾関連用地	面積 64ha		
交通機能用地	面積 9ha		

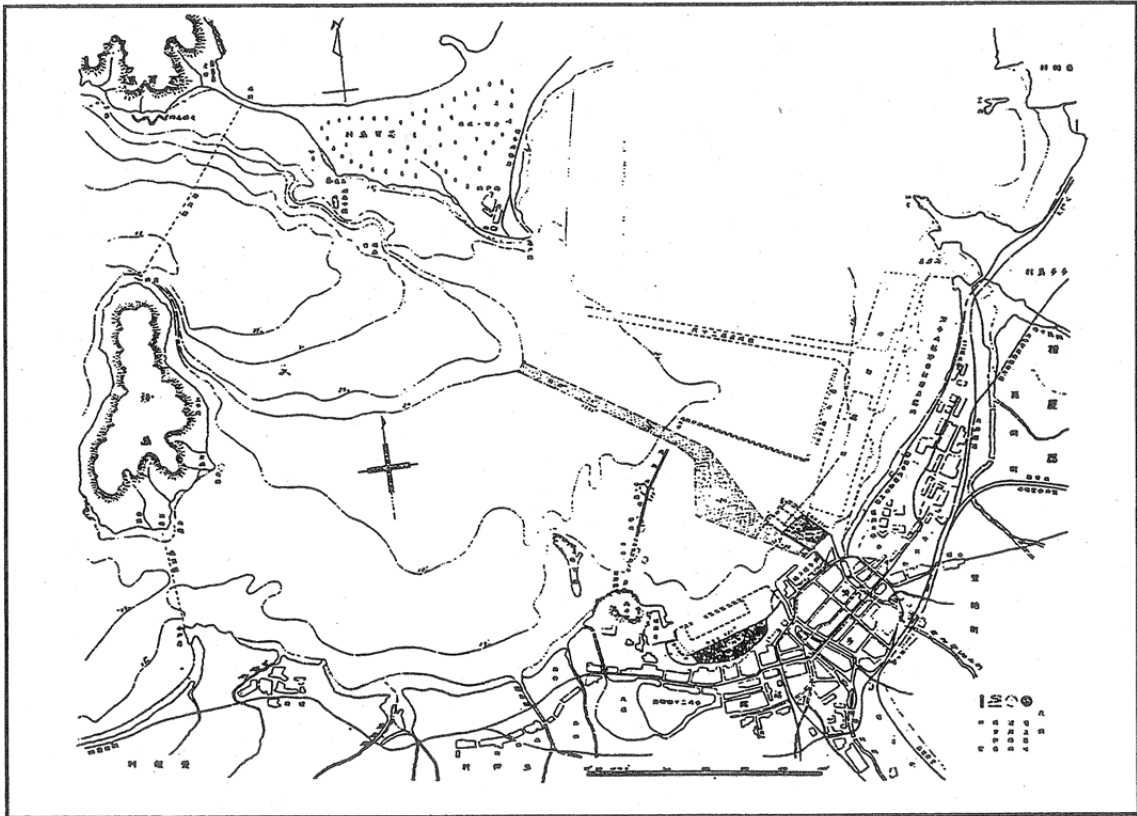


图 VIII-4-1 昭和3年策定 博多港港湾計画图

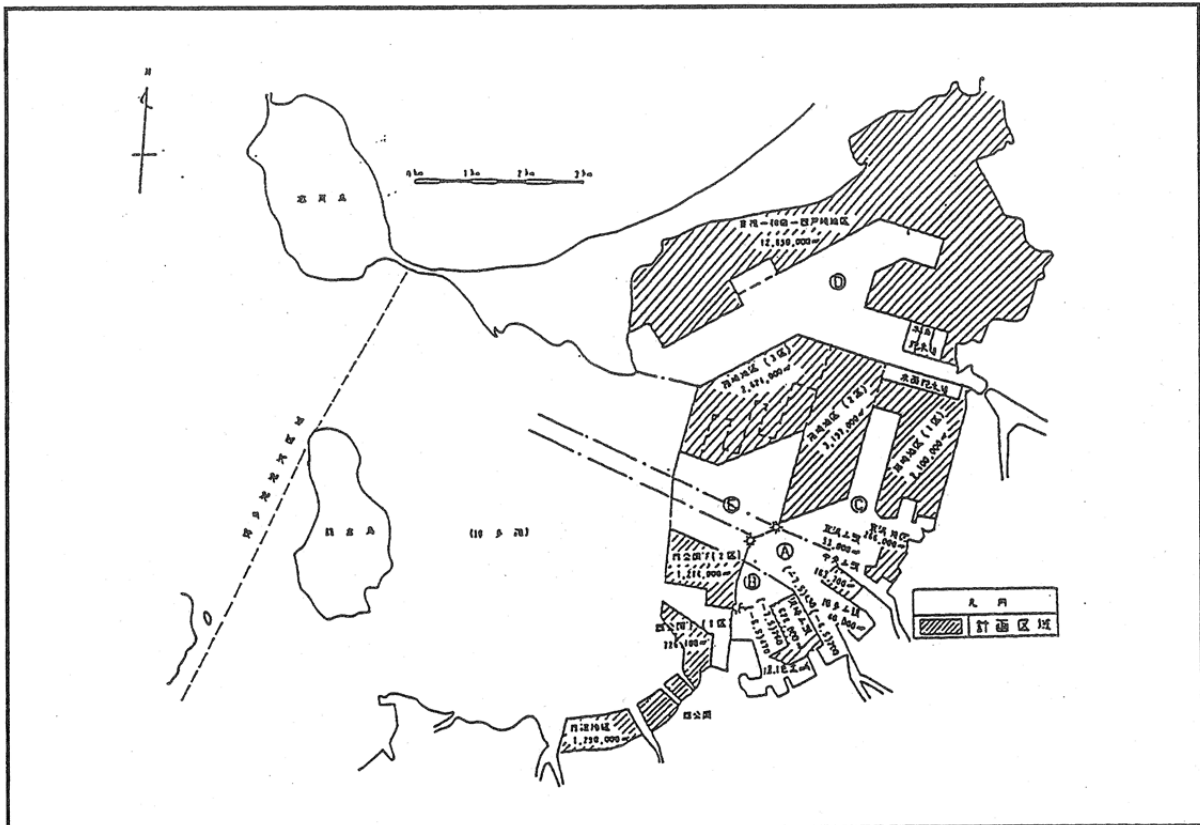


图 VIII-4-2 港湾審議会第8回計画部会 (昭和35年策定) 博多港港湾計画图

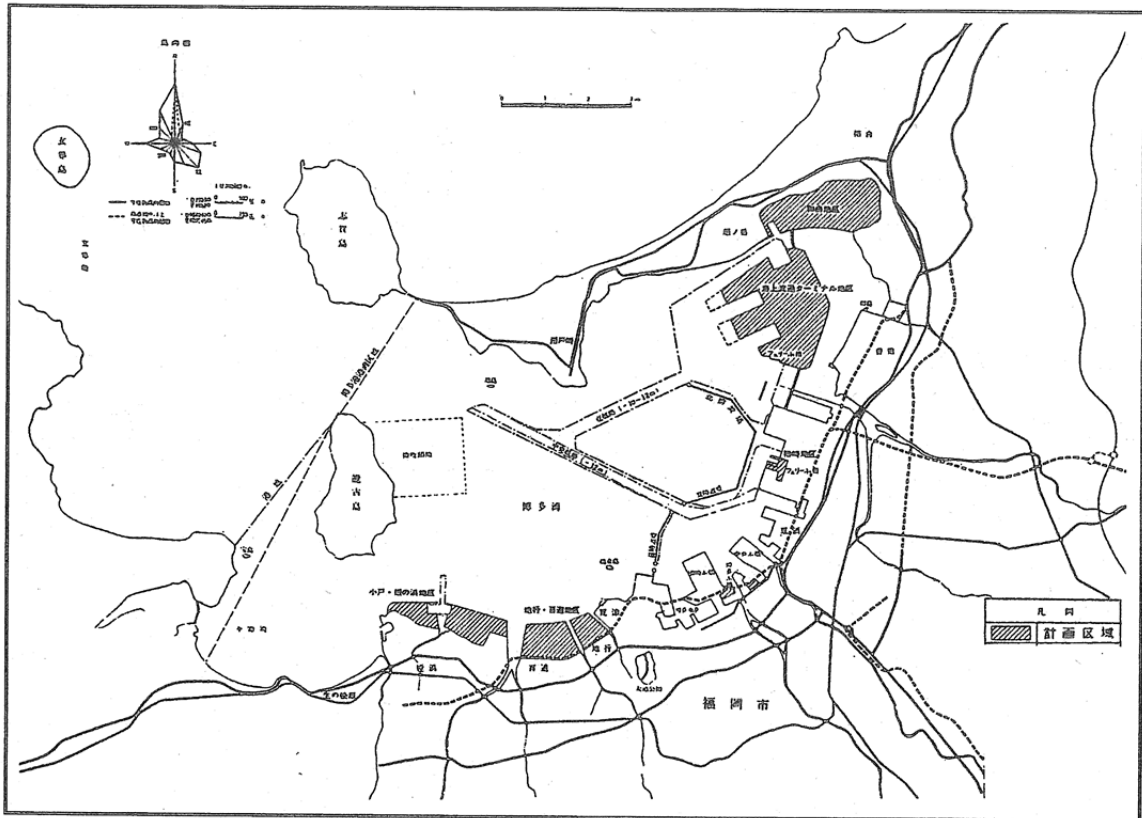


图 VIII-4-3 港湾審議会第 53 回計画部会（昭和 47 年策定）博多港港湾計画図

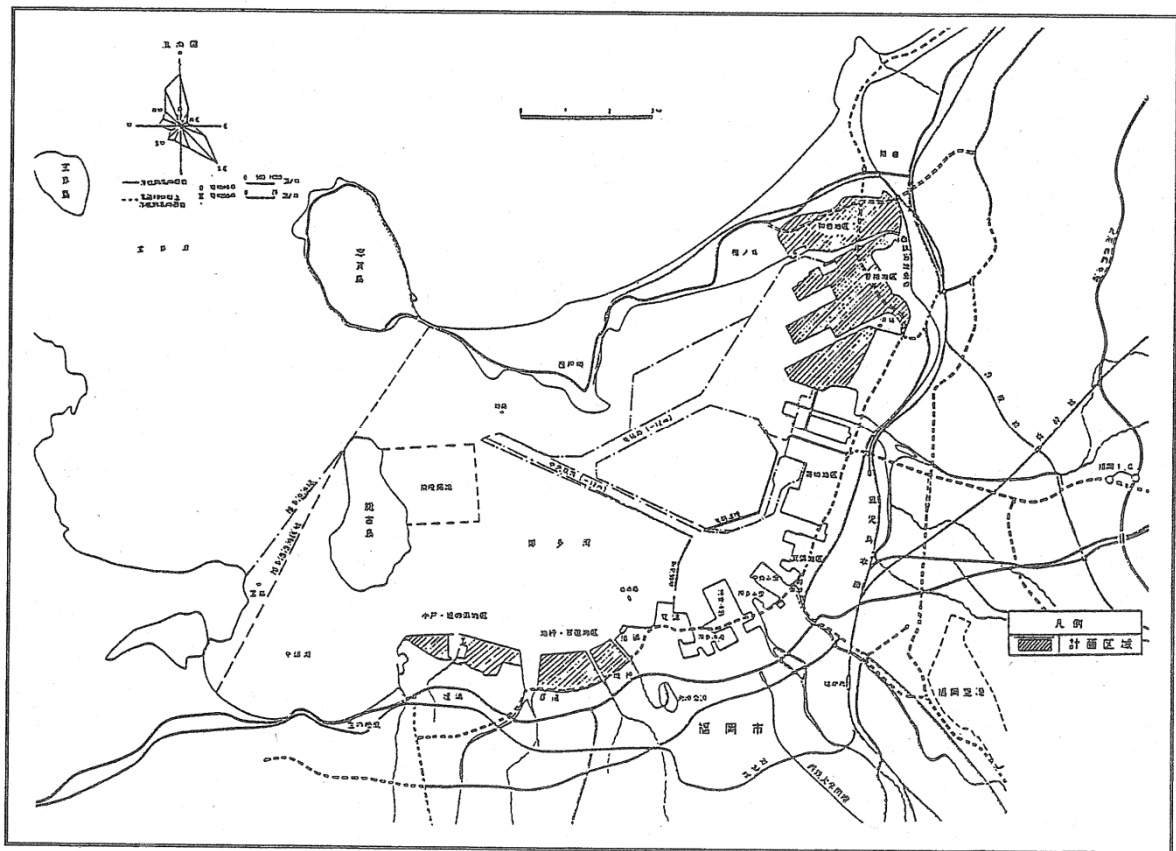


图 VIII-4-4 港湾審議会第 81 回計画部会（昭和 53 年策定）博多港港湾計画図

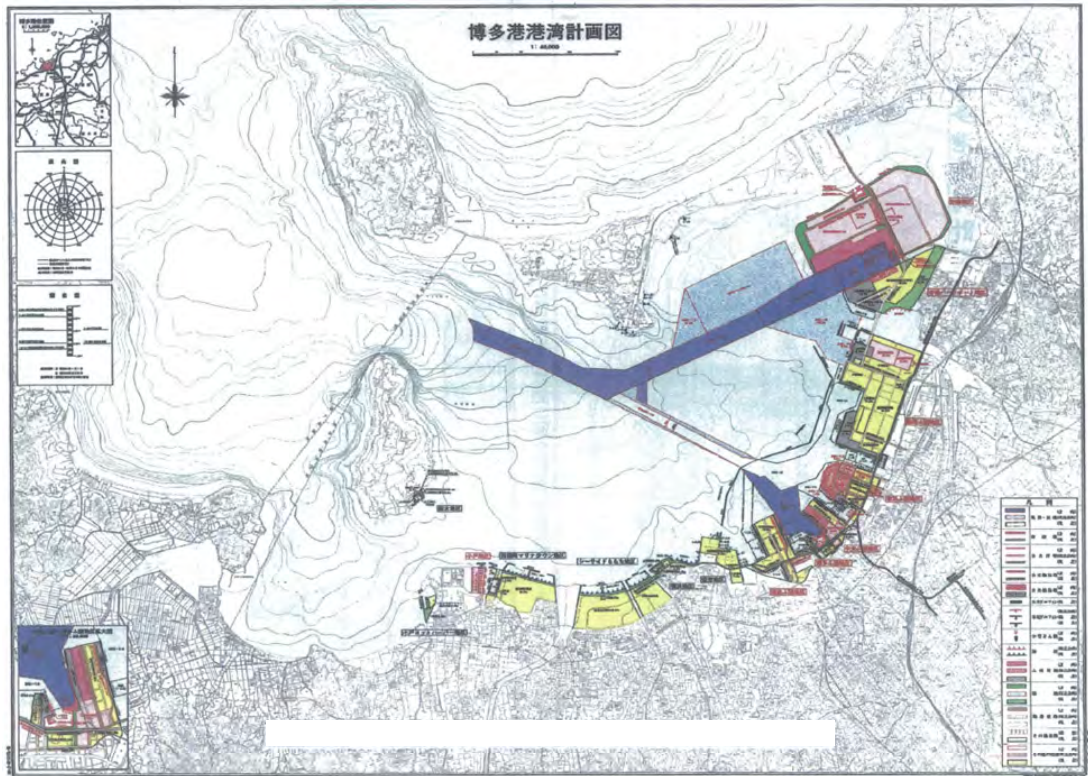


図 VIII-4-5 港湾審議会第 127 回計画部会（平成元年策定）博多港港湾計画図

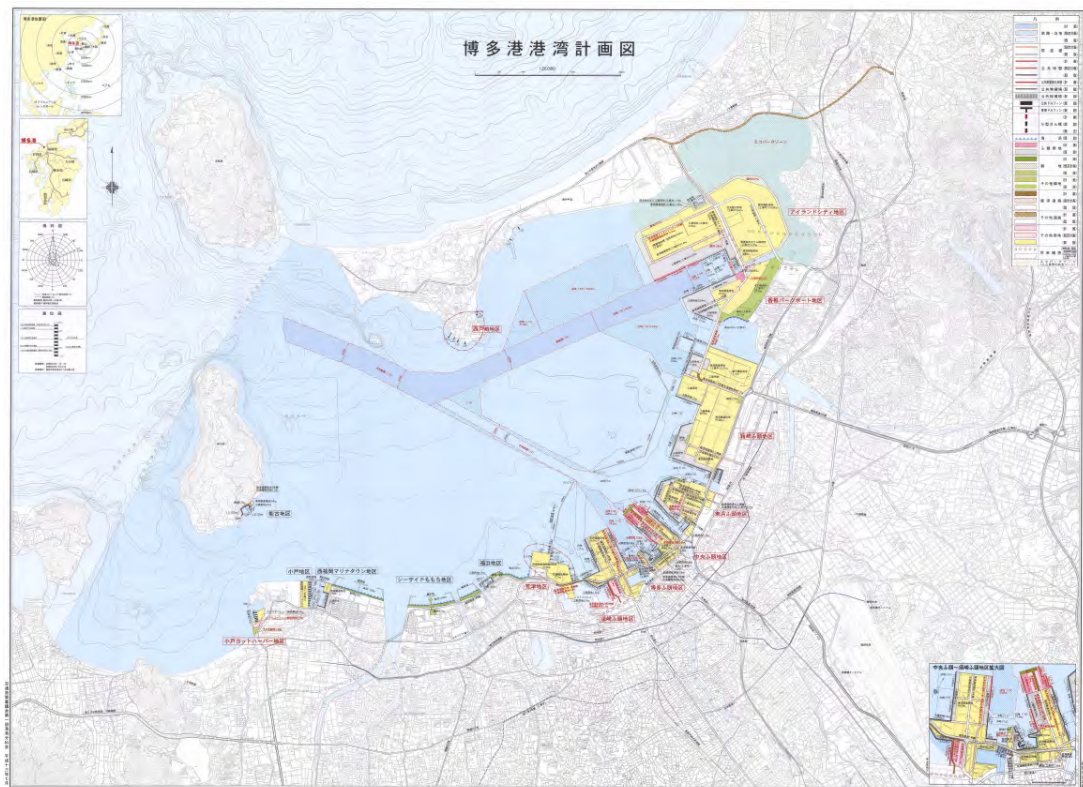


図 VIII-4-6 交通政策審議会第 1 回港湾分科会（平成 13 年策定）博多港港湾計画図

## 5. 新旧法線対照図



## 6. 審議会委員名簿

	役 職	氏 名
顧 問	福岡市議会議長	おばた 久弥
学識経験者	特定非営利活動法人九州キラキラみなとネットワーク理事長	大谷 鮎子
	九州大学大学院新キャンパス計画推進室教授	坂井 猛
	九州大学特任教授<工学研究院 海域港湾環境防災共同研究部門>	善 功企
	九州大学名誉教授	樗木 武
	福岡商工会議所専務理事	中村 仁彦
	九州大学大学院経済学研究院教授	星野 裕志
	九州工業大学教授<情報工学研究院>	安河内 恵子
港湾関係者	外航船主代表<日本郵船(株)九州支店長>	竹内 裕喜
	福岡汽船船主会会長<九州郵船(株)代表取締役社長>	竹永 健二郎
	博多港運協会会長<相互運輸(株)代表取締役社長>	岩崎 純
	博多港臨港地区倉庫対策協議会会長<住友倉庫九州(株)社長>	藤井 勝
	博多水先区水先人会会長	藤瀬 一則
	(一社)博多港振興協会会長	角川 敏行
	(公社)福岡貿易会会長	土屋 直知
	全日本海員組合九州関門地方支部地方支部長	漢那 太作
	全日本港湾労働組合九州地方博多支部執行委員長	山中 直樹
博多地区海運組合理事長	阿利 欽章	
県議会議員		今林 久
市議会議員	第3委員会委員	津田 信太郎
	第3委員会委員	黒子 秀勇樹
	第3委員会委員	高木 勝利
	第3委員会委員	江藤 博美
	第3委員会委員	鬼塚 昌宏
	第3委員会委員	綿貫 英彦
	第3委員会委員	とみなが 正博
	第3委員会委員	落石 俊則
関係行政機関	国土交通省九州地方整備局長	鈴木 弘之
	第七管区海上保安本部福岡海上保安部長	勢良 俊也
	国土交通省九州運輸局次長	久保田 秀夫
	財務省門司税関博多税関支署長	湊 裕司
	厚生労働省福岡検疫所長	東 威志
	福岡県県土整備部長	山本 巧